

# フランス・スイス・イタリア地域等都市広場形態についての考察

—2003年第15回海外都市広場調査報告—

芦川 智・金子友美・鶴田佳子  
高木亜紀子・丹生多美・横濱久美子

The Report on the Form of City Squares Mainly in France, Switzerland and Italy  
—The Field Survey of City Squares in Foreign Countries No.15—

Satoru ASHIKAWA, Tomomi KANEKO, Yoshiko TSURUTA,  
Akiko TAKAGI, Tami TANSEI and Kumiko YOKOHAMA

In 2003, as one of our consecutive projects, the authors surveyed the European city squares; market squares in southern France, street-type squares in Switzerland, and those in small Italian cities.

This report looks at 138 squares in 65 cities in total, including 19 squares surveyed in 2000 and additional 18 solo surveys by Tsuruta. Analyzing and categorizing their forms as well as collecting the data of their historical background, the authors aim to clarify their functional features past and present.

Some of the benefits gleaned from this were that we found unique characteristics in some squares in Switzerland which can be categorized as street-type squares, and historically meaningful ones originated from medieval fortified towns in southern France called 'bastides'.

## (1) はじめに

都市の広場に目を向けて研究の対象としたのは1984年のことであり、現在(2003年)で、19年目となる。当研究室における継続的研究テーマ、10年間を中心課題として、海外都市広場の調査を始めたのが1990年である。調査報告は今回で14年目であるが、調査自体は15回目となる。以下にこれまでの調査実施状況を示す。

第1回は、東ヨーロッパ(ドイツ、ポーランド、チェコスロバキア、ハンガリー、ユーゴスラビア5カ国)を対象として行われ、第2回は東ヨーロッパ(ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア)とトルコ、ギリシャ、イタリアの6カ国を対象とした。第3回はトルコ、ギリシャ2カ国を対象とし、第4回は、北欧とフランドルを中心としてドイツ、スイス、フランスを付加。第5回はアラビア半島南端のイエメンを、

第6回はイタリア北部地域を対象として行われた。第7回は、モロッコ、ポルトガル、スペインの3カ国で実施され、第8回は、南仏、スペイン、ポルトガルの3カ国であった。第9回調査は、第6回の北部イタリアを補完するべく南部イタリアを対象地域とした。第10回調査は、ヨーロッパ中央部であるドイツを中心に、その周辺部を含めて対象地域とした。第11回調査は、第10回調査の補完の意味を含めてポーランドとベネルクス3国を対象地域とした。第12回調査は、チベットとネパールを対象地域とし、第13回目の調査はロシア、バルト3国とした。第14回目調査は中国蘇州周辺と三江周辺の2地域とした。今回は15回目の調査となり、フランス、スイス、イタリアで実施した。また、2000年にヨーロッパで実施した駅空間の調査時に広場調査も併せて行っており、概ね同地域のためにその報告も加えている。

## (2) 調査計画

### 第1回調査：東ヨーロッパ

(ドイツ、ポーランド、チェコスロバキア、ハンガリー、ユーゴスラビアの5カ国)

[平成2年9月初旬から25日間実施]

### 第2回調査：東ヨーロッパ

(ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、トルコ、ギリシャ、イタリアの6カ国)

[平成3年8月初旬から28日間実施]

### 第3回調査：トルコ、ギリシャの2カ国

[平成4年7月末から27日間実施]

### 第4回調査：北欧とフランドルを中心としてドイツ、スイス、フランスを加えた地域

[平成5年9月初旬から18日間実施]

### 第5回調査：アラビア半島南端のイエメン

[平成6年5月に13日間実施したが、内戦勃発のため中断、平成7年5月に再度実施]

### 第6回調査：イタリア北部地域

[平成6年7月末から25日間実施]

### 第7回調査：モロッコ、ポルトガル、スペインの3カ国

[平成7年8月21日から29日間実施]

### 第8回調査：南仏、スペイン、ポルトガルの3カ国

[平成8年9月2日から24日間実施]

### 第9回調査：南イタリアを中心として北イタリア、オーストリアを加えた地域

[平成9年8月21日から25日間実施]

### 第10回調査：中欧地域としてドイツを中心にチェコ、フランスを加えた3カ国

[平成10年8月10日から27日間実施]

### 第11回調査：ポーランド、ベネルクス3国の4カ国

[平成11年8月2日から22日間実施]

### 第12回調査：チベット、ネパールの2カ国

[平成12年8月24日から15日間実施]

### 第13回調査：ロシア、バルト3国等の7カ国

[平成13年8月4日から27日間実施]

### 第14回調査：中国蘇州周辺及び三江周辺

[平成14年8月29日から14日間実施]

### 第15回調査：フランス、スイス、イタリアの3カ国

[平成15年8月25日から21日間実施] 及びイギリス、

フランス、スイス、イタリアの4カ国

[平成12年9月14日から12日間実施] を付加して報告。さらに、鶴田佳子による単独調査地のデータを付加している。

## (3) 調査概要

### ① 調査対象国

<2000年>

イギリス、フランス、スイス、イタリア4カ国地域

<2003年>

フランス、スイス、イタリア3カ国地域

### ② 実施期間

<2000年> 9月14日から9月25日の12日間

<2003年> 8月25日から9月13日の21日間

### ③ 調査メンバー

<2000年>

調査研究責任者：芦川 智

(昭和女子大学生生活機構研究科教授)

調査研究責任補助者：金子友美

(昭和女子大学生生活環境学科講師)

院生スタッフ：武藤史緒

(本学生生活機構研究科2年)

” : 森 淳子

(本学生生活機構研究科2年)

<2003年>

調査研究責任者：芦川 智

(昭和女子大学生生活機構研究科教授)

調査研究責任補助者：金子友美

(昭和女子大学生生活環境学科講師)

” : 鶴田佳子

(昭和女子大学国際文化研究所客員研究員)

” : 高木亜紀子

(昭和女子大学生生活環境学科助手)

院生スタッフ：丹生多美

(本学生生活機構研究科1年)

” : 横濱久美子

(本学生生活機構研究科1年)

④ 2000年・2003年調査日程及び調査行程

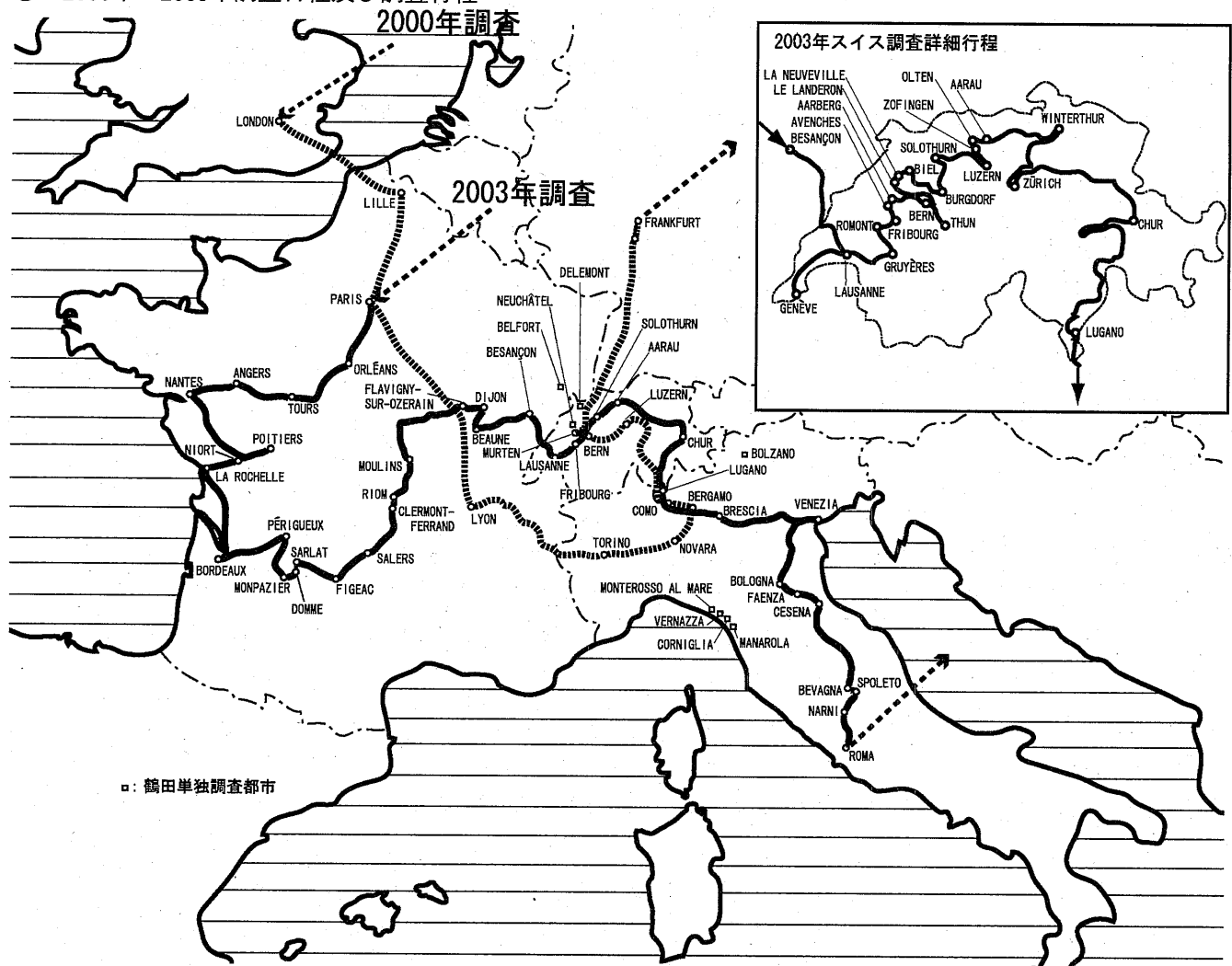


図-1 調査行程図 (2000年・2003年)

<2000年>

1. 9月14日(木) TOKYO→HONG KONG→
2. 9月15日(金)→LONDON
3. 9月16日(土) LONDON調査
4. 9月17日(日) LONDON→LILLE→PARIS (列車)
5. 9月18日(月) PARIS調査
6. 9月19日(火) PARIS→LYON (列車)
7. 9月20日(水) LYON→HAUTERIVES→TORINO (504km)
8. 9月21日(木) TORINO→NOVARA→BERGAMO→COMO (313km)
9. 9月22日(金) COMO→LUZERN→BERN (347km)
10. 9月23日(土) BERN→MURTEN→DARMSTADT (481km)
11. 9月24日(日) DARMSTADT→FRANKFURT
12. 9月25日(月)→HONG KONG→TOKYO

<2003年>

1. 8月25日(月) TOKYO→SEOUL→PARIS
2. 8月26日(火) PARIS準備
3. 8月27日(水) PARIS→ORLÉANS→CHAMBORD→CHENONCEAU→TOURS (298km)
4. 8月28日(木) TOURS→ANGERS→NANTES→POITIERS (457km)
5. 8月29日(金) POITIERS→NIORT→LA ROCHELLE→BORDEAUX (339km)
6. 8月30日(土) BORDEAUX→PÉRIGUEUX→MONPAZIER→DOMME→SARLAT (311km)
7. 8月31日(日) SARLAT→CAHORS→VILLEFRANCHE-DE-ROUERGUE→FIGEAC→SALERS→CLERMONT-FERRAND (463km)
8. 9月1日(月) CLERMONT-FERRAND→RIOM→MOULINS→VEZELAY→FLAVIGNY-SUR-OZERAIN→DIJON (463km)

9. 9月2日(火)DIJON→BEAUNE→BESANÇON→LAUSANNE→GENÈVE (358km)
10. 9月3日(水)GENÈVE→GRUYÈRES→ROMONT→FRIBOURG→AVENCHES→AARBERG→BERN→THUN (325km)
11. 9月4日(木)THUN→LE LANDERON→LA NEUVEVILLE→BURGDORF→SOLOTHURN→WANGEN (193km)
12. 9月5日(金)WANGEN→ZOFINGEN→OLTEN→AARAU→BRUGG→WINTERTHUR→ZÜRICH→ROOT (208km)
13. 9月6日(土)ROOT→LUZERN→CHUR→VALS→BELLINZONA (383km)
14. 9月7日(日)BELLINZONA→LUGANO→BRESCIA→MESTRE (379km)
15. 9月8日(月)MESTRE→VENEZIA→MESTRE (列車)
16. 9月9日(火)MESTRE→BOLOGNA→FAENZA→CESENA→PERUGIA (420km)
17. 9月10日(水)PERUGIA→BEVAGNA→MONTEFALCO→TREVI→SPOLETO→TERNI→NARNI (159km)
18. 9月11日(木)NARNI→OTRÍCOLI→PÒGGIO MIRTETO→PONZANO ROMANO→ROMA (152km)
19. 9月12日(金)ROMA→
21. 9月13日(土)→SEOUL→TOKYO

※ ( ) 内の距離数は車での走行距離を示す

#### (4) 調査内容と方法

調査準備は文献収集から始まる。文献資料から調査対象候補都市を選定し、その都市図と調査すべき広場の状況を把握し、歴史的経緯を読みとる作業を例年のごとく行った。一都市に広場は多く存在するが、その都市の中心となる空間を探し、そこに存在する広場を対象としていくことが原則である。

目標の都市に到着すると、その都市の市街地図や道路標識などを手がかりとし、現地の住民にヒアリングをしながらセンターゾーンにアプローチする。都市のセンター概念の明確な今回の4カ国の場合は比較的センターと広場が対応している場合が多い。

#### ① 調査内容

具体的な調査内容は以下ようになる。

- 測定・作業 平面形態(平面図の作成) / 規模の測定 / ファサードの記録(ビデオ, 写真) / 関係資料の収集(地図, パンフレット, 絵はがき, 文献等)
- 観察・確認項目 都市における位置 / 広場名称 / 広場機能 / 周辺建築の種別
- その他 各調査員による観察 / ヒアリング等

#### ② 調査機材

カメラ, ビデオ, 距離測定機器, コンベックス, スケッチブック等。

#### (5) 調査の結果

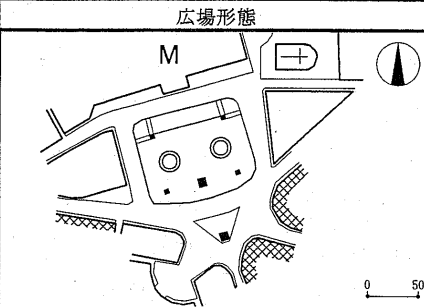
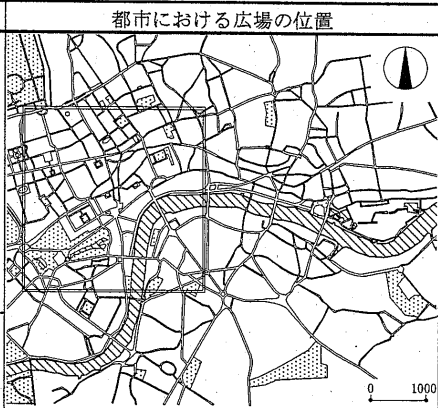
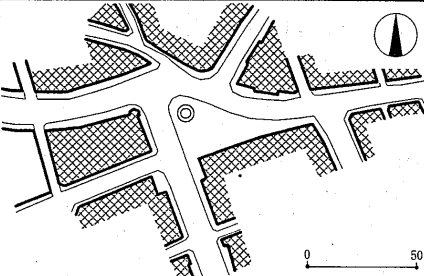
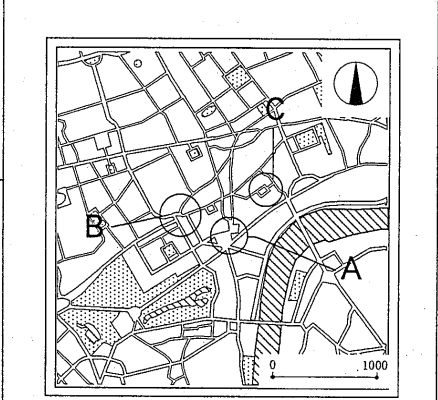
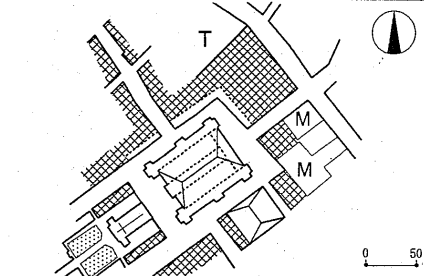
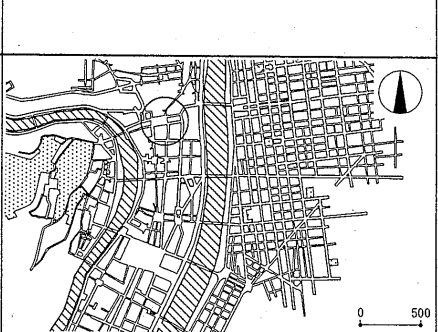
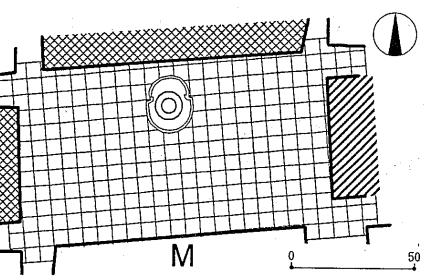
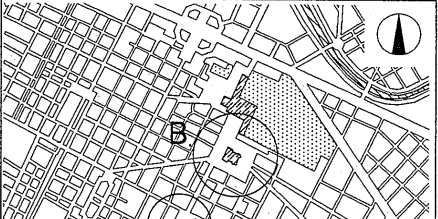
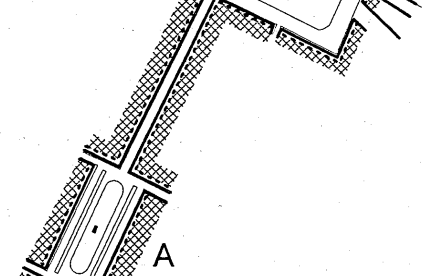


今回の調査報告は2000年調査と2003年調査の2回に単独調査を加えて、報告をするものとなっている。それは調査の地域が概ね重なっていることを踏まえているからである。2000年調査は海外駅調査時に併せて行われたもので調査事例数は少ない。つまり、2000年調査の都市数は9都市19広場事例となっている。それに対して、2003年調査は48都市101広場と多くなっている。そして、鶴田の単独調査事例数は、8都市18広場となっている。合計すると65都市138広場となる。車で走行した距離は2000年の場合が1645kmで、2003年が4908kmとなり、合計走行距離は6553kmとなる。

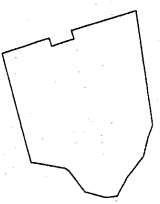
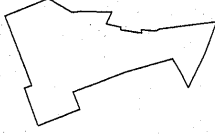
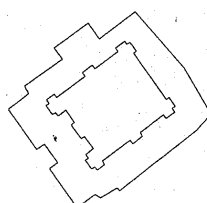
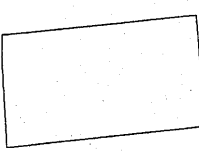

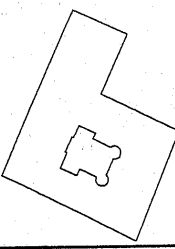
以上今回の報告は、複数の調査に基づきなされるが、その内容は、概ね三つに区分されると考える。つまり、フランス南部の小都市で市場広場を中心として構成された広場形態と、スイスの街路型広場と膨らみをもった広場である。その概要は(7)で示す。

#### (6) 調査対象となった都市と広場の概要

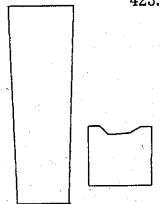
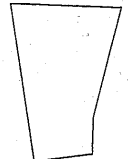
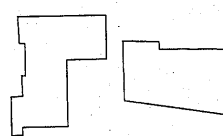
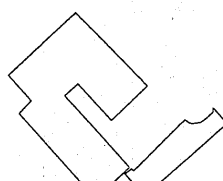
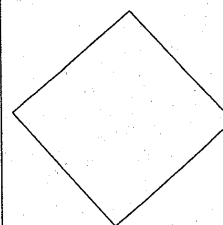

(図-2 第15回海外都市広場調査リスト その1 <2000年調査> ・ 図-3 第15回海外都市広場調査リスト その2 <2003年調査> 6~49頁参照)

図-2 第15回海外都市広場調査リスト その1 <2000年調査>

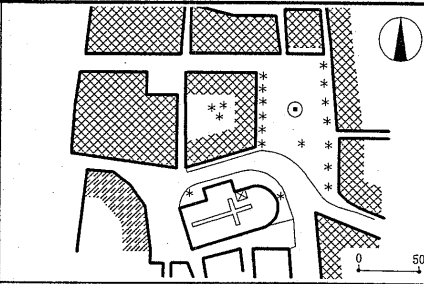
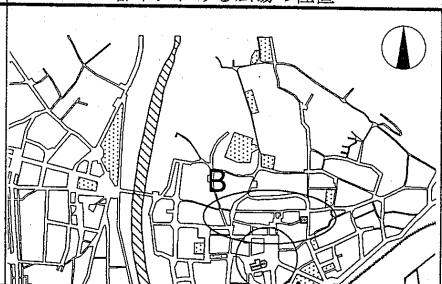
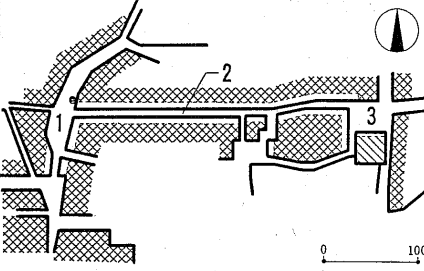
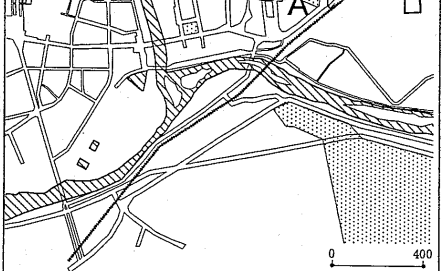
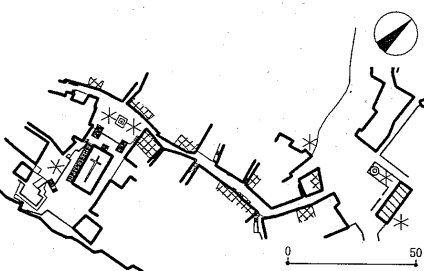
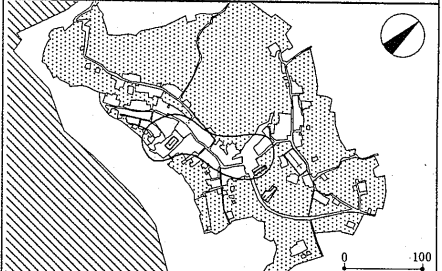
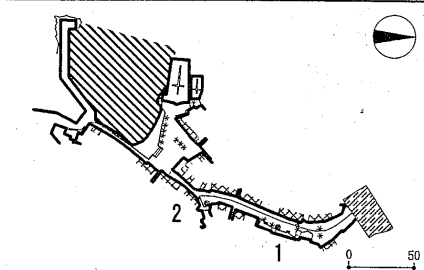
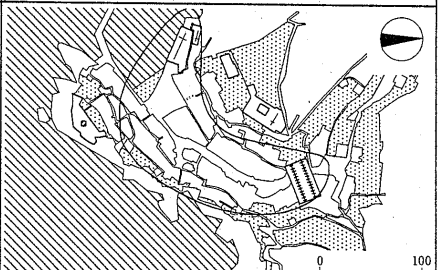
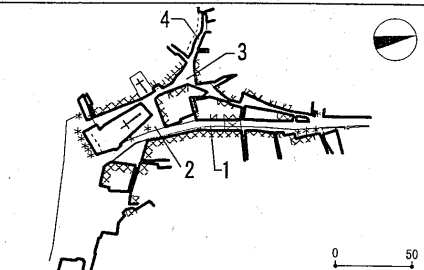
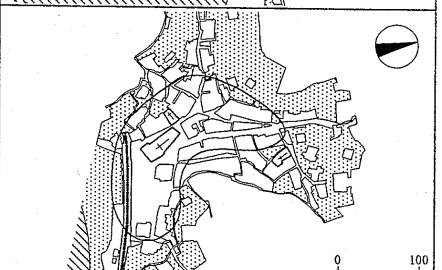
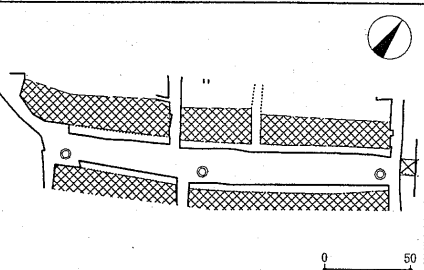
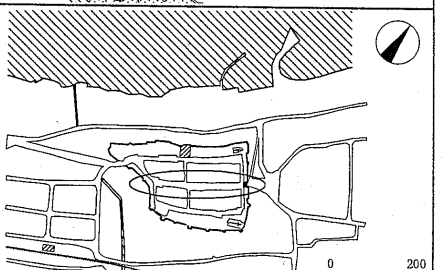
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
GBR-00-01	国 : GREAT BRITAIN A 都市 : LONDON 広場名称: TRAFALGAR SQUARE		
GBR-00-02	国 : GREAT BRITAIN B 都市 : LONDON 広場名称: PICCADILLY CIRCUS		
GBR-00-03	国 : GREAT BRITAIN C 都市 : LONDON 広場名称: COVENT GARDEN (PIAZZA)		
FRA-00-01	国 : FRANCE 都市 : LYON 広場名称: PLACE DES TERREAUX		
ITA-00-01	国 : ITALY A 都市 : TORINO 広場名称: PIAZZA SAN CARLO		
ITA-00-02	国 : ITALY B 都市 : TORINO 広場名称: 1) PIAZZA CASTELLO 2) PIAZZETTA REALE (王の広場)		

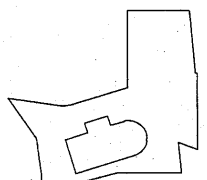
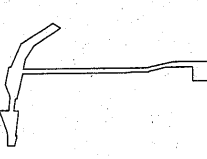
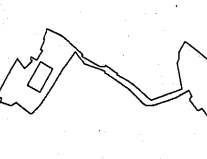
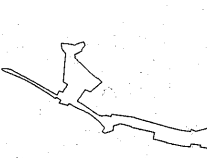

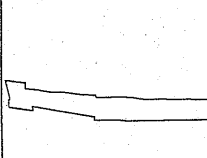
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
23,259.9㎡ 	博物館前広場 教会前広場 記念広場	チャールズ1世像 ネルソン提督記念碑 ナショナル・ギャラリー セント・マーティン・イ ン・ザ・フィールズ 教会 商業施設 カナダ・ハウス サウス・アフリカ・ハウス 像 噴水(2) アドミラルティ・アーチ	資料001 資料003 資料015 資料025 資料027 資料028	トラファルガー広場は、スペインの南、トラファルガー沖の海戦で戦死した海軍提督ネルソンの活躍と栄誉をたたえて、また、南北の連絡をスムーズにしようという計画で、1820年ジョン・ナッシュによって設計されたところである。広場には、ネルソン提督記念碑が立つ。この広場には、5万人も入れることから政治的な集會に利用されることもある。北側には、ナショナル・ギャラリーが建つ。以前は、王室厩舎が建っていた。毎年12月中旬にはノルウェー政府からクリスマス・ツリーが届けられ、広場に立てられる。  担当者 森 淳子
7,902.5㎡ 	憩いの広場 商業広場	エロスの像、噴水 商業施設	資料001 資料003 資料015 資料025 資料027 資料028	サーカスには「いくつかの道路が集まる円形広場」という意味がある。その意味の通り、ピカデリー・サーカスは多くの通りが交差した広場である。広場の中央には、多くの慈善事業を行った第7代チャプツベリー伯を記念した噴水の上にエロスの像が建ちそのまわりを多くの車が通り抜ける構成になっている。ピカデリー・サーカス一帯は、ウエスト・エンドと呼ばれ、昔は、西のほうに位置していたが、今では、ロンドンのへそと呼ばれている。ロンドンの代表的な盛り場のひとつで人々で賑わっている。  担当者 森 淳子
15,244.3㎡ 	教会前広場 商業広場 憩いの広場 博物館前広場 市場広場	商業施設 セント・ポールズ教会 劇場博物館 ロンドン交通博物館 中央市場 ジュビリー市場 露店	資料002 資料003 資料025 資料026 資料028	広場の名称は、コンウ・エント・ガーデンからきており、「修道院の庭」という意味をもつ。はじめはウエストミンスター修道院の領地であったが、国教分離後の1631年、この領地に建物を建てるようになった。広場の中央に位置する中央市場建物内には露店が並び、多くの人が集い、食事をしたりミニ・コンサートを楽しんでいた。ジュビリー市場には、月曜日に骨董品、火曜～金曜に一般的な商品、土、日曜に手工芸品が並ぶ。調査時には、セント・ポールズ教会前で、パフォーマンスが行われていた。  担当者 森 淳子
8,796.6㎡ 	市庁舎前広場 美術館前広場	市庁舎 商業施設 聖ペテロ館(サン・ピエール館、美術館) 躍動する4頭の馬の泉水 噴水	資料001 資料004 資料005 資料006 資料013 資料016 資料018	ローヌ川とソーヌ川という二つの大河の交わる交通の要衝に位置するリオンは、20世紀にわたる歴史をもつフランス第2の大都会である。町はソーヌ川西岸に旧市街、ローヌ川東岸に新市街、現在のリヨンの中心街である二つの川にはさまれた半島部分の三つの領域で構成される。現在のテロー広場のあたりは、ローマ時代以前二つの川の合流点であった。広場の床面はグリット状のデザインで、噴水が設けられている。市庁舎の東には世界的に有名な建築家、ジャン・ヌーヴェルによって改修されたオペラ座がある。  担当者 金子 友美
43,171.7㎡ 	商業広場 教会前広場 博物館前広場 駐車場	サン・カルロ教会 サンタ・クリスティナ教会 商業施設 エジプト博物館、サバウダ美術館(科学アカデミー宮殿) エマヌエーレ・フィリベルトの騎馬像	資料008 資料019 資料020 資料021	トリノは、17世紀後期バロック建築家、グエリーノ・グアリーニの造った建物であふれている。市街には広い通りと広場が多く、これらが、基盤の目のように直交している。都市計画によって造られた町である。「トリノの客間」とも呼ばれるサン・カルロ広場の南側には、シンメトリックな二つの教会(サン・カルロ教会、サンタ・クリスティナ教会)が建つ。広場はアーケードで囲まれ、広場中央には、イタリア王国統一の初代国王、エマヌエーレ・フィリベルトの騎馬像がある。その像の周囲は、駐車場となっていた。  担当者 森 淳子
1)+2) 12,533.3㎡ 	王宮前広場 宮殿周囲広場 教会前広場 州庁舎前広場 劇場前広場 博物館前広場	王宮、王室武器館 古代美術館(マダマ宮殿) サン・ロレンツォ教会 ピエモンテ州庁舎 国立歌劇場 商業施設 国立映画博物館(キアブレゼ宮殿) 仮設ブース 路面電車の停留所 像(5) 露店	資料008 資料019 資料020 資料021	王宮には、サヴォイア家の大公たちが1865年まで住んでいた。カスティロ広場中央にあるのがマダマ宮殿で、カルロ・エマヌエーレ2世の未亡人が住んでいたことから、夫人(マダマ)宮殿と呼ばれている。広場の西側、マダマ宮殿の前方には、ピエモンテ州の州庁舎がある。サン・ロレンツォ教会は1668年～1680年にかけて建築された小さな教会である。広場にある建物は重要なものばかりである。調査時には、イベントが行われており仮設ブースが設けられていた。見本市も立つことがある。  担当者 森 淳子

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-00-03	国 : ITALY 都市: NOVARA 広場名称: PIAZZA DELLA REPUBBLICA (PIAZZA DEL DUOMO)		
ITA-00-04	国 : ITALY 都市: NOVARA 広場名称: PIAZZA CESARE BATTISTI (PIAZZA DELLE ELBE)		
ITA-00-05	国 : ITALY 都市: BERGAMO 広場名称: 1) PIAZZA DEL DUOMO 2) PIAZZA VECCHIA (古い広場)		
ITA-00-06	国 : ITALY 都市: COMO 広場名称: 1) PIAZZA DEL DUOMO 2) VIA PRETORIO 3) VIA MAESTRI COMACINI		
ITA-00-07	国 : ITALY 都市: COMO 広場名称: PIAZZA CAVOUR		
ITA-00-08	国 : ITALY 都市: MANAROLA 広場名称: VIA ANTORIO DISCOVOLO		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
 <p>1,414.4㎡ 423.9㎡</p>	教会(大聖堂)前広場 博物館(旧政庁舎)前広場	教会(大聖堂) 市立博物館(旧政庁舎) 商業施設 礼拝堂	資料008 資料019 資料021	ノウ・アラーはピエモンテ州とロンバルディア州の境界にあり、広がる平野の中で米を中心に耕作しているロメリーナ地方の北に位置する。商業、工業の中心であるとともに、北部イタリアの道路網の重要な要地となっている。ドウオモはA.アントネルリによって1869年に建てられた新古典主義末期のものであり、6、7世紀の初期キリスト教の洗礼堂が残っている。現在市立博物館となっている旧政庁舎は中庭を取り囲む複数の館、14～15世紀の行政長官の館や13世紀初期の市庁舎、13、15世紀のパラディーナ館から構成されている。  担当者 武藤 史緒
 <p>898.1㎡</p>	商業広場	商業施設	資料008 資料019 資料021	ノウ・アラーの中心部を回る大通りは五角形に設計されているが、これは1553年から1606年にスペイン人が市を破壊し市外の集落を取り壊して築いた城壁の跡を示している。ドウオモを中心にこの広場も五角形の中心部に位置し、カフェが立ち並び多くの人で賑わっている。  担当者 武藤 史緒
 <p>1) 1,271.0㎡ 2) 2,733.7㎡</p>	教会(大聖堂)前広場 宮殿前広場 旧市庁舎前広場	教会(大聖堂) コレオーニ礼拝堂 サンタ・マリア・マジョーレ聖堂 サンタ・クローチェ神殿 洗礼堂 ラジョーネ宮(旧市庁舎、公会堂) 商業施設 市立図書館(パラッツォ・スオーヴォ) コムーネの塔 スカモツィアーノ館 噴水	資料007 資料008 資料019 資料020 資料022 資料031 資料032	ベルガモの町は、山の手と下町の二つの領域から成る。両者は紀元前2世紀から異なる歴史をもつ。この広場のある山の手は司教、市庁所在、ウ・イスコソニ家支那の支配という歴史を経てウ・エネツィア共和国時代を迎える。山の手はこの時代(16世紀)に築かれた城壁に囲まれている。広場の周囲は複数の記念建造物が建ち並び、町の歴史的中心を構成している。特にウ・エネツィア広場は周囲の建物による囲われ感、広場床面の舗装デザイン、中央の噴水、それらの要素が調和のとれた広場空間を創りだしている。  担当者 金子 友美
 <p>1)+2) 5,358.6㎡ 3) 1,257.7㎡</p>	教会(大聖堂)前広場 旧政庁舎前広場 駐車場	教会(大聖堂) プロレット(旧政庁舎) 市の塔 商業施設 露店	資料008 資料019 資料021 資料033 資料031	コモはロンバルディア州の県都で、ブルナーテ山の裾に広がる丘陵地に囲まれた小さな盆地にありコモ湖の一端に面している。ケルト族の要塞都市として紀元前5～6世紀に誕生した。ドウオモ広場はこの都市の記念建造物が並ぶ中心地。政庁舎は1215年に建てられたロマネスク・ゴシック様式の建築で、隣接して建つ市の塔は1927年に再建された。ドウオモは1396年に建設が開始され、18世紀まで続いた。ドウオモの東側に果物の露店が出ていた。  担当者 武藤 史緒
 <p>10,589.1㎡</p>	憩いの広場 商業広場	商業施設 噴水 船着場	資料008 資料019 資料021 資料033 資料034	市民生活の中心地で、1871年に埋め立てられた古い港の跡地にある。広場から湖の全景が見渡すことができ、湖岸には湖周遊の遊覧船や水中翼船が停泊している。広場に面したラリアーノ銀行の並に、観光案内所があり、広場には土産物や売店が並んでいて多くの観光客で賑わっている。見晴らしも良いのでベンチでくつろぐ人も多い。  担当者 武藤 史緒
 <p>2,569.6㎡</p>	通り広場 港前広場 憩いの広場	商業施設 船着場	資料019 資料021 資料036 資料037 資料038	チンクエ・テッレ(「5つの地」の意)のひとつの町で、リオマッジョーレの西に位置し、切り立った海岸線に沿った道で二つの町は結ばれている。チンクエ・テッレはリグーリアの東リヴィエラの海岸線に位置する。海に迫る切り立った山を背にした5つの町は11世紀以降誕生した。この町のメインストリートは谷間に位置し、川の流れの上を覆っている。上流のSAN LORENZO教会付近で流れが顔を出す。教会前は川の上に広場を作り、敷石を敷き詰めて整備している。通りは線路によって海側と山側に分断されており、海側の方が賑わいをみせていた。町の周辺は緑豊かなぶどうの段々畑になっている。  担当者 鶴田 佳子



CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-00-09	国 : ITALY 都市: BOLZANO 広場名称: PIAZZA WALTHER	A 	
ITA-00-10	国 : ITALY 都市: BOLZANO 広場名称: 1) PIAZZA DELLE ERBE 2) VIA DEI PORTICI 3) PIAZZA MUNICIPIO	B 	
ITA-00-11	国 : ITALY 都市: CORNIGLIA 広場名称: LARGO TARAGIO		
ITA-00-12	国 : ITALY 都市: VERNAZZA 広場名称: 1) VIA ROMA 2) VIA E. D. VISCONTI		
ITA-00-13	国 : ITALY 都市: MONTEROSSO AL MARE 広場名称: 1) VIA ROMA 2) PIAZZA DON MINZONI 3) PIAZZA MATTEOTTI 4) VIA BURANCO		
SUI-00-01	国 : SWITZERLAND 都市: MURTEN 広場名称: HAUPTGASSE (中央通り)		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
14,556.6㎡ 	教会（大聖堂）前広場 記念広場	商業施設 大聖堂 ヴァルターの像 地下駐車場	資料008 資料019 資料022 資料035 資料050	ヴァルター広場はアルト・アディジェ特別自治県の県都ボルツァーノの中心に位置する。広場中央に中世ドイツの偉大な詩人ヴァルター・フォン・デア・フォーゲルヴァイデの記念像が立つ。彼はアルト・アディジェの出身と考えられており、広場名は19世紀に建てられた彼の記念像にちなんでつけられた。広場南側に立つ壮大な大聖堂は14～15世紀に建てられたゴシック様式の建物である。12月には、ここでクリスマス市が開催される。広場の地下は駐車場になっている。  担当者 鶴田 佳子
1)+2)+3) 7,683.2㎡ 	市場広場 市庁舎前広場 商業広場	市庁舎 商業施設 ネプチューンの噴水 ゲオルク・マイルの像	資料008 資料019 資料022 資料035 資料050	商業が重要な位置を占めていたボルツァーノでは、市場が中世から盛況であった。中世には春2回、秋2回それぞれ2週間ずつ年4回の市が立っていた。かつての商業中心地区は細い街路の両側にアーケードの並ぶボルティチ通りである。通りの39番地には、1708年建造のバロック様式の商館がある。調査時は（土曜）、この通りの西側で連携しているエルベ広場で野菜市が立っていた。通りとの合流点の近くに17世紀建造のネプチューンの噴水がある。広場の北側に続く道に沿って進むと左手にゴシック様式のフランチェスコ教会がある。  担当者 鶴田 佳子
2,233.5㎡ 	通り広場 市場広場 憩いの広場 教会前広場 市庁舎横広場	商業施設 ORATORIO DEI DISCIPLINATI DI S. CATERINA 市庁舎 井戸 像	資料019 資料021 資料036 資料037 資料038	チンクエ・テッレの中で一番小さな町で、海拔90mの岩山の上に位置し尾根沿いに延びるメインストリートを中心に形成されている。海岸近くの駅からは、377段の階段を上ると町の入り口の広場へたどり着く。広場横では露天市が立ち、広場東側には役所がある。広場から南へ延びるメインストリートは道幅が狭く地形に添う形で蛇行している。さらに5分ほど歩くと小広場 LARGO TARAGIOIに出る。ここは、カフェのテーブルが並ぶ憩いの広場である。広場の南側の高台に折拝所ORATORIO DEI DISCIPLINATI DI S. CATERINAが位置する。  担当者 鶴田 佳子
1)+2) 29,303.4㎡ 	通り広場 教会前広場 港前広場 憩いの広場	サンタ・マルゲリータ・ダンテ・オキア教区教会 商業施設 船着場 水場 駅	資料019 資料021 資料036 資料037 資料038	チンクエ・テッレのひとつの町で、海に面して教会前広場があり、砂浜もある。砂浜の横に船着場があり、ヨットや小船が停泊している。サンタ・マルゲリータ・ダンテ・オキア教区教会は1318年の建造である。広場はカフェやレストランのテーブルが並び賑わいをみせている。港の南側の岬の高台には城壁跡がある。広場から蛇行しながら延びるメインストリートは谷間にあり、通りの両側の斜面に住宅が並ぶ。  担当者 鶴田 佳子
1)+2)+3)+4) 5,110.6㎡ 	教会周囲広場 通り広場 港前広場	サン・ジョヴァンニ・バッティスタ教会 サンタ・マリア・ディ・ポルト・サルヴォ祈禱所 旧執政長官の開廊の館 商業施設 船着場	資料019 資料021 資料036 資料037 資料038	チンクエ・テッレ最西端の町。緩やかに傾斜した土地に広がり、港や砂浜も広く、他の町に比べ、平面的な広がりがあり、ゆったりとした印象を受ける。サン・ジョヴァンニ・バッティスタ教会は、モンテロソの教区教会であり13～14世紀のもので後に修復されている。教区教会の小広場に面してサンタ・マリア・ディ・ポルト・サルヴォ祈禱所がある。教会の裏手、VIA ROMAの入り口には旧執政長官の開廊の館がある。  担当者 鶴田 佳子
3,905.5㎡ 	通り広場	ベルン門 噴水 泉(2) 商業施設 RUBENLOCH	資料009 資料011 資料023 資料024 資料049	ムルテンはムルテン湖の東岸に位置し、領主ツェーリングンによって築かれた町である。そのため町全体がベルンに似た構成となっている。城壁に囲まれた旧市街の中央を貫くこの通りには、アーケード付きの家々が並び、行き交う人々で賑わっている。この通りの外れにRUBENLOCHという美しい古家がある。  担当者 金子 友美

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-00-02	国 : SWITZERLAND A 都市 : LUZERN 広場名称: KORNMARKT (穀物市場)		
SUI-00-03	国 : SWITZERLAND B 都市 : LUZERN 広場名称: WEINMARKT (ワイン市場)		
SUI-00-04	国 : SWITZERLAND C 都市 : LUZERN 広場名称: HIRSCHENPLATZ (鹿の市場)		
SUI-00-05	国 : SWITZERLAND A 都市 : BERN 広場名称: MARKTGASSE (市場通り)		
SUI-00-06	国 : SWITZERLAND B 都市 : BERN 広場名称: 1) KRAMGASSE (露店通り) 2) GERECHTIGKEITSGASSE (正義の女神通り)		
SUI-00-07	国 : SWITZERLAND 都市 : NEUCHÂTEL 広場名称: 1) PLACE DES HALLES 2) RUE DU COQ-D'INDE 3) RUE DU TRESOR		

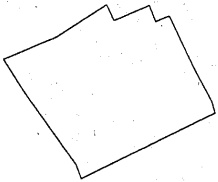
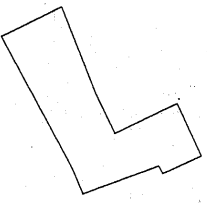
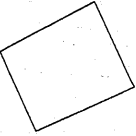

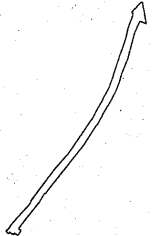
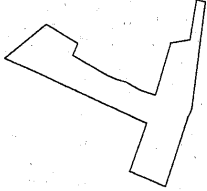
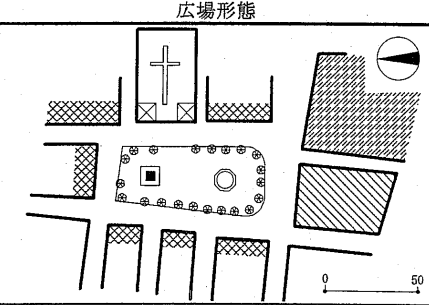
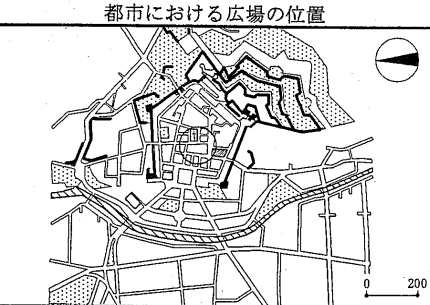
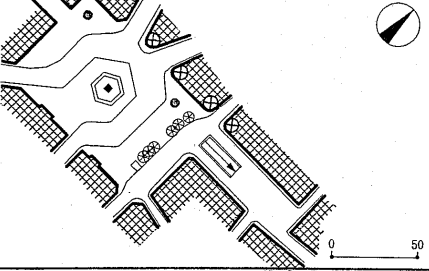
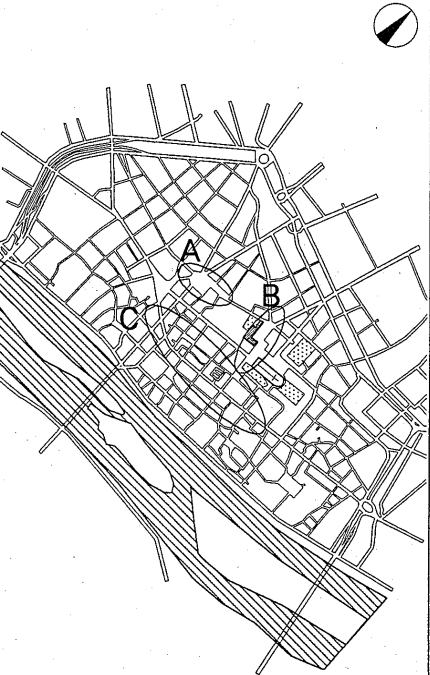
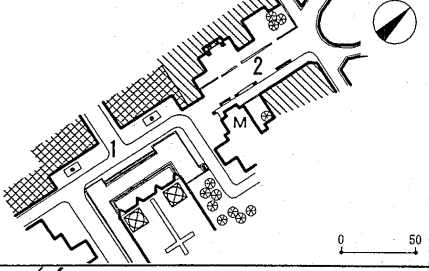
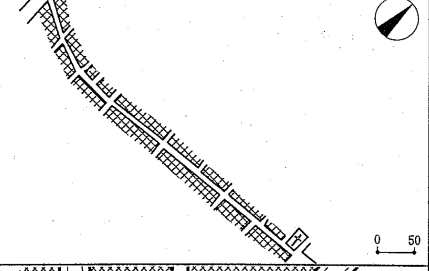
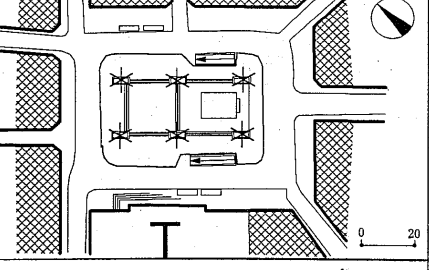
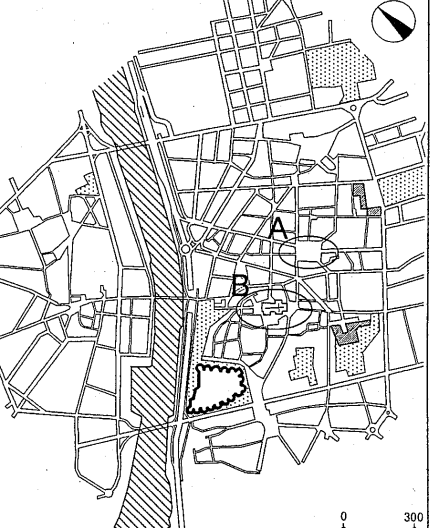
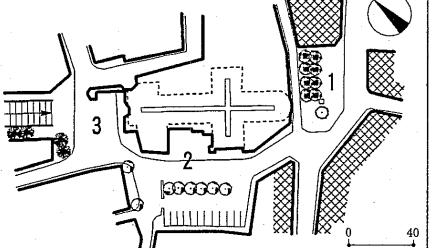
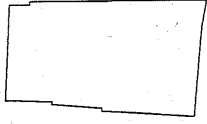
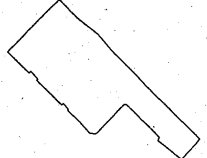
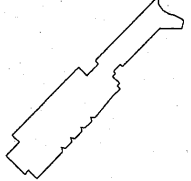
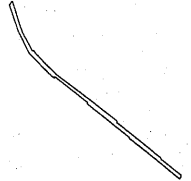
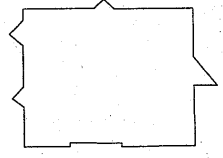
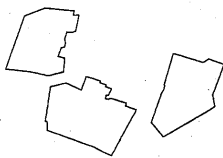
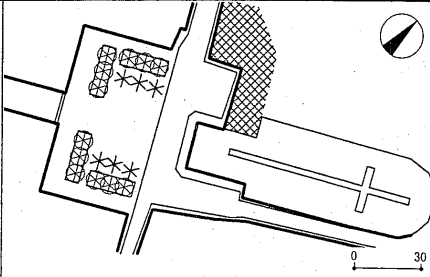
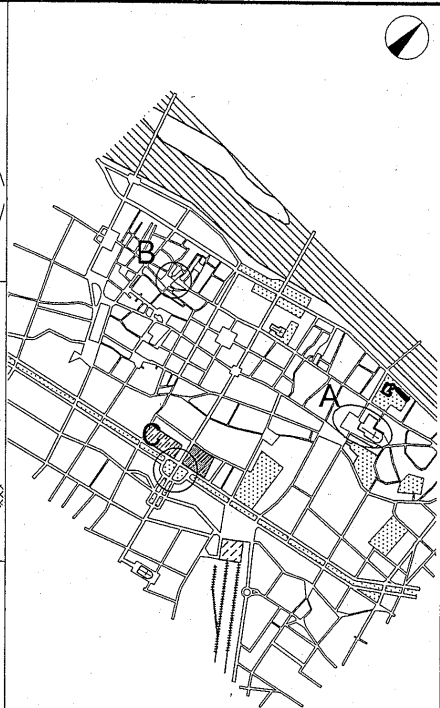
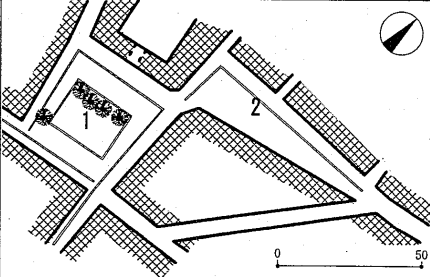
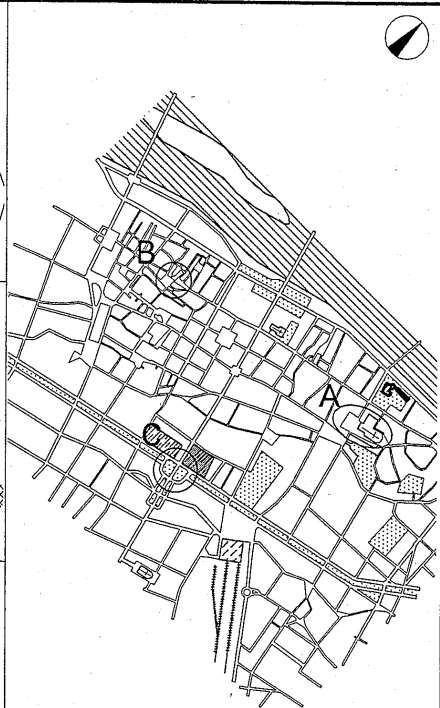
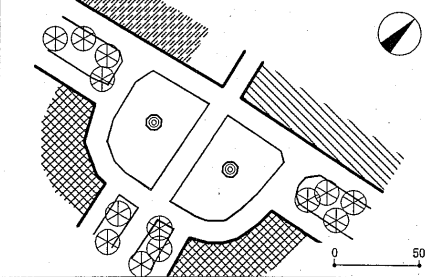
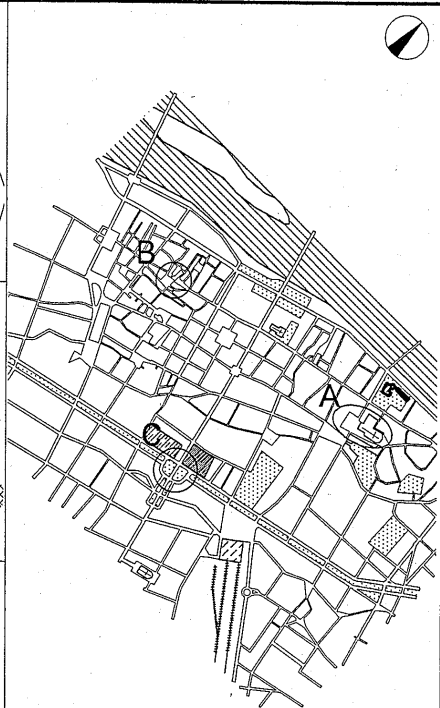
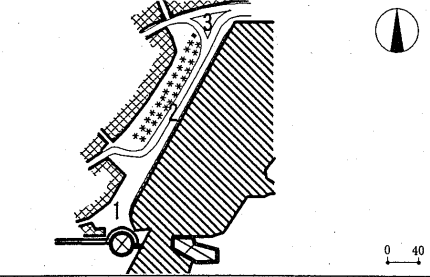
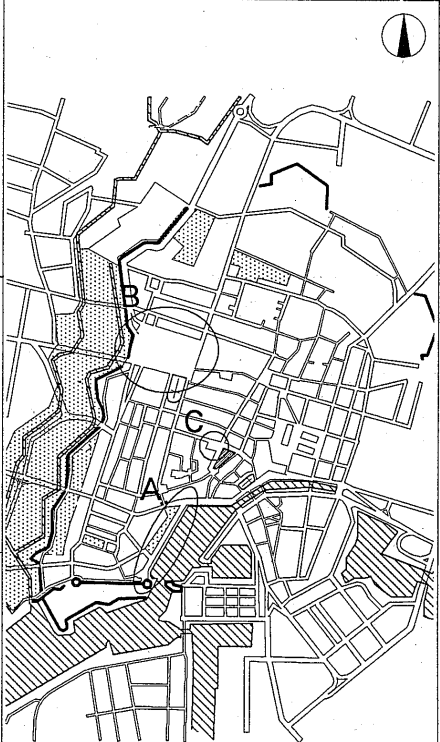
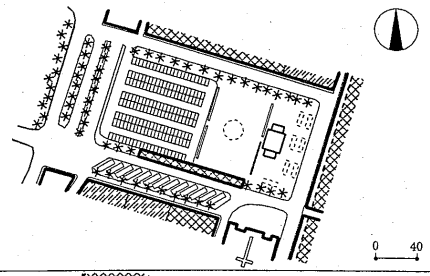
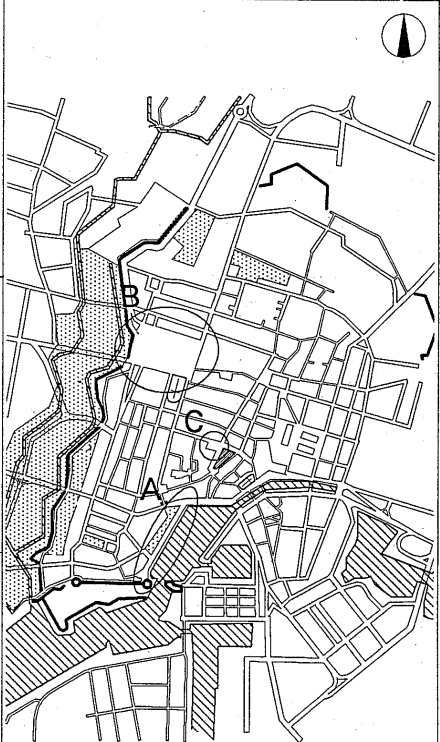
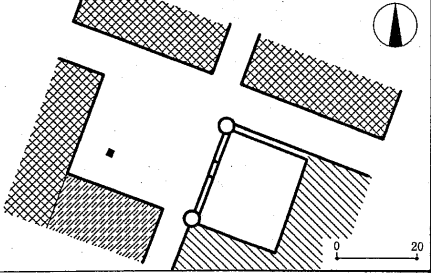
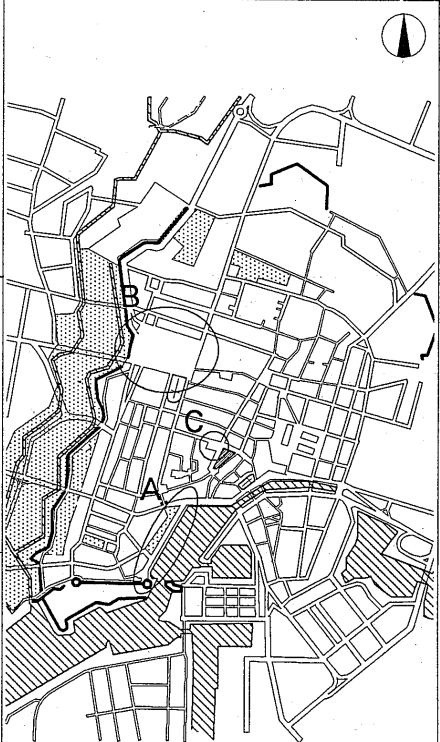
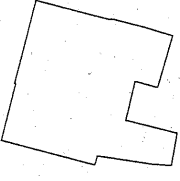
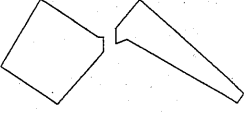
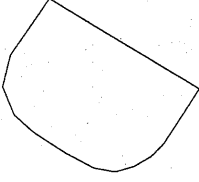
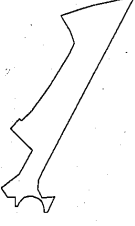
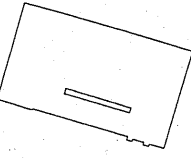
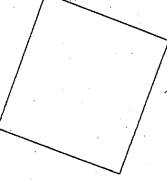
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
984.6㎡ 	旧市庁舎前広場 憩いの広場	旧市庁舎 商業施設 泉	資料010 資料023 資料024 資料045 資料046	ルツェルンは古くは一漁村にすぎなかったが、8世紀ベネディクト派修道院が建立されてから栄え始め13世紀ゴットアルド街道が開通し北のフランドル地方と南のイタリアをつなぐ商業活動の要衝の地となった。現在はルツェルン州の州都であり、スイス屈指の観光都市である。また毎年開催される国際音楽祭でも有名な町である。広場南側には1602～06年に建てられたルネッサンス様式の旧市庁舎がある。広場ではアルペンホルンの演奏が行われ、多くの観光客で賑わっていた。  担当者 金子 友美
1,612.7㎡ 	市場広場 憩いの広場	ワイン市場薬局 天秤館 噴水、聖モーリスと戦士たちの像 商業施設	資料010 資料023 資料024 資料045 資料046	広場を囲む古い家々の壁には様々な壁画が描かれ、たくさん看板が飾られている。この広場にはかつてギルドが置かれていた。現在は多くの観光客で賑わうルツェルンの旧市街の中心的広場である。ハンドクラフト市が4月～12月の第1土曜に、12月にはクリスマス市が立つ。  担当者 金子 友美
644.2㎡ 	憩いの広場 市場広場	泉 商業施設	資料010 資料023 資料024 資料045 資料046	広場を囲む家々は復元されたものであり、彩色されたファサードには鉄製の看板がさげられている。この広場はかつて人々の待ち合わせの場所として使われていた。現在は静かな行末の広場である。3月から12月の第1水曜に市が立つ。  担当者 金子 友美
4,973.9㎡ 	通り広場 旧市場広場	牢獄塔 アンナ・ザイラーの噴水 銃士の噴水 商業施設 時計塔	資料009 資料010 資料012 資料023 資料024 資料040 資料041 資料042	スイスほぼ中央に位置するベルンは、1911年ツェーリングン家のベルヒルト伯爵によってなされた町づくりが現在の都市構成の基盤となっている。旧市街はアーレ川の緩やかな蛇行によって形成された半島状の地形に立地し、その東端から西へ向けて町は拡張していった。現存する時計塔・牢獄塔は、元々それぞれの時代の町の入口部分に設置された門である。マルクト通りは、ちょうどこの二つの塔の間、約400mの通りの名称である。彫刻の施された噴水、石畳の路面、ラウベン（石造りのアーケード）を伴う17・18世紀の家並み、1405年の大火後再建された町並みはその大部分が当時のままで、現在も各種店舗が軒を連ねる町のメインストリートである。  担当者 金子 友美
1)+2) 1,218.8㎡ 	通り広場 旧市場広場	時計塔 商業施設 ツェーリングンの噴水 サムソンの噴水 クロイツガッセ噴水 正義の女神の噴水 アインシュタイン博物館	資料009 資料010 資料012 資料023 資料024 資料040 資料041 資料042	クラム通り西端の時計塔は1256年まで市の門であった。現在でもマルクト通りから続く、賑やかな町の中心である。この通りの1階に続くラウベンには、全長約1kmにもおよび、その長さはヨーロッパでは他に類をみない。ベルンの旧市街は、東西に延びるこのメインストリートに平行して、北側・南側に通りが並ぶ構成となっている。北側のラートハウス通りには市庁舎があり、南側のエンケル通りには大聖堂が位置する。  担当者 金子 友美
1)+2)+3) 3,599.5㎡ 	市場広場 憩いの広場	商業施設 旧市場施設 泉	資料010 資料023 資料024 資料048	広場の北側には、現在レストランとして活用されている旧市場施設がある。二つの尖った屋根が広場のシンボリックな存在となっている。広場にはオープンカフェのパラソルが並び、くつろぐ人々で賑わっている。広場周辺で野菜の市が立つ。広場の北東に位置する城から北西に位置する市庁舎までのエリアはほとんどが歩行者占有空間になっており、中世の面影を楽しみながら歩くことができる。水場の裏手、COQ-D' INDE通りの並木の下は駐車スペースになっている。  担当者 鶴田 佳子

図-3 第15回海外都市広場調査リスト その2 <2003年調査>

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-01	国 : FRANCE 都市: BELFORT 広場名称: PLACE D'ARMES		
FRA-03-02	国 : FRANCE 都市: ORLÉANS 広場名称: PLACE DU MARTROI	A 	
FRA-03-03	国 : FRANCE 都市: ORLÉANS 広場名称: 1) PLACE STE-CROIX 2) PLACE DE L'ÉTAPE	B 	
FRA-03-04	国 : FRANCE 都市: ORLÉANS 広場名称: RUE DE BOURGOGNE	C 	
FRA-03-05	国 : FRANCE 都市: ANGERS 広場名称: PLACE DU RALLIEMENT	A 	
FRA-03-06	国 : FRANCE 都市: ANGERS 広場名称: 1) PLACE SAINTE CROIX 2) PLACE FREPPEL 3) PLACE MONSIEUR CHAPPOULIE	B 	

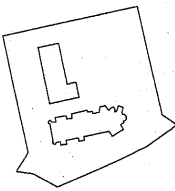
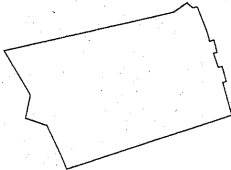
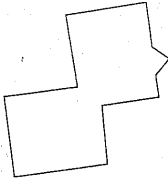
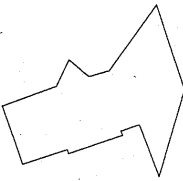
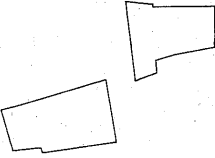
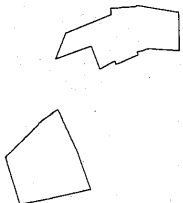
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
6,465.8㎡ 	市庁舎前広場 教会前広場	市庁舎 サン・クリフトフ教会 商業施設 像 HOTEL DU GOUVERNEUR	資料002 資料008 資料023 資料077 資料080 資料099 資料103	ジュラ山地とヴォージュ山地の間のベルフォールの谷にある交通の要衝の町である。17世紀にヴォーバンが建設した堅固な城塞とその壁にそそり立つ赤い砂岩に彫られた巨大なライオン像が象徴的である。城塞の大部分は19世紀末の都市の拡大により取り払われた。町の中央にはサヴルーズ川が南北に流れ、新市街と旧市街に分離している。城塞都市の中心の空間がこのPLACE D' ARMES であり、現在は18世紀建造の教会と市庁舎が面し、オープンカフェが並ぶ広場である。一街区西側に裁判所と県庁が面する共和国広場がある。  担当者 鶴田 佳子
11,449.8㎡ 	記念広場 憩いの広場	商業施設 ジャンヌ・ダルクの像 泉(2) 地下駐車場 仮設メリーゴーランド	資料002 資料081 資料008 資料095 資料013 資料102 資料019 資料103 資料053 資料074 資料077 資料080	オルレアンはジャンヌ・ダルクの活躍の地として有名であるが、紀元直後から20世紀の第二次世界大戦まで、戦禍を受け続けた町でもある。広場の中央にはジャンヌ・ダルクの像があり、その周囲はEU各国の国旗が囲んでいた。広場内は路面電車が通り抜けるが、一方で仮設のメリーゴーランドが設けられ、カフェや歩行者空間も確保されていた。  担当者 金子 友美
1)+2) 11,082.7㎡ 	教会(大聖堂)前広場 市庁舎前広場 美術館前広場	サント・クロワ大聖堂 市庁舎(オテル・グロスロ) 美術館 パヴィオン・デスキュール	資料002 資料081 資料008 資料095 資料013 資料102 資料019 資料103 資料053 資料074 資料077 資料080	この広場は1840年頃にサント・クロワ大聖堂正面へ通じる大通り、ジャンヌ・ダルク通りが開通したときに作られた。広場には1550年に建てられたルネッサンス様式の館オテル・グロスロや、17世紀の町人住居パヴィオン・デスキュールなど歴史を物語る建物が並ぶ。現在も市庁舎や美術館、そして大聖堂という町の中心部構成要素が揃う広場である。  担当者 金子 友美
4,484.6㎡ 	通り広場	旧テーズ講堂のファサード (旧オルレアン大学図書館) 商業施設	資料002 資料081 資料008 資料095 資料013 資料102 資料019 資料103 資料053 資料074 資料077 資料080	ブルゴーニュ通りは旧市街の南東部をロワール河に平行するように延びる。この通りはガリア・ローマ時代の旧市街を東西に貫く幹線道路であったが、現在は商店が軒を連ねる歩行者専用道路である。  担当者 金子 友美
7,744.6㎡ 	劇場前広場 憩いの広場	劇場 商業施設 地下駐車場 バスターミナル	資料002 資料081 資料008 資料095 資料013 資料097 資料019 資料099 資料029 資料102 資料074 資料103 資料077 資料080	アンジェはフランス西部、メーヌ・エ・ロアール県の県都で、アンジュー地方の中心地である。広場は旧市街のほぼ中央に位置する。地下には大規模な駐車場が設けられ、地上は歩行者の空間を中心に現代的デザインに整えられていた。  担当者 金子 友美
1) 2,282.1㎡ 2) 2,821.9㎡ 3) 2,128.5㎡ 	教会(大聖堂)周囲広場 駐車場 商業施設	サン・モーリス大聖堂 アダンの家 像 商業施設	資料002 資料081 資料008 資料095 資料013 資料097 資料019 資料099 資料029 資料102 資料074 資料103 資料077 資料080	サン・モーリス大聖堂は、12~13世紀のプランタジネット様式と呼ばれる建築の傑作とされている。広場はこの大聖堂の正面から側面・後方と名称を変えながら連続する。大聖堂の後方にあたるサント・クロワ広場には、ポラードが設けられ車と人の空間が分けられていた。またその一角にはアダンの家と呼ばれる16世紀の木骨組家屋があり、広場の雰囲気を一層和やかなものにしていく。  担当者 金子 友美

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-07	国 : FRANCE 都市: TOURS 広場名称: PLACE DE LA CATHÉDRALE	A 	
FRA-03-08	国 : FRANCE 都市: TOURS 広場名称: 1) PLACE PLUMEREAU 2) RUE DU COMMERCCE	B 	
FRA-03-09	国 : FRANCE 都市: TOURS 広場名称: PLACE JEAN JAURES	C 	
FRA-03-10	国 : FRANCE 都市: LA ROCHELLE 広場名称: 1) PLACE BARENTIN 2) COURS DES DAMES 3) PLACE DE LA CHAÎNE	A 	
FRA-03-11	国 : FRANCE 都市: LA ROCHELLE 広場名称: PLACE DE VERDUN	B 	
FRA-03-12	国 : FRANCE 都市: LA ROCHELLE 広場名称: PLACE DE L'HÔTEL DE VILLE	C 	

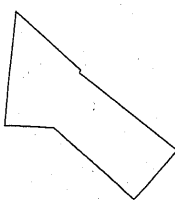
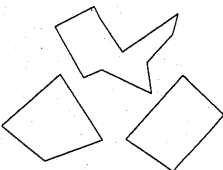
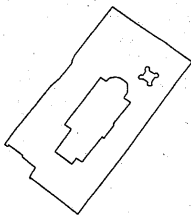
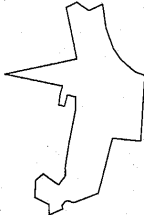

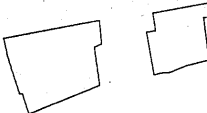
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
433.7㎡ 	教会(大聖堂)前広場	サン・ガシヤン大聖堂 教会付属聖歌隊学校 商業施設	資料002 資料081 資料006 資料094 資料008 資料095 資料013 資料099 資料019 資料103 資料039 資料074 資料080	トゥールはロワール地方の中心都市で、ロワール河とシェール川に挟まれた地峡の町である。ルイ11世の時代には一時フランスの首都が置かれたこともある。サン・ガシヤン大聖堂は15世紀後半に完成したゴシック建築で、旧市街の東に位置する。サン・ガシヤンは、トゥール初の司教となった人物である。壮大な大聖堂前の広場は、整備された印象であるが閑散としていた。  担当者 金子 友美
1) 1,847.5㎡ 2) 1,215.8㎡ 	商業広場 憩いの広場	商業施設 遺跡	資料002 資料081 資料006 資料094 資料008 資料095 資料013 資料099 資料019 資料103 資料039 資料074 資料080	広場は昔「カロワ(交差点)」だった場所に位置している。現在の広場は、石造・木造の美しい家々に囲まれ、カフェやレストランのテーブルと椅子が並べられている。広場北側には12世紀まで教会があり、現在は遺跡が残る。  担当者 金子 友美
8,960.1㎡ 	市庁舎前広場 裁判所前広場 交通広場	市庁舎 裁判所 商業施設 噴水(2)	資料002 資料081 資料006 資料094 資料008 資料095 資料013 資料099 資料019 資料103 資料039 資料074 資料080	二つの大通りが交差する位置に設けられた現代的な広場である。市庁舎・裁判所に面することから現在の都市機能の中心を担っていると考えられる。広場中央部は植栽と噴水で飾られている。  担当者 金子 友美
1)+2)+3) 16,963.0㎡ 	港広場 通り広場 城門前広場	旧港 サン・ニコラ塔 ラ・シェーヌ(鎖)塔 商業施設 像 大時計門 露店	資料002 資料099 資料013 資料114 資料020 資料046 資料047 資料074 資料080 資料095	サン・ニコラ塔とラ・シェーヌ塔は、港や町を守るため建てられた防壁で、かつては夜間二つの塔を鎖でつなぎ、港湾を封鎖していたといわれている。そのラ・シェーヌ塔の足下から港に沿って延びる通りが公園風に整備された空間になっている。カフェやレストラン、露店が並ぶ賑やかな通りである。  担当者 金子 友美
29,979㎡ 	交通広場 駐車場 市場広場 教会(大聖堂)前広場 警察前広場	パスターミナル サン・ルイ大聖堂 警察 商業施設 陸軍施設 防衛大臣施設 露店	資料002 資料099 資料013 資料114 資料020 資料046 資料047 資料074 資料080 資料095	ラ・ロシエルは大西洋に面した古い港町で、11世紀に入り江を守る城塞が築かれたことに起源する。広場に面するサン・ルイ大聖堂は、宗教戦争時に破壊されたが、後に復元されたものである。広場はその面積の約半分が駐車場となっており、他方はメリーゴールランドが設けられ、果物や野菜が並ぶ市が開かれていた。  担当者 金子 友美
1,202.1㎡ 	市庁舎前広場 郵便局前広場	市庁舎 郵便局 商業施設 像	資料002 資料099 資料013 資料114 資料020 資料046 資料047 資料074 資料080 資料095	ラ・ロシエルの旧市街には、17・18世紀の雰囲気を残す数多くの建造物が並ぶ。それらの中でも市庁舎はフランボワイヤン・ゴシック様式の壁に囲まれ、内装はルネッサンス様式で仕上げられている優美な建築である。市庁舎前のこの広場は、多くの観光客で賑わっていた。  担当者 金子 友美



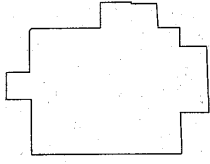
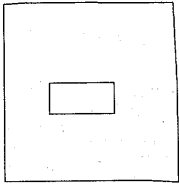
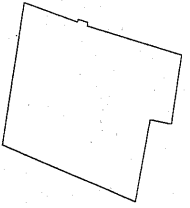

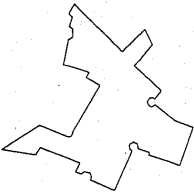
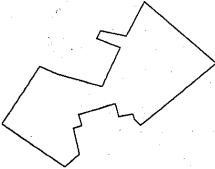
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-13	国 : FRANCE 都市: POITIERS 広場名称: PLACE CHARLES DE GAULLE	A 	
FRA-03-14	国 : FRANCE 都市: POITIERS 広場名称: PLACE DU MARÉCHAL LECLERC (ANCIENNEMENT PLACE D'ARMES)	B 	
FRA-03-15	国 : FRANCE 都市: NIORT 広場名称: 1) PLACE DES HALLES 2) PLACE DU DONJON	A 	
FRA-03-16	国 : FRANCE 都市: NIORT 広場名称: PLACE MARTIN-BASTARD	B 	
FRA-03-17	国 : FRANCE 都市: PÉRIGUEUX 広場名称: 1) PLACE DE L'HÔTEL-DE- VILLE 2) PLACE DU CODERC	A 	
FRA-03-18	国 : FRANCE 都市: PÉRIGUEUX 広場名称: 1) PLACE DAUMESNIL 2) PLACE DE LA CLAUTRE	B 	

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
10,844.7㎡ 	教会周囲広場 市場広場	ノートル・ダム・ラ・グランド教会 市場施設 商業施設	資料002 資料114 資料013 資料020 資料074 資料077 資料080 資料095 資料099	ポワチエはクラン川の湾曲部を見下ろす高台に拓かれた町であり、歴史的戦艦の舞台となってきた町である。ノートル・ダム・ラ・グランド教会は、1140年代様式のポワチエ・ロマネスク式教会である。広場はこの教会を内蔵する形で広がる。広場北側には市場施設の建物があり人々で賑わっていた。  担当者 金子 友美
9,005.9㎡ 	市庁舎前広場 交通広場	市庁舎 劇場 噴水 バスターミナル 商業施設	資料002 資料114 資料013 資料020 資料074 資料077 資料080 資料095 資料099	広場は市庁舎を中心にシンメトリーなデザインで整備されている。その中心軸線は、大通りを経てポワトゥー県庁舎へと延びている。広場の周囲はカフェや銀行が軒を連ね、町の中心部を構成している。  担当者 金子 友美
1)+2) 7,238.7㎡ 	市場前広場 博物館前広場 駐車場	市場施設 DONJON, ニオール博物館 (旧監獄) 商業施設	資料002 資料020 資料077	ニオールは、セーヴル川の川岸に位置する港町である。広場に面する市場施設は19世紀のものである。市場は今日でも年間を通して取引が行われている。一方、中世の城の天守閣を意味するDONJONは、ここニオールのものがフランスで2番目に大きなものである。12世紀の建造である。このDONJONの名の付いた広場は、市場施設のための駐車場となっている。  担当者 金子 友美
4,508.9㎡ 	市庁舎前広場 駐車場	市庁舎 ESPACE NIORTAIS 商業施設	資料002 資料020 資料077	ニオール市庁舎はネオ・ルネッサンス様式で、ちょうどバリ市庁舎を縮小した様な建物である。1897～1901年に建設された。その隣には2003年にオープンしたばかりのモダンな建物が並ぶ。広場を介して並んだほぼ1世紀違いの建物が印象的な空間である。  担当者 金子 友美
1,584.3㎡ 1,274.2㎡ 	市場広場 市庁舎前広場	商業施設 郵便局 市場施設 市庁舎 露店	資料002 資料074 資料007 資料077 資料008 資料099 資料020 資料103 資料025 資料026 資料054 資料064	ベリゴール地方の中心都市。トリュフ、フォアグラの産地。ロット川中流の蛇行部に位置する。13世紀頃ロット川の運河を利用した交易や造幣、両替を中心に商業都市として繁栄した。ロット県の県庁所在地として、小規模ながら商業、文化の要となっている。旧市街は狭い路地が入り組んでいる。調査時はCODERC広場ではちょうど市場が終わったところで、片づけの最中であった。  担当者 高木 亜紀子
1) 2,414.2㎡ 2) 2,497.1㎡ 	教会(大聖堂)周囲広場 交通広場 駐車場	サン・フロン大聖堂 商業施設	資料002 資料074 資料007 資料077 資料008 資料099 資料020 資料103 資料025 資料026 資料054 資料064	サン・フロン大聖堂は、当初は初期ロマネスク様式で建てられたが、現存するのは身廊奥にある小さな二つの円天井のみである。かつて、サンティアゴ・デ・コンポステラへの巡礼者たちが、サン・フロンの聖遺物を礼拝するためにこの聖堂に立ち寄った。現在の聖堂は、1852年に建築家アパディーによって再建され、ビザンチン様式風の作りになっている。この広場は、入口のある北側は車の往來の激しい交通広場、本来の入口であると思われる西側は駐車場となっている。  担当者 高木 亜紀子

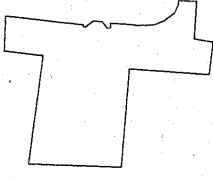
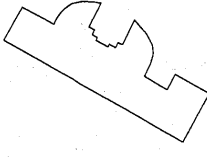
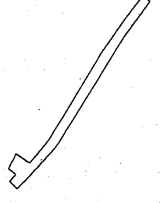

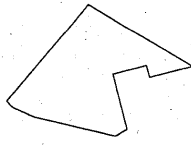
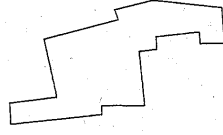
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-19	国 : FRANCE 都市: BORDEAUX 広場名称: PLACE DE LA COMÉDIE		
FRA-03-20	国 : FRANCE 都市: BORDEAUX 広場名称: 1) PLACE CAMILLE JULLIAN 2) PLACE SAINT-PIERRE 3) PLACE DU PARLEMENT- STE-CATHERINE (サント・カトリーヌ高 等法院広場, MARCHÉ DE LA LIBERTÉ)		
FRA-03-21	国 : FRANCE 都市: BORDEAUX 広場名称: PLACE PEY-BERLAND		
FRA-03-22	国 : FRANCE 都市: SARLAT 広場名称: 1) PLACE DE LA LIBERTÉ(自 由広場) 2) PLACE JACQUES BOISSARIE 3) PLACE LUCIEN DE MALEVILLE		
FRA-03-23	国 : FRANCE 都市: SARLAT 広場名称: PLACE DU PEYROU		
FRA-03-24	国 : FRANCE 都市: SARLAT 広場名称: 1) COUR DES FONTAINES 2) COUR DES CHANOINES		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
5,784.8㎡ 	劇場前広場	大劇場 商業施設	資料002 資料089 資料006 資料097 資料008 資料099 資料013 資料103 資料020 資料074 資料077 資料080	大劇場は18世紀建立のボルドーを代表する新古典時代の建築である。コリント様式の円柱が建物を囲んでいる。エントランスロビーの大階段はペリのオペラ・ガルニエのモデルになった。2003年夏現在、劇場前の広場は全面改修中であった。  担当者 金子 友美
1) 2,419.7㎡ 2) 2,361.1㎡ 3) 2,370.9㎡ 	憩いの広場 教会前広場	商業施設 記念碑 ST. PIERRE教会 泉	資料002 資料089 資料006 資料097 資料008 資料099 資料013 資料103 資料020 資料074 資料077 資料080	ボルドーの旧市街はガロンヌ川左岸に発達した。18世紀後半に地方総監により都市改造が行われ、古典様式の建物の整然とした町並みがつくられた。第二次世界大戦後都市圏が拡大し、中世以来の街路の残る市中心部では著しい人口の減少を招いた。この3つの広場はいずれも旧市街の中の小広場である。サント・カトリヌ高等法院広場は、周りの建物の配置によりルイ15世治下の都市計画の代表とされている。  担当者 金子 友美
23,017.2㎡ 	教会（大聖堂）横広場 市庁舎前広場	サン・タンドレ大聖堂 市庁舎 商業施設	資料002 資料089 資料006 資料097 資料008 資料099 資料013 資料103 資料020 資料074 資料077 資料080	聖堂の後陣を囲む壁は1066年に建設されたものでその後13～14世紀にかけて残りの部分が建造された。2003年夏現在、広場は全面改修中であった。  担当者 金子 友美
1)+2)+3) 2,245.9㎡ 	市庁舎前広場 市場広場 旧教会前広場	市庁舎 市場施設（旧サント・マリー教会） 商業施設 マルヴィル館 MAGNANATの館	資料008 資料080 資料016 資料118 資料025 資料119 資料026 資料120 資料038 資料121 資料056 資料122 資料064 資料074	ペリゴール南部の中心都市で、ひとつの邸に中世、ルネッサンス、古典様式といったような3時代の建築が混在する。フランスでも珍しい町並みで知られている。ペリゴール南部の中心地だけに名産のクルミ、フォアグラ製品などが手頃な値段で手に入る。サルラは市場の町として有名で、現在は水曜と土曜の午前中に市が立つ。月に一度には大規模な定期市が開かれ、周辺に住む人々で賑わう。広場の南西にある旧サント・マリー教会は、建築家ジャン・ヌーベルにより改築され、現在は市場施設となっており毎朝8:30から市が開かれる。  担当者 高木 亜紀子
593.9㎡ 	教会（大聖堂）横広場 劇場（旧司教座の館）前広場	サン・サセルド大聖堂 商業施設 ラ・ポエシの家 劇場（旧司教座の館） 公衆トイレ	資料008 資料080 資料016 資料118 資料025 資料119 資料026 資料120 資料038 資料121 資料056 資料122 資料064 資料074	旧市街は1964年に修復作業が開始され、「サルラ旧市街」の行まいが保護されることになった。19世紀に開設された「縦貫路TRAVERSE」の両側に古い住居が集まり、西側はより庶民的に、東側はより洗練されて、魅力的なまとまりを見せている。旧市街は道が狭く、駐車場も旧市街の外にしかないため、車の往来は少ない。広場に面するサン・サセルド大聖堂は、元々は12世紀に作られた教会である。その後15世紀終わりから17世紀にかけて建てられた。18世紀まで再建築されながら現在の姿となった。  担当者 高木 亜紀子
1) 505.3㎡ 2) 275.5㎡ 	劇場（旧司教座の館）前広場 礼拝堂前広場 憩いの広場	サン・サセルド大聖堂 劇場（旧司教座の館） 商業施設 SAINT BENOIT礼拝堂 ベニタン・ブルー礼拝堂	資料008 資料080 資料016 資料118 資料025 資料119 資料026 資料120 資料038 資料121 資料056 資料122 資料064 資料074	COUR DES FONTAINESは9世紀にサルラで最初の修道院ができた時に作られた広場である。広場には修道院で使われていた泉があり、そこからは今も水が湧き出ている。COUR DES CHANOINESにはロマネスク様式のSAINT BENOIT礼拝堂、ベニタン・ブルー礼拝堂が面している。12世紀に建てられた修道院の面影を残す建物である。  担当者 高木 亜紀子

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-25	国 : FRANCE 都市: MONPAZIER 広場名称: PLACE DES CORNIÈRES		
FRA-03-26	国 : FRANCE 都市: DOMME 広場名称: PLACE DE LA HALLE		
FRA-03-27	国 : FRANCE 都市: VILLEFRANCHE-DE-ROUERGUE 広場名称: 1) PLACE NOTRE-DAME 2) ARCADES DE L'HÔPITAL ST-MARTIAL 3) ARCADES DU CONSULAT 4) ARCADES ALPHONSE DE POITIERS 5) ARCADES REYNIÈS		
FRA-03-28	国 : FRANCE 都市: FIGEAC 広場名称: 1) PLACE CARNOT (PLACA DEL FROMENT) 2) RUE SEGUIER (CARRIERA DE LA FERRATARA) 3) PLACE CHAMPOLLION (PLACA DE LAS CASTANHAS)		
FRA-03-29	国 : FRANCE 都市: SALERS 広場名称: PLACE TYSSANDIER D'ESCOUS		
FRA-03-30	国 : FRANCE 都市: SALERS 広場名称: 1) PLACE DE L'ÉGLISE 2) PLACE GERAUD MAIGNE		

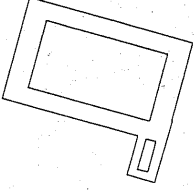
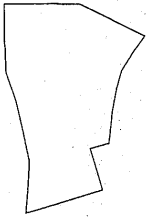
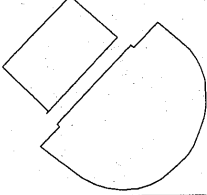
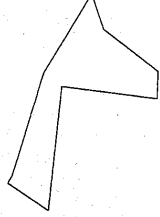
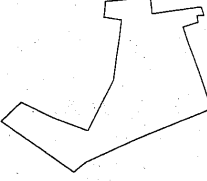

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
2,303.7㎡ 	市場広場	市場施設 商業施設 聖ドミニク教会 水場	資料002 資料094 資料013 資料118 資料021 資料025 資料026 資料050 資料064 資料065	モンパティエは英国王エドワード1世により、1280年代に建設された、「バスティード」と呼ばれる中世のニュータウンである。現存するバスティードの中ではよく保存されており、その典型的な形態をみる事ができる。町は、縦400m、横220mの長方形の土地に格子状の道路が通り、20のブロックに区切られている。街区の中央にあるこの広場は、1階に尖塔アーチのアーケードが連なる2階建ての建物に囲まれ、独特の景観を見せている。広場の中央には16世紀に建造された屋根と柱だけの木造の旧教物市場施設がある。市場施設には教物計量用の升が残されている。木曜に市が立つ。  担当者 高木 亜紀子
2,271.9㎡ 	市場広場 教会横広場 市庁舎前広場 駐車場	旧市場施設 商業施設 市庁舎（旧首長の家） 郵便局 聖母被昇天教会 美術館	資料002 資料008 資料021 資料025 資料026 資料065 資料077 資料080	ドムもモンパティエと同じく「バスティード」と呼ばれる中世のニュータウンである。白と黄土色の石で建てられた家並みが続く。町の輪郭は台地の地形にあわせていびつな形をしているが、町割りも格子状になっており、バスティードの特徴を示している。広場には16世紀の首長の家と、旧市場施設がある。首長の家は現在、市庁舎と観光案内所となっている。旧市場施設の1階は鍾乳洞への入口、2階は催事場として利用されていた。木曜の朝に市が立つ。  担当者 高木 亜紀子
1)+2)+3)+4)+5) 2,031.3㎡ 	教会前広場 駐車場 市場広場	聖母マリア教会 商業施設 像	資料002 資料008 資料013 資料065 資料080	1252年聖王ルイの兄弟アルフォンソ・ド・ポワチエがつくったバスティードである。かつてはロデズとカオールを結ぶローマ時代の街道の宿駅だった。旧市街はバスティードの特徴を示している。大粒の砂利で舗装された街路は直角に交わり、狭い通路が防火壁になっている。広場はアーケードのある建物に囲まれている。アーケードひとつひとつに名前がついている。広場内は駐車場になっており、車はたくさん止まっていたが、人の姿はあまり見られず閑散としていた。  担当者 高木 亜紀子
1)+2) 2,186.5㎡ 3) 1,004.4㎡ 	市場広場 駐車場	市場施設 CISTERONの館 商業施設 GRIFPONの館 MEDIÉVALEの館	資料002 資料021 資料041 資料074	12～14世紀の町並みで有名。ロゼッタストーンを解読したジャン・フランソワ・シャンポリオンの故郷でもある。中世の都市計画により、商業用の道路が整えられた。この広場はその時整備された道路の交差点に位置し、町の人々にとって、不可欠な市場広場となった。CHAMPOLLION広場では表市、CARNOT広場では教物市が開かれていた。現在、CHAMPOLLION広場は駐車場になっている。CARNOT広場には常設の市場施設があるが、調査時は市が開かれていなかったせいか、広場にはカフェのテーブルが並べられていた。市場施設の周囲には、駐車スペースが設けられている。  担当者 高木 亜紀子
1,617.9㎡ 	市庁舎前広場	市庁舎 旧代官裁判所 商業施設 噴水 TYSSANDIER D' ESCOUSの像 RONADEの館 FLOGEACの館 BARGUESの館 LIZETの館 LACOMBEの館 鐘楼	資料002 資料008 資料016 資料057 資料077 資料080	極めて古い宿場町兼市場町。標高951mで、プレーネズ（熔岩台地）上のカンタル山地の広大な牧草地にある。広場には15、16世紀の家々が面する。石材の切り出し方と積み方は所有者の富の表れであり、持送りの上の小円塔、面取りした小塔、円錐形の屋根は社会的地位を物語る。町の中心に位置するこの広場にはカフェ等が並び、たくさんの観光客で賑わっていた。  担当者 高木 亜紀子
1)+2) 1,041.2㎡ 	教会前広場	SAINT MATHIEU教会 商業施設 噴水	資料002 資料008 資料016 資料057 資料077 資料080	TYSSANDIER D' ESCOUS 広場の北側にある鐘楼の下をくぐると、土産物屋やカフェの連なる道が北東へ延びている。この通りの先にSAINT MATHIEU 教会と広場がある。教会には1495年に作られた多彩色の「キリストの埋葬」、5つの精巧なオービュソンのタペストリーがある。広場にも土産物屋などが面しており教会やそれらの店を訪れる観光客の姿が見られた。  担当者 高木 亜紀子

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-31	国 : FRANCE 都市 : CLERMONT-FERRAND 広場名称: 1) PLACE DE LA VICTOIRE 2) PLACE EDMOND LEMAIGRE		
FRA-03-32	国 : FRANCE 都市 : RIOM 広場名称: PLACE DE LA FÉDÉRATION	A 	
FRA-03-33	国 : FRANCE 都市 : RIOM 広場名称: 1) RUE DE L'HORLOGE 2) RUE DU COMMERCE 3) COIN DES TAULES 4) PLACE DU 8 MAI	B 	
FRA-03-34	国 : FRANCE 都市 : MOULINS 広場名称: 1) PLACE DU MARCHÉ AUX VACHES (PLACE DE L'HÔTEL DE VILLE) 2) RUE DU PUY DES QUARTES A LA TOUR DE LORLOGE (RUE DE L'HORLOGE)	A 	
FRA-03-35	国 : FRANCE 都市 : MOULINS 広場名称: RUE DU MARCHÉ AU BLED (PLACE DES VOSGES)	B 	
FRA-03-36	国 : FRANCE 都市 : FLAVIGNY-SUR-OZERAIN 広場名称: PLACE DE L'ÉGLISE		

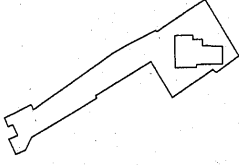
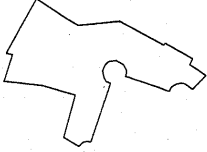


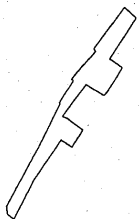
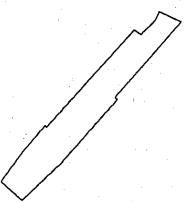
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
1)+2) 7,173.1㎡ 	教会(大聖堂)横広場 記念広場	聖母被昇天大聖堂 商業施設 URBAIN 2世の像、噴水	資料002 資料008 資料016 資料074 資料077 資料080 資料099 資料123	近くの火山から採ってきた石で教会や家を建てたため、黒ずんだ町という印象を受ける。ミシュラン社の本拠地でもある。広場に面する聖母被昇天大聖堂は、1245年から約100年かけて建てられ、12世紀ロマネスク様式と13世紀ゴシック様式の両方の特徴を兼ね備えている。外陣と鐘楼の尖塔は19世紀になって建てられた。大聖堂の西から延びる、16~18世紀の建物が残るグラ通りを進むとビュール広場に着く。常設の市場施設があり、クレルモン・フェランの主要な市場で、土曜に特に賑やかな市が開かれる。  担当者 高木 亜紀子
6,616.3㎡ 	市場広場 駐車場	市場施設 商業施設 泉 像 SAINT AMABLE教会 BALLAINVILLIERSの泉 公衆トイレ	資料002 資料008 資料016 資料055 資料077 資料080	広大なリマージュ平野の中心都市。14世紀の町並みは周辺の火山群の黒い火山岩で建てられた。町に残る16~18世紀の邸宅は、法服貴族や司法官が築いたものである。この半円形の広場は1793年に作られ、この時代においては斬新で珍しいものであった。広場には常設の市場施設があり、土曜の朝に市が開かれる。  担当者 高木 亜紀子
1)+2)+3)+4) 4,885.7㎡ 	通り広場	商業施設 ライオンの泉 泉(2) ノートル・ダム・デュ・マルチュレ教会 時計台 ARNOUXの館 GUYMONEAUの館 SOUBRANYの館 ROCHEVERTの館	資料002 資料008 資料016 資料055 資料077 資料080	コメルス通りでは、火山岩製の現代彫刻と、同素材で制作された昔の作品の対照が見られる。時計台はかつては鐘楼だったが、ルネッサンス以降時計台になっている。上部に18世紀の小さなドーム屋根の聖堂をいただく。ノートル・ダム・デュ・マルチュレ教会には、小鳥を手にした子どもを抱く聖母マリアの像が収められている。町の中心を南北に貫くこの通りには、歩道が広くとられているが、いたる所に駐車スペースが設けられており、その部分は歩道が狭くなっている。  担当者 高木 亜紀子
1)+2) 3,301.4㎡ 	市庁舎前広場 駐車場	市庁舎 時計塔 商業施設 郵便局	資料002 資料008 資料016 資料077 資料080 資料103	広場にある時計塔は、「JACQUEMART」と呼ばれこれは「時打ち人形」を意味する。この時計塔はかつては町の平和の象徴であった。1655年に焼失し、さらに、1946年にも焼失してしまったが、翌年の1947年に寄付金によって再建された。今日、時打ち人形は15分毎に町の人々に時を告げている。広場には市庁舎も面しており、町の中心となっている。この広場はかつてはGRANT PLACEと呼ばれていた。  担当者 高木 亜紀子
1,558.4㎡ 	旧市場広場 教会(大聖堂)横広場 交通広場	旧市場施設 商業施設 聖母マリア大聖堂	資料002 資料008 資料016 資料077 資料080 資料103	パリの南南東 292km、フランス中央部ブルボネ地方の中心都市。11世紀末に、中央山地北東のオーデュノワ地方へ進出し、アリエ川の通行を確保しようとしたブルボン家の諸侯によって建設された。ブルボン公ゆかりの城館を中心に発達した城下町である。ルネッサンス初期に栄えた町。聖母マリア大聖堂は15・16世紀のステンドグラスで有名。広場の一角には、旧市場施設が部分的に残されている。かつてはこの場所ですべてが開かれていたが、現在は車の通行も多く、交通広場となってしまっている。  担当者 高木 亜紀子
662.6㎡ 	教会前広場 市庁舎前広場	SAINT GENES教会 市庁舎	資料002 資料017 資料074	ディジョンの北西約40km、小高い丘の上にある小さな村。映画「ショコラ」のロケ地でもある。中世には大修道院があり、周辺の村に支配的影響力があつた。狭い路地に面する古い邸宅や要塞化された城門や城壁は過去の栄華を物語る。今日、町にそのような過去の面影はなく、教会と市庁舎のあるこの広場も町の中心ではあるが、閑散としていた。広場も町中もあまり人気がなく、静かな町であった。  担当者 高木 亜紀子

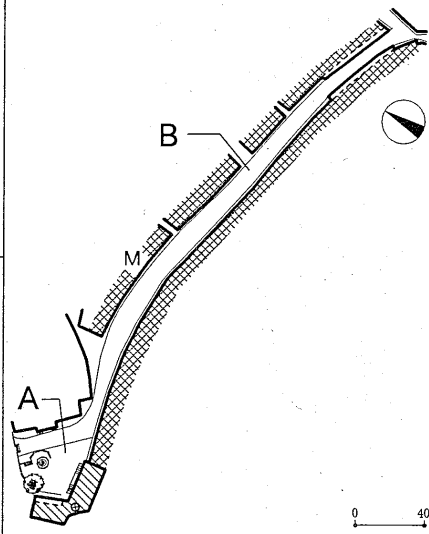
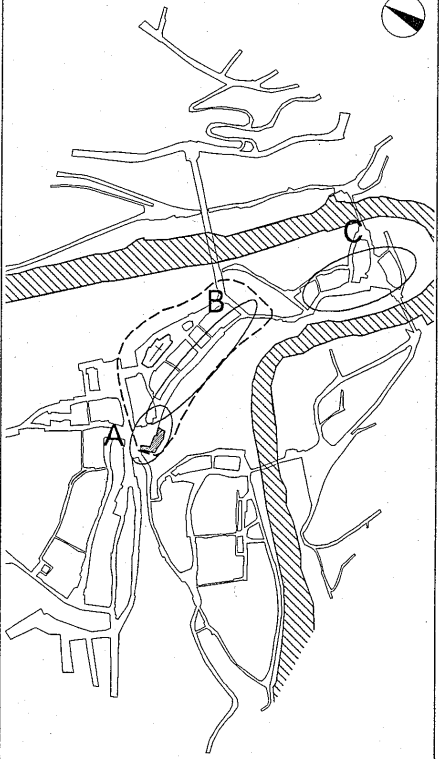
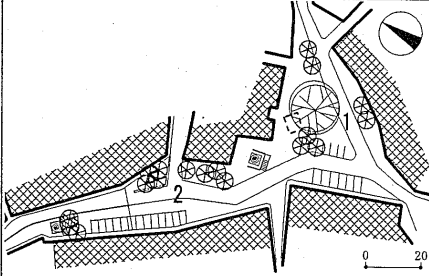
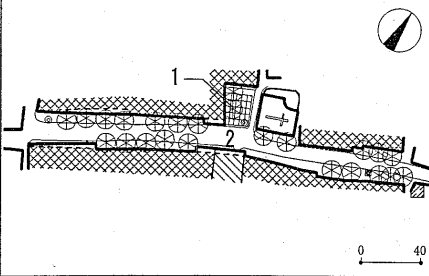
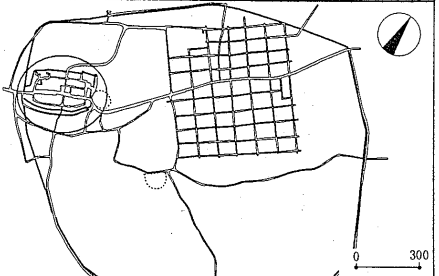
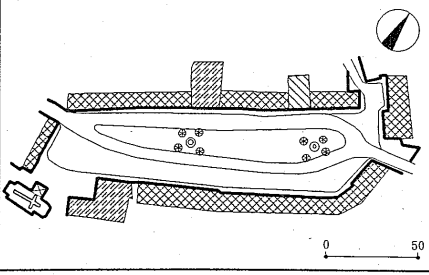
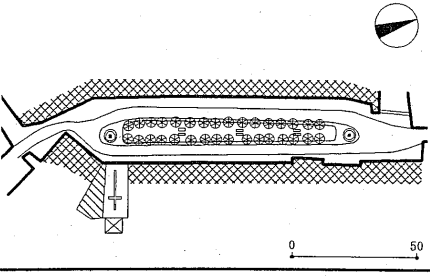
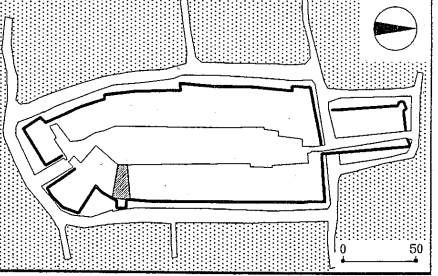





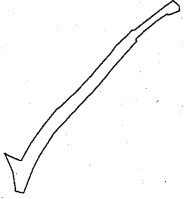



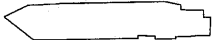
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
FRA-03-37	国 : FRANCE 都市: DIJON 広場名称: 1) PLACE DES HALLES 2) RUE QUENTIN 3) RUE CLAUDE RAMEY 4) RUE ODEBERT 5) RUE BANNELIER		
FRA-03-38	国 : FRANCE 都市: DIJON 広場名称: PLACE FRANÇOIS RUDE		
FRA-03-39	国 : FRANCE 都市: DIJON 広場名称: 1) PLACE DE LA LIBERATION (解放広場) 2) COUR D'HONNEUR		
FRA-03-40	国 : FRANCE 都市: BEAUNE 広場名称: 1) PLACE DE LA HALLE 2) RUE DE L'HÔTEL-DIEU		
FRA-03-41	国 : FRANCE 都市: BEAUNE 広場名称: 1) PLACE MONGE 2) PLACE AU BEURRE		
FRA-03-42	国 : FRANCE 都市: BESANÇON 広場名称: PLACE DU 8 SEPTEMBRE		

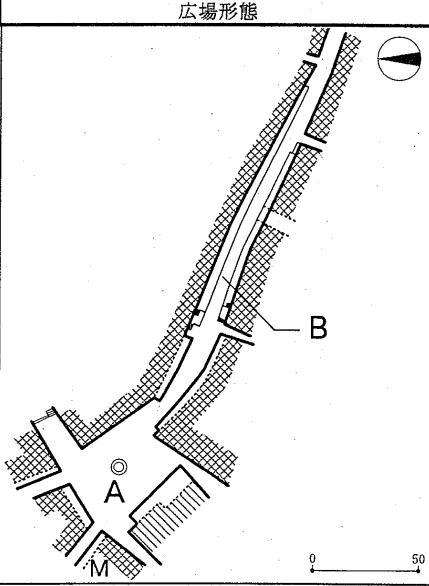
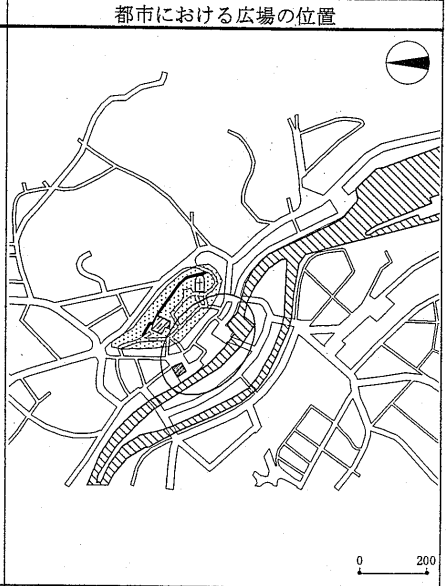
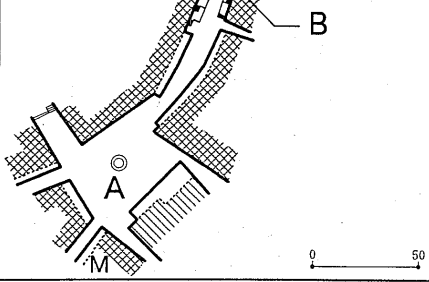
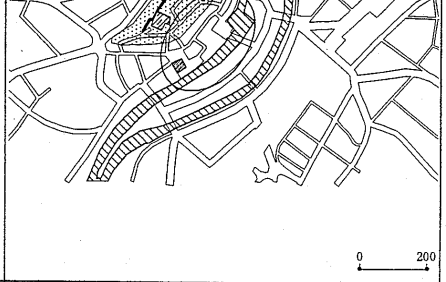
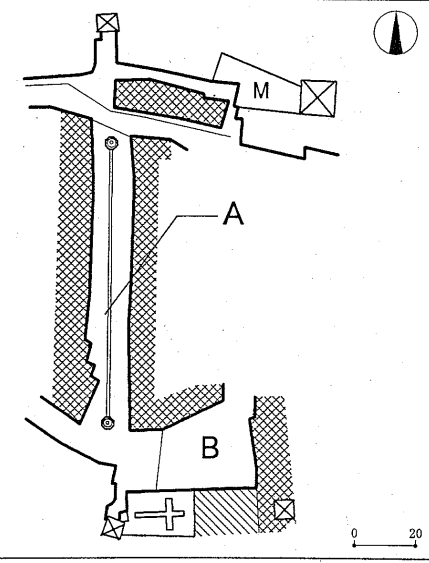
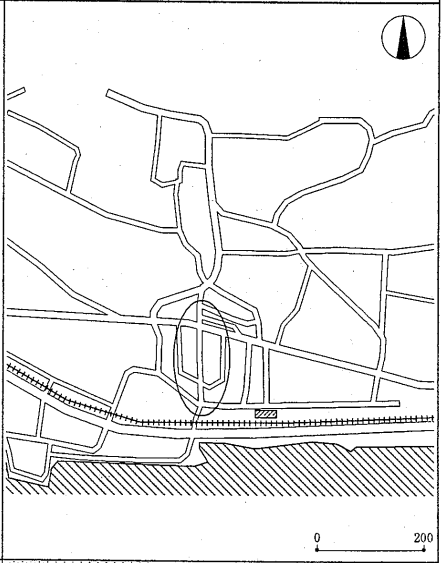
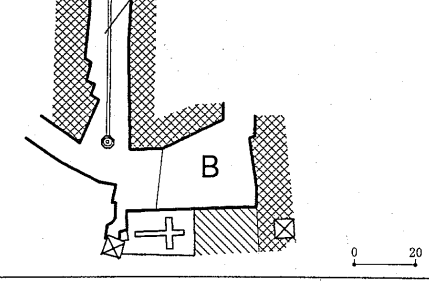
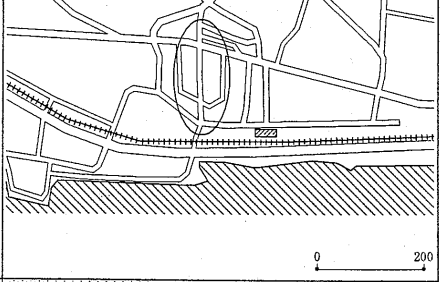
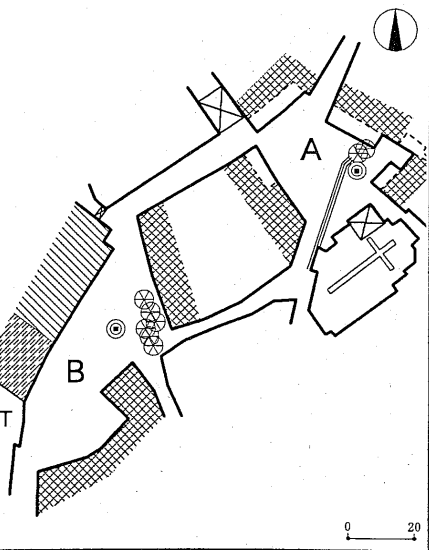
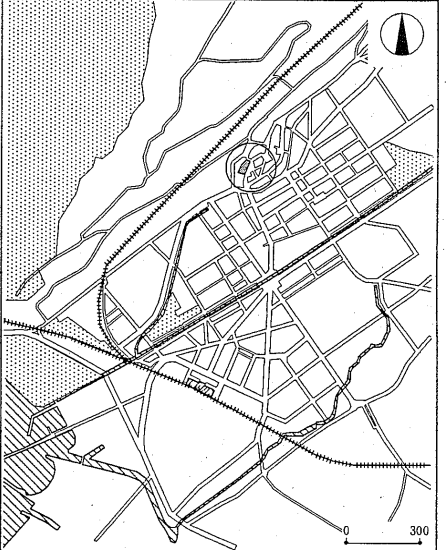
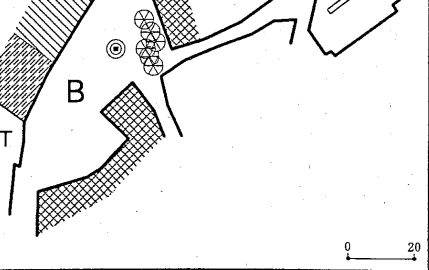
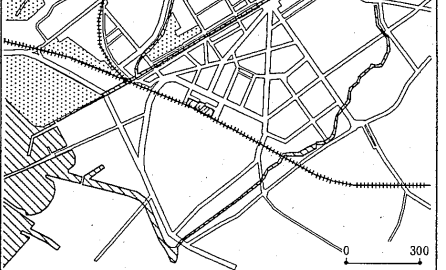
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
1)+2)+3)+4)+5) 5,103.5㎡ 	市場広場	市場施設 商業施設 露店	資料002 資料080 資料007 資料088 資料008 資料095 資料013 資料096 資料017 資料097 資料040 資料099 資料074 資料103 資料077	ディジョンは中世末期、ブルゴーニュ公国の首都として膨大な富と爛熟した文化を背景に栄えた。美食美酒の郷で、エスカルゴ、ブルゴーニュ・ワイン、マスタードの本場である。広場中央にある市場施設は鉄棒とガラスの建物で、ギュスターヴ・エッフェルのデザイン。19世紀中頃建てられた。火、木、金曜の7:00~13:00、土曜の7:00~18:00に市が開かれる。調査時にも市が開かれており、市場施設の周囲にも露店が立ち並び、たくさんの買い物客の姿が見られた。  担当者 高木 亜紀子
2,116.7㎡ 	市場広場	パッカスの像、噴水 商業施設 露店	資料002 資料080 資料007 資料088 資料008 資料095 資料013 資料096 資料017 資料097 資料040 資料099 資料074 資料103 資料077	ディジョン出身の彫刻家、フランソワ・リュードにちなんだ広場。15世紀の建物に囲まれている。中央にある噴水は、リュードによる、葡萄を足で踏む酒神パッカスの像である。PLACE DES HALLESからの市が続いており、メリーゴールランドや露店が並んでいた。  担当者 高木 亜紀子
1) 4,975.8㎡ 2) 1,893.2㎡ 	市庁舎、美術館（旧宮殿）前広場 駐車場	市庁舎、美術館（旧ブルゴーニュ大公宮殿） 商業施設 郵便局 バス停留所	資料002 資料080 資料007 資料088 資料008 資料095 資料013 資料096 資料017 資料097 資料040 資料099 資料074 資料103 資料077	旧宮殿は、14~15世紀、ディジョンがブルゴーニュ独立公国の首都だった頃の面影をわずかに残すが、大部分は17世紀に大規模な増改築を施され、会議場となった。現在は西部は市庁舎、東部は美術館になっている。広場は17世紀にマンサールによって造られた。半円形の解放広場は、周囲を商業施設に囲まれている。旧宮殿と解放広場の間には町の中心の大通りが通っているため、車の往来が激しい。  担当者 高木 亜紀子
1)+2) 3,040.6㎡ 	市場広場 市場前広場 博物館（旧施療院）前広場	市場施設 博物館（旧施療院） 商業施設	資料002 資料096 資料008 資料099 資料017 資料103 資料030 資料074 資料077 資料080 資料094	広場の西側に面する施療院、オテル・デュー（神の館）は1451年から1971年まで病院として役目を果たしてきた。現在は博物館として公開されており、中庭を取り囲む形で各部屋が配置されている。機軸の施されたカラフルな屋根が独特である。この中で11月の第3日曜日にワインの祭り市が開催される。広場と観光局が入っている市場では毎水曜と土曜の朝に市が立つ。  担当者 鶴田 佳子
1)+2) 3,036.3㎡ 	記念広場 憩いの広場	鐘楼 GASPARD MONGEの銅像 商業施設	資料002 資料096 資料008 資料099 資料017 資料103 資料030 資料074 資料077 資料080 資料094	ワインと芸術の町として有名で、ブルゴーニュ大公家がディジョンに移る前に暮らした地である。1368年以降、要塞化され今も町を取り囲む城壁や城塞、塔が残っている。町の周囲にはぶどう畑が広がる。広場の中央に GASPARD MONGE (1746~1818)の銅像が立つ。また北西には14世紀の鐘楼がある。歩道沿いは駐車スペースになっている。  担当者 鶴田 佳子
2,399.1㎡ 	市庁舎前広場 教会前広場	市庁舎 SAINT PIERRE教会 商業施設 バス停留所 郵便局 噴水、泉 仮設メリーゴールランド	資料002 資料103 資料008 資料013 資料023 資料074 資料077 資料080 資料099	17世紀フランシュ・コンテ地方の首都となる。ジュラ山脈の麓、湾曲するドゥー川に囲まれた特異な地形を有する。ガリア・ローマ時代に町は誕生しており、旧市街には2世紀の凱旋門も残っている。旧市街の幹線となる大通りは、ローマ時代の街道だったものであり、広場はその中程に位置している。市庁舎の裏手南側に裁判所がある。広場の北東に位置するSAINT PIERRE教会は11世紀に再建されたもので教会の前にはメリーゴールランドが置かれ、周辺のオープンカフェとあわせて賑わいをみせていた。  担当者 鶴田 佳子

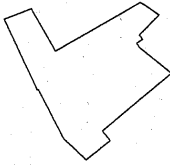
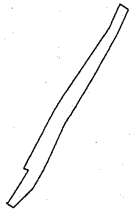
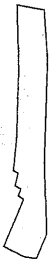
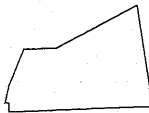
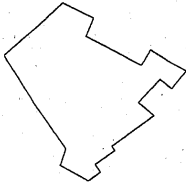

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-01	国 : SWITZERLAND 都市: DELÉMONT 広場名称: RUE DU 23-JUIN (6月23日通 り)		
SUI-03-02	国 : SWITZERLAND 都市: YVERDON-LES-BAINS 広場名称: 1) PLACE PESTALOZZI 2) RUE DU LAC		
SUI-03-03	国 : SWITZERLAND 都市: LAUSANNE 広場名称: PLACE DE LA PALUD		
SUI-03-04	国 : SWITZERLAND 都市: GRUYÈRES 広場名称: RUE DU BOURG		
SUI-03-05	国 : SWITZERLAND 都市: ROMONT 広場名称: 1) RUE DU CHÂTEAU 2) RUE DE L'ÉGLISE	A 	
SUI-03-06	国 : SWITZERLAND 都市: ROMONT 広場名称: GRAND-RUE	B 	

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
6,976.0㎡ 	市庁舎前広場 城前広場 城門前広場 憩いの広場	市庁舎 城 城門 噴水(3) MUSÉE JURASSIEN D'ART ET D'HISTOIRE (旧EVÊCHÉ DE BÂLE) 商業施設	資料010 資料011 資料079 資料115	1792年に至るまでバーゼルの司教公の夏の滞在地であった町である。旧市街は高台に位置し、そのメインストリートがこの6月23日通りである。市庁舎は1745年に建造されたもので上部は1868年に増築されている。通りの南西に位置する城は18世紀初頭に建造されたものであり、調査時には中庭を野外劇場として使用していた。通りの南側、1本奥に18世紀建造のPAROISSIALE SAINT-MARCEL教会がある。  担当者 鶴田 佳子
1)+2) 3,915.4㎡ 	市庁舎前広場 博物館前広場 城前広場 教会前広場	博物館、ペスタロッテ文書館(城) 市庁舎 ペスタロッテの銅像 教会 仮設舞台 露店 商業施設	資料010 資料011 資料072 資料079 資料092	ヌーシャテル湖の南側に位置する。温泉地として有名な町である。13世紀建造の城が旧市街の広場に面して建つ。1259年にサヴォワのピエール2世によって建てられた城塞で、4つの円塔を備える。城内は博物館として公開されている。また近代教育の始祖ペスタロッテの文書館もあり、彼の銅像は広場で子供達に囲まれた形で立つ。この広場とここから西へ延びる3本の通りが歩行者専用空間になっている。調査時には城前に仮設舞台が設置され、周辺はテーブルと椅子、露店が並ぶ賑やかな祭りが催されていた。  担当者 鶴田 佳子
2,160.9㎡ 	市庁舎前広場 市場広場	市庁舎 商業施設 正義の女神の噴水	資料010 資料011 資料072 資料079 資料098 資料103	6世紀末に司教座がおかれ、中世には政治、経済ともに発展をとり、現在は商業、学問、文化活動の盛んな国際色豊かな都市である。レマン湖を臨み、起伏豊かな斜面地にあり、坂が多い。旧市街の中心の高台に位置するのがこのパリュ広場である。ルネッサンス様式の市庁舎には仕掛け時計がついている。水曜と土曜の朝に野菜市が立つ。この広場から木製の屋根付き階段を登っていくと大聖堂に辿り着く。  担当者 鶴田 佳子
3,176.2㎡ 	旧市場広場 憩いの広場 通り広場	商業施設 噴水 HR GIGER博物館 行政施設	資料010 資料117 資料042 資料072 資料079 資料091 資料092 資料100 資料116	丘の上の城塞都市である。サリーヌ川の谷全域を支配していた代々のグリュイエール伯の居城が残る。城の大部分は15世紀末の建築。この町のメインストリートが200mほどの通り広場となっている。広場に敷き詰められた石畳は町の修復プロジェクトとして近年施されたものである。石造の穀物計量用の升が残っており、かつて市が立っていたことを物語っている。現在では定期市は立たないが、グリュイエール・チーズの産地として有名なため観光客が多く訪れる。そのため広場にはホテル、レストラン、土産物屋が並ぶ。  担当者 鶴田 佳子
1)+2) 5,753.2㎡ 	通り広場 市庁舎前広場 教会横広場	市庁舎 スタンドグラス博物館(旧城) 劇場 塔 学校 礼拝堂 郵便局 泉 中学校、ノートル・ダム・ド・ラソンプションの参事会 聖堂 商業施設	資料011 資料079 資料128	城壁に囲まれた小高い丘の上にある小さな町で、小シャルルマーニュと呼ばれたサウ・オワ伯、ピエール2世によって13世紀に建設された。この通り広場に面して、城とノートル・ダム・ド・ラソンプションの参事会聖堂がある。参事会聖堂は13世紀に建てられ15世紀に修復されたゴシック様式である。広場は交通機能を担う空間でもあり、駐車スペースとしても利用されている。  担当者 横濱 久美子
2,955.1㎡ 	通り広場 駐車場	塔 教会 商業施設 水場	資料011 資料079 資料128	町は観光地化せず昔のままの生活感が残り、今なお残る当時の城壁の一部に囲まれている。広場の両側には色鮮やかな建物が連なり、RUE DU CHÂTEAUと同様交通機能を担う空間でもあり、駐車場としても使われている。広場の端には水場もある。  担当者 横濱 久美子

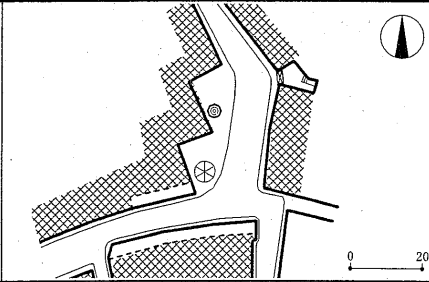
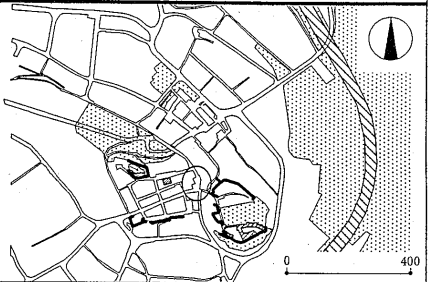
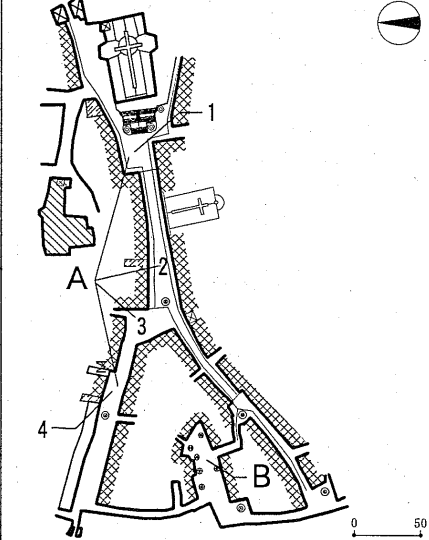
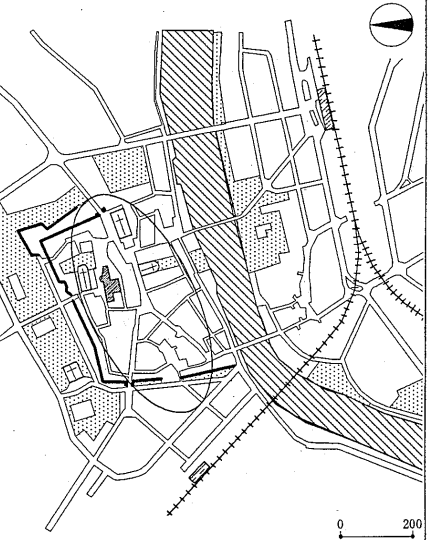
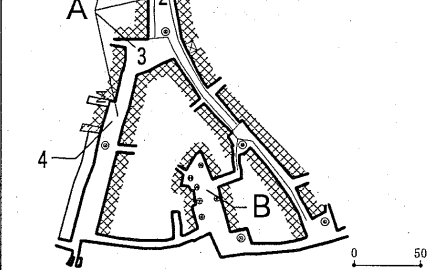
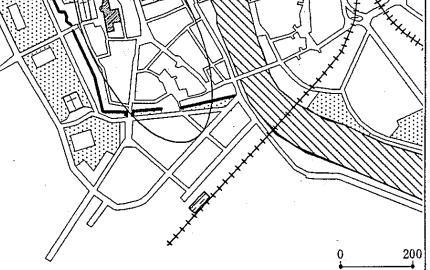
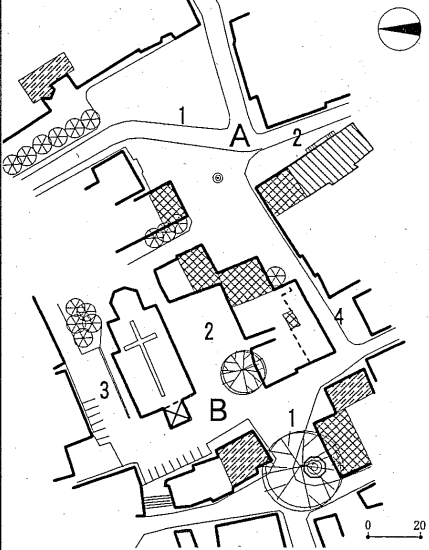
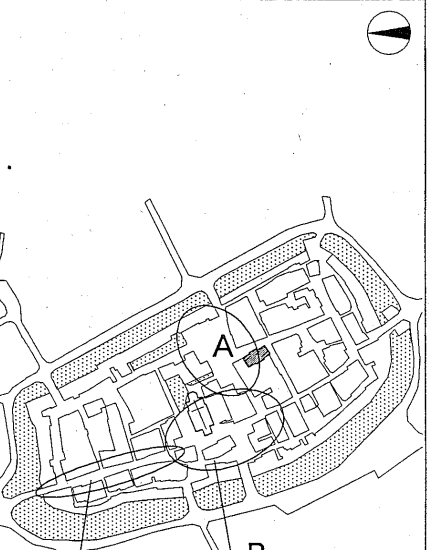
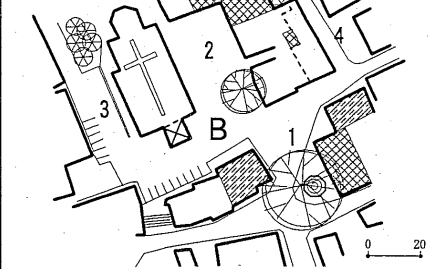
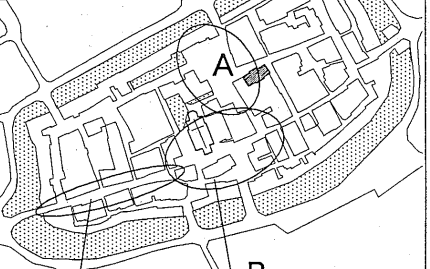
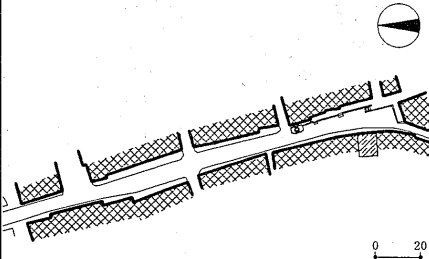
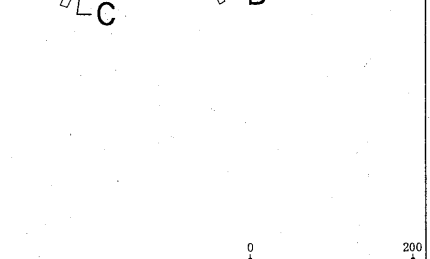
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-07	国 : SWITZERLAND 都市 : FRIBOURG 広場名称: PLACE DE L' HÔTEL DE VILLE (RATHAUSPLATZ)		
SUI-03-08	国 : SWITZERLAND 都市 : FRIBOURG 広場名称: GRAND-RUE (REICHENGASSE)		
SUI-03-09	国 : SWITZERLAND 都市 : FRIBOURG 広場名称: 1) PLACE DU PETIT-SAINT-JEAN (KLEIN-SANKT-JOHAN-PLATZ) 2) RUE DE LA SAMARITAINE		
SUI-03-10	国 : SWITZERLAND 都市 : AVENCHES 広場名称: 1) PLACE DE L' ÉGLISE 2) RUE CENTRALE		
SUI-03-11	国 : SWITZERLAND 都市 : AARBERG 広場名称: STADTPLATZ		
SUI-03-12	国 : SWITZERLAND 都市 : LE LANDERON 広場名称: CROIX DU MARCHÉ		

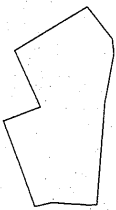
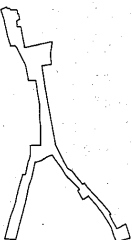
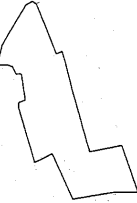
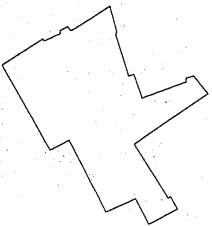
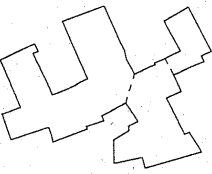

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
1,695.9㎡ 	市庁舎前広場 市場広場	市庁舎 泉、像 商業施設	資料001 資料125 資料010 資料011 資料036 資料037 資料072 資料079 資料103	1157年ツェーリングン家によって、サリーヌ川岸に建設された都市。旧市街の古さと広さはヨーロッパ随一。市庁舎は、16世紀初頭の美しい建築で、フリプールの象徴でもあり、崖の上に建っている。覆い付きの17世紀の二重階段、小尖塔で頂を装飾した時計打ち人形のペフロワ（塔）、褐色の大きな瓦屋根をもつ。市庁舎広場にある菩提樹はスイス軍がマルテンでシャルル豪胆公を破った、1476年6月22日に植えられたと伝えられる。土曜日に GRAND-RUE と共に市場が立ち、買い物客で賑わう。  担当者 横濱 久美子
3,845.2㎡ 	市場広場 通り広場 駐車場	商業施設 美術館	資料001 資料125 資料010 資料011 資料036 資料037 資料072 資料079 資料103	この広場周辺には、ゴシック様式とバロック様式のファサードをもつ建物が今も残り趣きがある。PLACE DE L'HOTEL DE VILLE と同様土曜には市が立ちたくさんの人で賑わう。通常は両脇に車が止められており駐車場としても利用されている。訪れた時は、通りは工事中であった。  担当者 横濱 久美子
1)+2) 3,916.8㎡ 	憩いの広場 通り広場 駐車場	泉、像(2) 商業施設	資料001 資料125 資料010 資料011 資料036 資料037 資料072 資料079 資料103	この町はドイツ語・フランス語圏の境目の町で、民族的にも境界である。この広場の辺りは、ドイツ語圏であり、色鮮やかな噴水彫刻や、家の構造もドイツらしさが感じられる。テーブルや椅子が並べられ生活感があり、駐車場にもなっている。  担当者 横濱 久美子
1)+2) 6,125.3㎡ 	教会前広場 市庁舎前広場 通り広場 憩いの広場 イベント広場	MARIE-MADELEINE教会 市庁舎 水場 商業施設 噴水(2)	資料001 資料011 資料079 資料098	アヴァンシュはローマ時代の都市アヴェンティクムの所在地にある都市である。当時は高さ7m、一周約6kmの城壁によって守られていた。そのうち東塔が現存する。円形競技場の遺跡では今でも野外劇やコンサートが開かれる。東塔と円形競技場の間の麦畑の下には、今もローマ時代の町が埋まっている。現在は中世の町並が残る。MARIE-MADELEINE 教会は、11世紀までは礼拝堂として使われ、町のランドマークになっている。PLACE DE L'EGLISE はテーブルや椅子が並び、イベントスペースとしても使われ、市民の憩いの場である。RUE CENTRALEの1階は、アーケードがあり市庁舎や商業施設が並ぶ。駐車スペースでもある。  担当者 横濱 久美子
8,495.7㎡ 	市庁舎前広場 市場広場 憩いの広場 駐車場 駐輪場	教会 商業施設 市庁舎 行政機関、警察署 噴水(2) 地方議会	資料001	広場を囲む色鮮やかなファサードの建物が印象的な町である。広場は通常は、憩いの場として市民の生活の中心であり、駐車場・駐輪場として交通機能を担っている。年に何度かアンティークを中心とした市場も大々的に開かれ、この時はかりは多くの人で賑わう。また、町に入る時に渡る屋根付きの木造橋が特徴的である。  担当者 横濱 久美子
3,394.5㎡ 	市庁舎前広場 市場広場 憩いの広場 教会前広場 博物館前広場	市庁舎、教会、博物館 塔 VAILLANTの像、泉 商業施設 SAINT-AURICEの像、泉	資料126	広場の中央部には2列の並木があり、その間にテーブルや椅子が配置され市民の憩いの空間となっている。並木の両端には VAILLANTの泉、SAINT-AURICEの泉がある。建物はカラフルな色で装飾され、家々の窓には花が飾られている。教会と同じ施設内に市庁舎と博物館が併設されている。  担当者 横濱 久美子

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-13	国 : SWITZERLAND 都市: THUN 広場名称: RATHAUSPLATZ		
SUI-03-14	国 : SWITZERLAND 都市: THUN 広場名称: OBERE HAUPTGASSE		
SUI-03-15	国 : SWITZERLAND 都市: LA NEUVEVILLE 広場名称: RUE DU MARCHÉ		
SUI-03-16	国 : SWITZERLAND 都市: LA NEUVEVILLE 広場名称: PLACE DE LA LIBERTÉ		
SUI-03-17	国 : SWITZERLAND 都市: BIEL 広場名称: RING		
SUI-03-18	国 : SWITZERLAND 都市: BIEL 広場名称: BURGGASSE (RUE DU BOURG)		

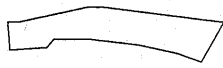
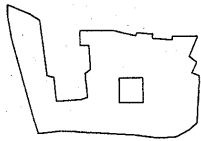
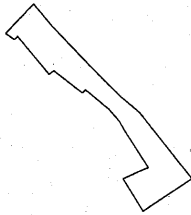
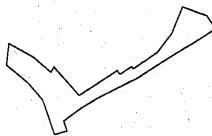
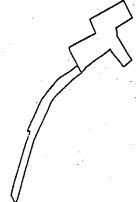

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
2,246.4㎡ 	市庁舎前広場	市庁舎 商業施設 泉 アートギャラリー	資料001 資料010 資料011 資料072 資料079 資料103 資料127	この町は、トゥーン湖から流れ出すアーレ川の河口に位置し、白銀の山々を望む湖畔のリゾート地である。その歴史はツェーリングン家の支配から、1191年にキープルク家の手に移るなかでシュロスベルクのみもとに領域が広がり発展した。その後1323年ベルンの有権者の管理下におかれ、1831年カントン・ベルンの一自治体となった。広場はアーケードの付いた建物に囲まれ、花に飾られた泉が水音をたてている。市庁舎は16世紀初頭に建てられた。  担当者 横濱 久美子
2,243.5㎡ 	商業広場 通り広場 駐車場	商業施設	資料001 資料010 資料011 資料072 資料079 資料103 資料127	通りに面する2階建ての建物は長屋のように隙間なく建てられていて、花で飾られた2階のテラスが歩道にあたる構造となっている。テラスの下の1階、アーケード部分は店舗となっている。通りにはみ出すほど大きな庇も特徴的である。2階の歩道にまでパラソルを広げたレストランやギフトショップが多い。トゥーンはこの辺りの地域の中で商業の中心地であり、特にこの通りは歴史ある商業空間である。  担当者 横濱 久美子
1,035.5㎡ 	憩いの広場 旧市場広場 通り広場	噴水、パナレット騎士の像 (2) 商業施設	資料001 資料011 資料044 資料079	町はビール湖に面し、ザンクトペーター島に向かい合っている。観光的好条件に加えて、ワインと精密機械産業が盛んな町である。中央広場のような性格をもつこの通りはパナレット騎士像の立つルネッサンス様式の噴水ともうひとつの噴水の間に水が流れているのが特徴的である。オープンカフェがあり魅力にあふれた通りである。通りの両端を守る古い塔(赤の塔と湖畔の塔)は要塞の名残をとどめる5つの塔のうちの二つである。以前は、この通りにも市が開かれていた。  担当者 横濱 久美子
1,535.7㎡ 	教会前広場 市場広場 イベント広場 市庁舎前広場	教会 湖畔の塔 WYSSの塔 商業施設 仮設舞台 市庁舎	資料001 資料011 資料044 資料079	湖畔の塔を入れて右側にある広場である。この広場は毎週水曜日の朝、主に食品や衣料品を中心とした市が立つ。仮設舞台を設置してイベント空間としても使われている。また、9月の第2週末にはこの広場を中心として旧市街全域でワイン祭りが開かれる。現在の市庁舎は教会の横にあるが、旧市庁舎はこの広場の北側、HOTEL DE VILLE通りに位置し、現在は歴史博物館となっている。歴史博物館にはCARREE塔も付属している。  担当者 横濱 久美子
1,093.5㎡ 	市場広場 教会横広場 憩いの広場	聖プロノ教会 パナレット騎士の像、噴水 商業施設	資料010 資料072 資料079 資料103 資料107 資料124	この広場はバーゼルの司教領だった11世紀からフランス革命までの間、町の中心地だった。裁判もここで行われていた。被告は、半円状に並ぶ座席についた評議員の前に出頭し、これにちなみ広場はリンク(輪)と名付けられた。中央に1546年に建てられたパナレット騎士像の立つ噴水がある。広場を囲む家々はアーケードと小塔を備え、精巧な鉄細工の看板で飾られ、傍らに聖プロノ教会のどっしりとした塔がそびえる。旧市街全体で毎週土曜日の朝、市場が立ち賑わいをみせる。  担当者 横濱 久美子
1,817.3㎡ 	市場広場 市庁舎前広場 憩いの広場	市庁舎 県庁舎 劇場 商業施設 正義の女神の像、噴水	資料010 資料072 資料079 資料103 資料107 資料124	スイス西南部、ジュラ山脈の最後の支脈のみもとのビール湖南岸に位置。フランス語圏とドイツ語圏の境にあり、この町の3分の2がドイツ系スイス人である。13世紀初頭にバーゼル司教によって建設されたが、ベルンと同盟して自治を享受、維持し続けた。しかし、1815年ウィーン会議の際に合併され、現在はベルン州に属する。時計工業の中心地。旧市街は町の山手にあり、中世の小都市の面影を残す落ち着いた町。この広場には、階段状の切り妻屋根が特徴的な市庁舎と1744年に造られた正義の女神の像の立つ噴水がある。  担当者 横濱 久美子

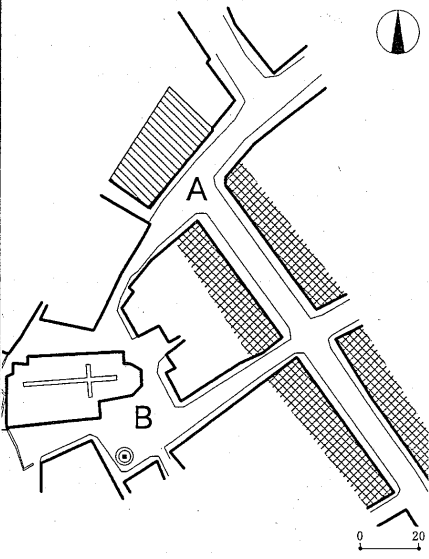
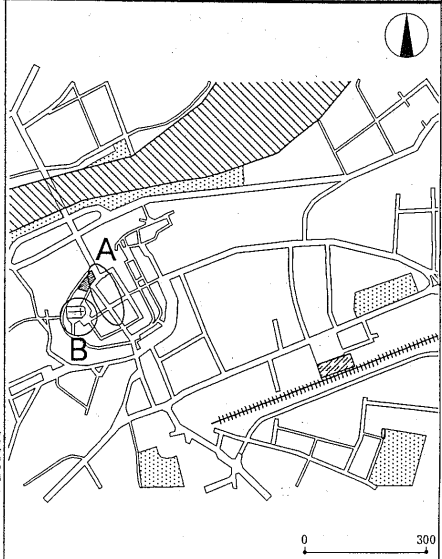
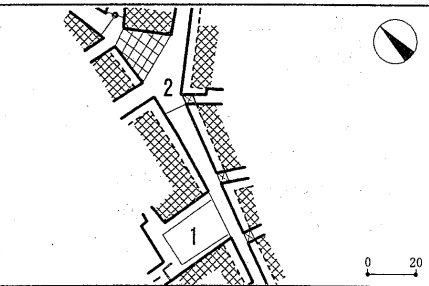
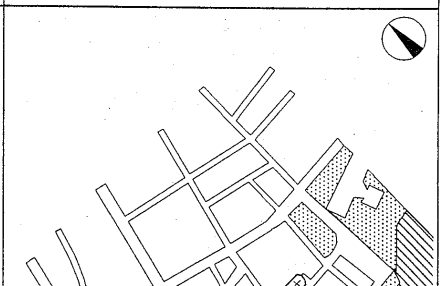
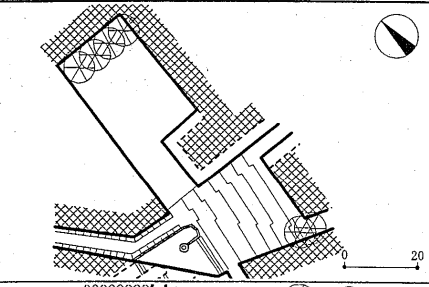
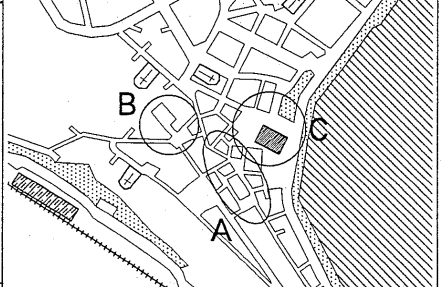
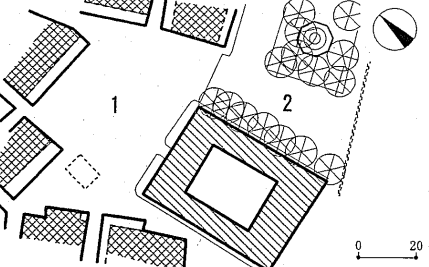
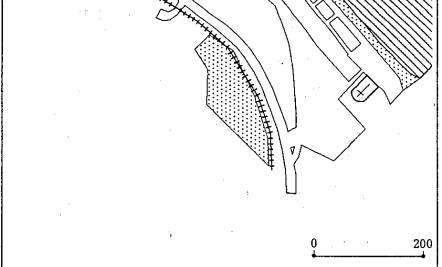
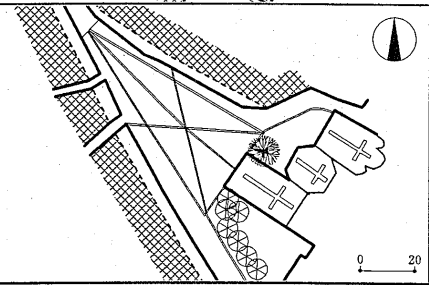
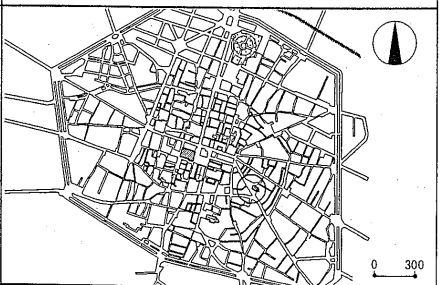
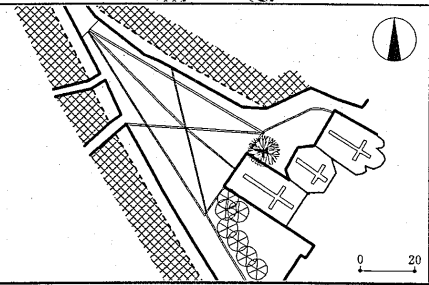
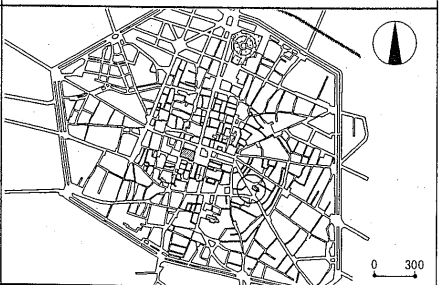


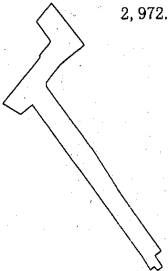
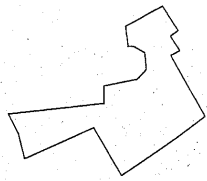
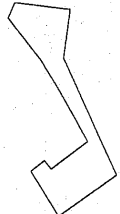
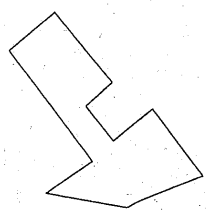
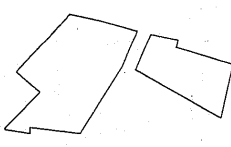
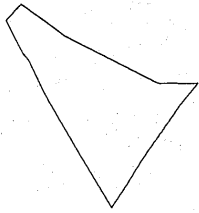
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-19	国 : SWITZERLAND 都市 : BURG DORF 広場名称: KRONENPLATZ		
SUI-03-20	国 : SWITZERLAND 都市 : SOLOTHURN 広場名称: 1) KRONENPLATZ 2) HAUPTGASSE 3) MARKTPLATZ 4) GURZELNGASSE	<b>A</b> 	
SUI-03-21	国 : SWITZERLAND 都市 : SOLOTHURN 広場名称: FRIEDHOF PLATZ	<b>B</b> 	
SUI-03-22	国 : SWITZERLAND 都市 : ZOFINGEN 広場名称: 1) NIKLAUS THUT-PLATZ 2) RATHAUSGASSE	<b>A</b> 	
SUI-03-23	国 : SWITZERLAND 都市 : ZOFINGEN 広場名称: 1) ALTER POSTPLATZ 2) OBERER KIRCHPLATZ 3) UNTERER KIRCHPLATZ 4) MARKTGASSE	<b>B</b> 	
SUI-03-24	国 : SWITZERLAND 都市 : ZOFINGEN 広場名称: VORDERE HAUPTGASSE	<b>C</b> 	

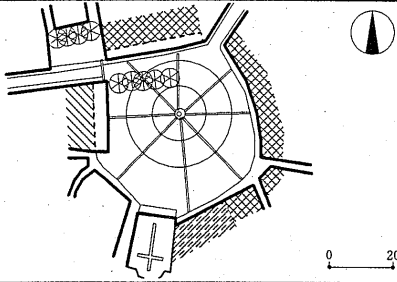
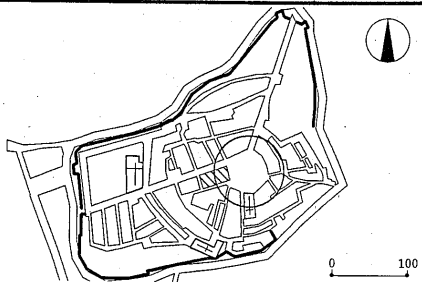
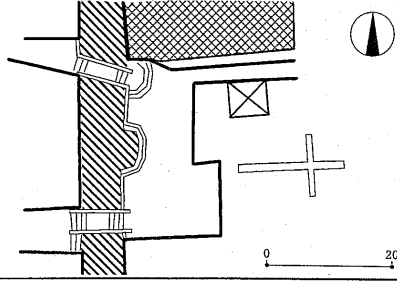
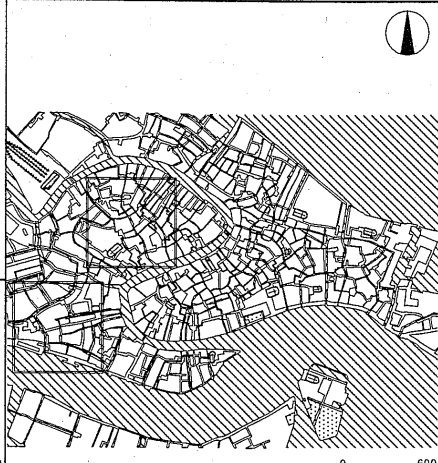
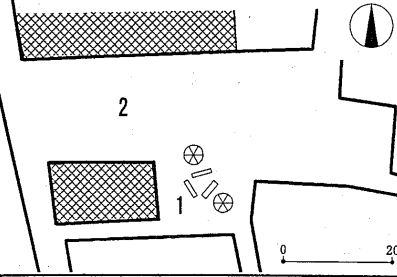
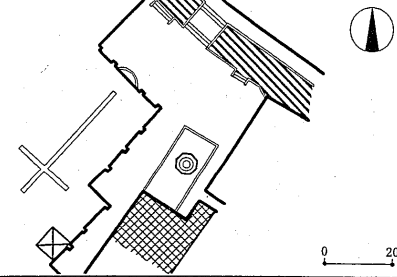
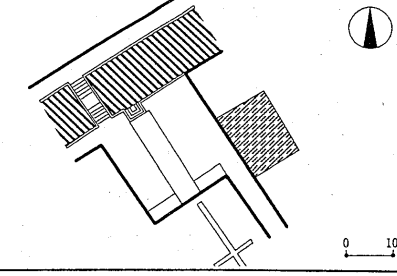
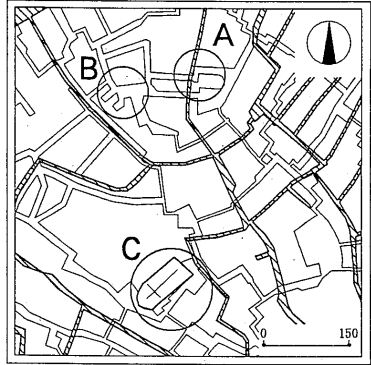
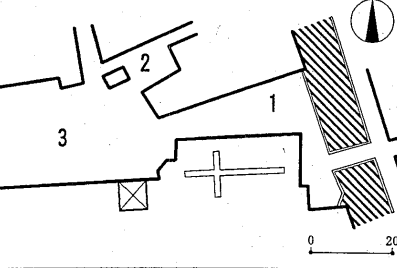
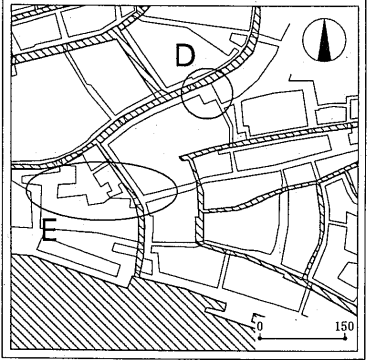
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
918.7㎡ 	憩いの広場	泉, 像 商業施設	資料001 資料033 資料079	小さいながらも活気のあるこの町は、織維織物産業で賑わう新しい町を見下ろして、城のある旧市街がある。城はツェーリングン家の諸公によって12世紀末に建てられた、煉瓦造りの重厚感のある建物である。教会は、15世紀末に大修復された建物である。KIRCHBÜHLに面して市庁舎と1階がアーケードになっている市場施設がある。広場は周りに商業施設が建ち並び、落ち着いた雰囲気憩いの空間となっている。アーケードはSCHMIEDENGASSEの方まで続いている。  担当者 横濱 久美子
1)+2)+3)+4) 10,035.1㎡ 	教会前広場 市場広場 イベント広場 憩いの広場 通り広場	ザンクト・ウルス聖堂 イエズス会教会 時計台 孤児院 水場 泉(2) 像(2) ST.-GEORGSの泉 GERECHTIGKEITSの泉 ザンクト・ウルスの泉 商業施設	資料001 資料010 資料011 資料058 資料072 資料079 資料103	17世紀の城壁に囲まれた旧市街の中心はルネッサンス期やバロック期の建物がそのまま残されている。また旧市街の建物は形が細く中庭があるのが特徴的である。広場に隣接するザンクト・ウルス聖堂(18世紀)、イエズス会教会(17世紀)もバロック様式である。広場を見下ろすように12世紀の時計台がそびえ、その星座時計の上には3人の人物像が載っている。広場の中心にあるザンクト・ウルスの泉が広場の呼び物になっている。毎週土曜日に果物や野菜や花などの市、毎月第2月曜日は日用品を売る市が立つ。またこの広場では仮設舞台を設置してイベントも行われ、広場にはカフェもあり市民の憩いの場ともなっている。  担当者 横濱 久美子
1,624.4㎡ 	憩いの広場 旧教会前広場	商業施設 泉	資料001 資料010 資料011 資料058 資料072 資料079 資料103	ゾロトゥルンは、アーレ川下流左岸に位置する同名州の州都である。ローマ時代にすでに軍道の結節点にある町として栄えた。都市は1218年、ツェーリングン家の断絶により帝国都市に昇格し、領域支配を拡大した。この広場周辺が最も初期の都市領域であり、以前は教会もあったが、現在は商業施設が建ち並び広場にはカフェのテーブルや椅子が並び憩いの空間となっている。  担当者 横濱 久美子
1)+2) 4,524.4㎡ 	市庁舎前広場 市場広場 駐車場	市庁舎 旗持ちの騎士の像, 噴水 ラテン語学校 市場施設 教会財団法人 商業施設	資料011 資料079	この小さな町の旧市街地は、並木道がつくる四角形の中に収まっている。この並木道はもともと城壁があったところで、ただひとつ残る12世紀の堅固な四角い塔プファトゥルムにその名残を留めている。長方形の城壁は、1400×675フィートと計画的に配置されたプランをもつ。THUT広場には旗持ちの騎士の噴水が中央にある。現在は駐車場の役割も果たしている。  担当者 横濱 久美子
1)+2)+3)+4) 5,378.6㎡ 	教会広場 駐車場 憩いの広場	聖モリス教会 公会堂 商業施設 官庁 噴水	資料011 資料079	13世紀に封建制の領主FROBURGSによって建てられた8つの小さな町のひとつである。町の中心を占める聖モリス教会を中心に公共建築と密集した住宅地に分けられている。聖モリス教会は改修されたが、17世紀のルネッサンス風の鐘楼は建築当初のままである。教会を囲んでコの字形の広場は現在は駐車場となっている。ALTER POST広場には木の下にテーブルや椅子が並び、憩いの空間となっている。この広場に隣接しているMARKTGASSEの1階アーケードで土曜の朝に市が開かれる。RATHAUSGASSEに面して、覆い付きの二重階段が特徴的な市庁舎がある。  担当者 横濱 久美子
218.1㎡ 	憩いの広場 駐車場 通り広場	商業施設 組合所	資料011 資料079	この町は17、18世紀の家屋が数多く残されていて張り出した庇や壁には色鮮やかな絵が描かれている。ここがかつて古代ローマの支配下にあったことを物語るものとして二つの大きなモザイクが残っており町の南側出口に保存されている。広場は街路型で商業施設が道の両脇に並び、カフェ、レストラン、土産物屋で賑わっている。  担当者 横濱 久美子

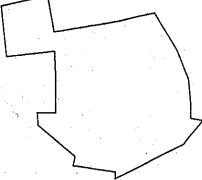
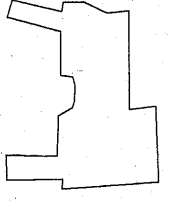
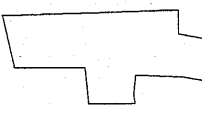
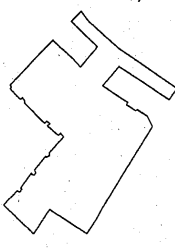
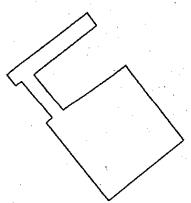
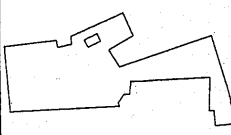
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-25	国 : SWITZERLAND 都市: OLTEN 広場名称: HAUPTGASSE		
SUI-03-26	国 : SWITZERLAND 都市: OLTEN 広場名称: 1) MARKTGASSE 2) ILDEFONS PLATZ		
SUI-03-27	国 : SWITZERLAND 都市: CHUR 広場名称: 1) POSTSTRASSE 2) MAJYORANPLATZ		
SUI-03-28	国 : SWITZERLAND 都市: CHUR 広場名称: 1) OCHSENPLATZ 2) OBERE GASSE 3) GANSPLATZ		
SUI-03-29	国 : SWITZERLAND 都市: CHUR 広場名称: 1) ST. MARTINSPLATZ 2) OBERE GASSE		
SUI-03-30	国 : SWITZERLAND 都市: CHUR 広場名称: ARCAS (アルカス広場)		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
873.1㎡ 	憩いの広場	商業施設	資料010 資料011 資料079	ジュラ山脈と境を接するアーレ川畔の眺めのよい場所にある。アーレ川に架かる歩行者専用の屋根付き橋（アルテ・ブリュック）を渡ると旧市街に入る。訪れた時は工事中であった。オルデンは石けん、セメント、食品業、連邦鉄道の工場などの産業が盛んでそのため今世紀初頭から町は様変わりをし、新市街はアーレ川の両岸に広がった。広場にはテーブルや椅子が並び市民の憩いの場となっている。  担当者 横濱 久美子
1)+2) 1,920.5㎡ 	憩いの広場 旧教会前広場	商業施設 塔（旧教会）	資料010 資料011 資料079	広場には1240年頃まで ST. MARTIN URKUNCLLICH教会があったが、地震で壊れてしまった。現在は教会の名残である塔と窓がひとつ残されている。そしてその後広場は長い間墓地であった。現在の塔は1975年に再建されたもので、現在の広場はレストランやカフェが並ぶ憩いの空間となっている。旧市街を出て STADT教会の横のMUNZINGER広場では毎週月曜の朝に市が立つ。  担当者 横濱 久美子
1)+2) 1,163.9㎡ 	市庁舎前広場 憩いの広場 市場広場	市庁舎 泉 商業施設 泉	資料007 資料109 資料010 資料110 資料011 資料111 資料034 資料035 資料072 資料079 資料103	クールは、5000年の歴史をもつスイス最古の町である。4世紀末には司教が居住し、権力を誇った。15世紀以降、都市は司教より大幅な自治を獲得し発展した。市庁舎はまさにその時代1464年に建てられたものである。市庁舎1階のピロティでは、市が開かれる。またポスト通りは、歩行者用の空間であり現代の都市のメインストリートとなっている。  担当者 金子 友美
1)+2)+3) 1,804.6㎡ 	城門前広場 市場広場	オーバー門 泉 商業施設	資料007 資料109 資料010 資料110 資料011 資料111 資料034 資料035 資料072 資料079 資料103	クールはスイス東部グラウビュンデン州都で、プレスル川とライン川の合流地点近くに位置する。またこの地はラテン文明とゲルマン文明の交差点でもあり、使用される言語もドイツ語・イタリア語・ロマンシュ語と多彩である。5月から10月の毎週土曜日午前中、オーバー通りとウンター通りで開かれる週市には、州全土から生産者が集まる。このオーバー通り付近は町で最も古い地域である。  担当者 金子 友美
1)+2) 1,220.0㎡ 	教会前広場 市場広場	聖マルティン教会 泉 商業施設	資料007 資料109 資料010 資料110 資料011 資料111 資料034 資料035 資料072 資料079 資料103	聖マルティン教会の現存する建物は、火災によって破壊された8世紀のカロリング時代の跡に1491年に建てられたものである。1526年からはプロテスタント教会として使われている。この辺りが旧市街の中心である。  担当者 金子 友美
2,005.4㎡ 	市場広場 憩いの広場	泉 商業施設 児童図書館	資料007 資料109 資料010 資料110 資料011 資料111 資料034 資料035 資料072 資料079 資料103	クールの旧市街では、毎年いくつもの定期市が開かれる。このアルカス広場では、毎月の第一土曜日に「GANGGALIMARKT」と呼ばれる古着市が催される。  担当者 金子 友美

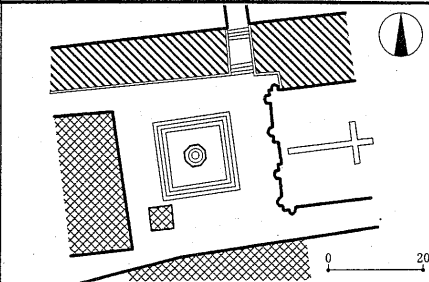
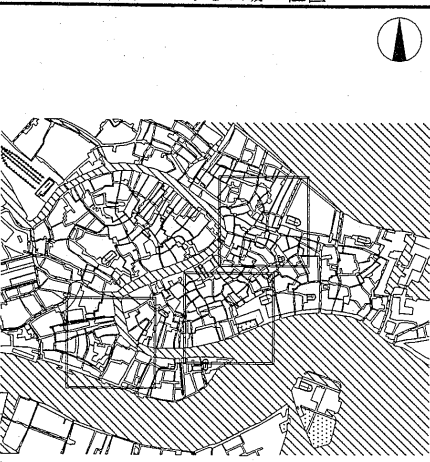
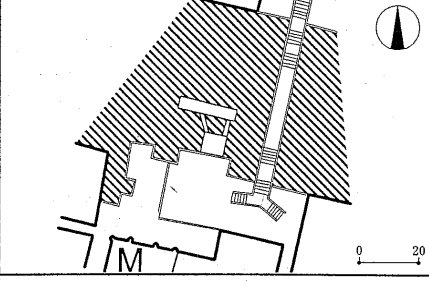
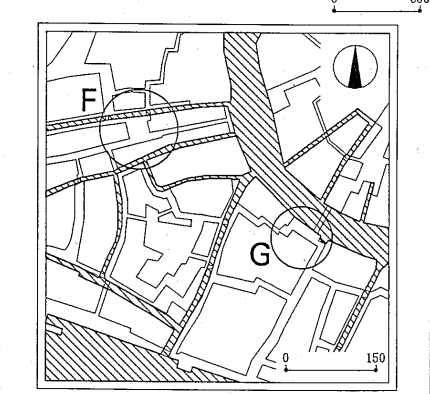
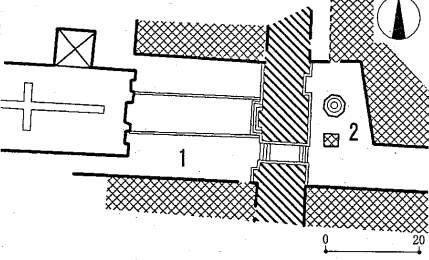
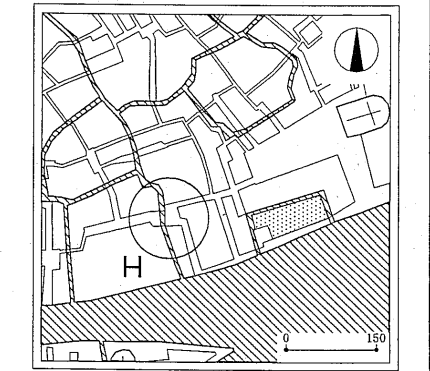
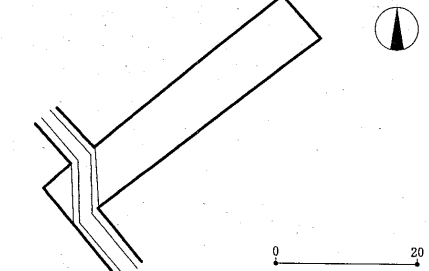
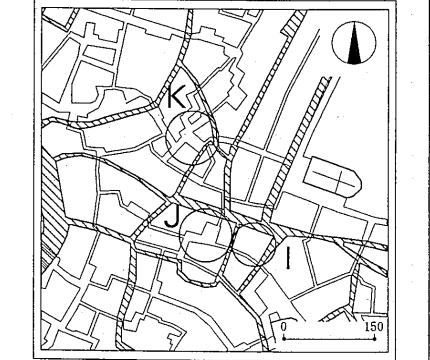
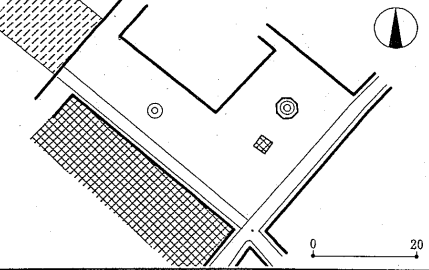
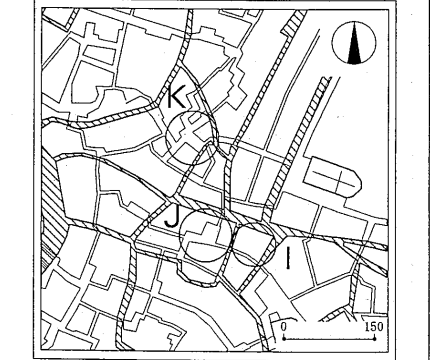
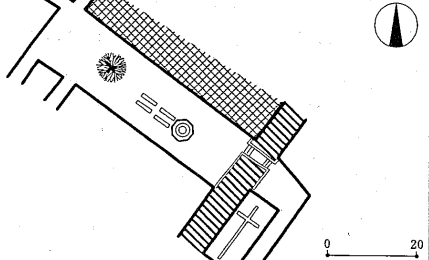
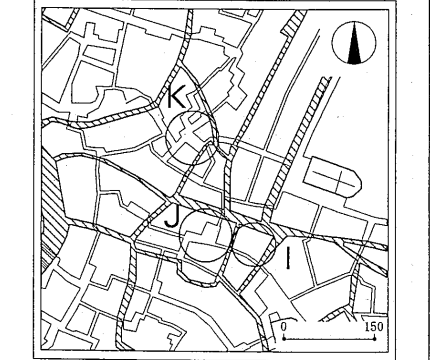
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
SUI-03-31	国 : SWITZERLAND 都市: AARAU 広場名称: RATHAUSGASSE	A 	
SUI-03-32	国 : SWITZERLAND 都市: AARAU 広場名称: KIRCHGASSE	B 	
SUI-03-33	国 : SWITZERLAND 都市: LUGANO 広場名称: 1) PIAZZETTA SAN CARLO 2) VIA NASSA	A 	
SUI-03-34	国 : SWITZERLAND 都市: LUGANO 広場名称: PIAZZA CIOCCARO	B 	
SUI-03-35	国 : SWITZERLAND 都市: LUGANO 広場名称: 1) PIAZZA DELLA RIFORMA 2) PIAZZA A. MANZONI	C 	
ITA-03-01	国 : ITALY 都市: BOLOGNA 広場名称: PIAZZA SANTO STEFANO		

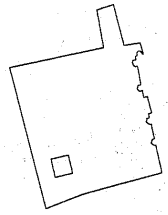
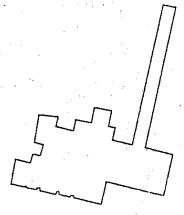
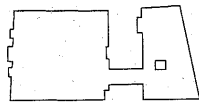
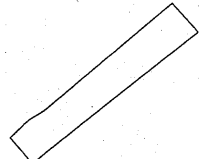
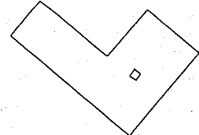
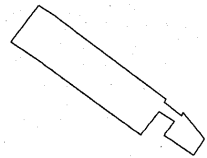
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
 2,972.6㎡	市庁舎前広場	市庁舎 商業施設	資料010 資料011 資料028 資料074	<p>ジュラ山脈のふもとの景勝地にあるアーラウは近くにアーレ川の流れる台地に位置する。旧市街の家々はプレスコ画で覆われたファサードや装飾された軒をもち、非常に特徴的である。またこの通りに面する市庁舎も装飾された階段状の切妻を持ち、町の雰囲気をつくり出している。通りには古くから水路が流れており、人々が水を汲むなどして生活に利用していたが、現在は一部地下水路となり、その様子を窺い知ることはできない。</p> <p>担当者 丹生 多美</p>
 1,273.4㎡	教会前広場 通り広場	小教区教会 正義の噴水 郵便局	資料010 資料011 資料028 資料074	<p>市庁舎前通りと直交するこの通りは、町のメインストリートのひとつである。通り西側の突き当りにある広場には小教区教会が面している。また広場には1643年に作られた「正義の噴水」がある。教会の外観はいたってシンプルな作りであるが、上部には17世紀末の装飾的な時計塔を構えている。広場は町の西側に突き出た高台の端に建つため、静かな雰囲気のある広場である。</p> <p>担当者 丹生 多美</p>
 1)+2) 1,631.7㎡	憩いの広場	商業施設 泉	資料007 資料112 資料010 資料011 資料049 資料072 資料079 資料103 資料111	<p>ルガーノはスイス南部、ルガーノ湖北岸に位置する観光・保養地として名高い。しかし旧市街には、歴史的建造物も多数残されている。PIAZZETTA は小広場を意味し、広場は3方を建物に囲まれた文字通り小さな広場である。この広場の1辺を通るNASSA通りの1階にはポルティコ（アーケード）が続き、商店が建ち並ぶ。</p> <p>担当者 金子 友美</p>
 1,860.7㎡	駅前広場	ケーブルカー駅 商業施設	資料007 資料112 資料010 資料011 資料049 資料072 資料079 資料103 資料111	<p>ルガーノはスイスの中でもイタリア語圏の都市で、ポルティコのある通りなど町並みにもイタリアの雰囲気を感知取れる。傍らのケーブルカーの駅を含め広場を囲む建物は、近代的に作り直されているものもあるが、1階部分のポルティコだけは昔のまま残しているものもある。</p> <p>担当者 金子 友美</p>
 1) 2,954.6㎡ 2) 1,382.5㎡	市庁舎前広場	市庁舎 商業施設	資料007 資料112 資料010 資料011 資料049 資料072 資料079 資料103 資料111	<p>市庁舎は、1844～45年にミラノの建築家によって建てられたもので、かつては国の建物として建てられたものである。石像の腰板や円柱・角柱が象徴的に配置され、荘厳なファサードを形成している。現在広場にはカフェテラスやレストランが並び、華やかな雰囲気を演出している。</p> <p>担当者 金子 友美</p>
 2,103.4㎡	教会前広場	クロチフィン教会 サン・セポルクロ教会 サンヴィターレとアグリコ ラ教会 商業施設	資料003 資料071 資料005 資料078 資料006 資料007 資料009 資料012 資料067 資料070	<p>自治都市として発展してきたボローニャは政治的、文化的な数々の遺構を残す州都である。高名な学問の府としても知られており、多くの学者を生み出した都市でもある。市中を東西に走る大通りから枝分かれしたサン・ステファノ通りを歩くと、この広場にたどり着く。周囲にはルネッサンス様式の館やサン・ステファノ教会群があり、教会群のうち三つが広場に面している。そしてそれらの教会からは回廊付きの中庭に抜けることができ、さらにその奥にはトリニタ教会、サンタ・クローチェ教会が続いている。広場の床面にライン状に施されたデザインが求心性をもち、通りからの自然なアプローチへとつなげている。</p> <p>担当者 丹生 多美</p>

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-03-02	国 : ITALY 都市: MONTEFALCO 広場名称: PIAZZA DEL COMUNE		
ITA-03-03	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO DEL PIOVÀN	<b>A</b> 	
ITA-03-04	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: 1) CAMPO NAZARIO SAURO 2) CAMPO DEI TEDESCHI	<b>B</b> 	
ITA-03-05	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO DEI FRARI	<b>C</b> 	
ITA-03-06	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO DEI CARMINI	<b>D</b> 	
ITA-03-07	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: 1) CAMPO SAN SEBASTIANO 2) CAMPIELLO DEL SOUERO 3) CAMPAZZO SAN SEBASTIANO	<b>E</b> 	

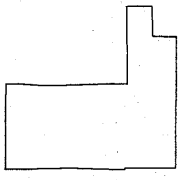
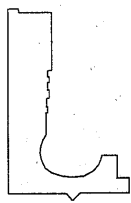
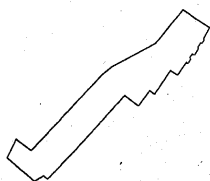
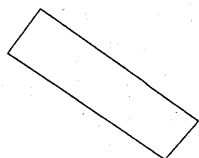
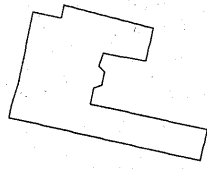
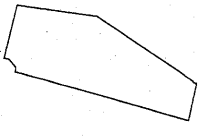
規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
2,430.8㎡ 	市庁舎前広場 教会前広場 憩いの広場	市庁舎 サンタ・マリア・イン・ピ アツァ祈祷堂 商業施設	資料004 資料009 資料073 資料078	この町は鷹（ファルコ）が巢にとまっているように山の上にあることからその名が付けられている。市民の生活の中心である円形の広場は、環状の道路や路地が集まる場所で、オープンカフェがみられるなど市民の憩いの場となっている。また広場には15～16世紀の貴族の邸宅、13世紀建造の市庁舎、教会などが面しており、当時の面影を今に伝えている。広場は駐車スペースとなっていた。  担当者 丹生 多美
404.8㎡ 	教会前広場	サン・ジャコモ・デッロリオ教会 商業施設	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	サン・ジャコモ・デッロリオ教会は9～10世紀の創建であるが、1225年に再建されている。この教会正面に相対する形で船着き場が設けられ、水路を取り込んだ形の広場形態となっている。  担当者 芦川 智・金子 友美
1)+2) 1,625.0㎡ 	憩いの広場	商業施設	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	広場は街路が少し広がった形で、植栽がある。傍らにはオープンカフェが設けられ、人々の憩いの広場となっている。  担当者 芦川 智・金子 友美
1,988.8㎡ 	教会前広場 憩いの広場	サンタ・マリア・グロリオ ーザ・デイ・フラリー教会 商業施設 井戸	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	ヴェネツィアを代表する教会のひとつといわれているサンタ・マリア・グロリオーザ・デイ・フラリー教会は、1340年に建築が始められ約1世紀かけて建設された。教会に付属する鐘楼は、ヴェネツィアで2番目に高い。教会脇の井戸がある部分は、基礎が設けられている。教会前面から橋を渡ってアプローチする形の広場である。  担当者 芦川 智・金子 友美
828.2㎡ 	スクオーラ前広場 教会前広場	スクオーラ・デイ・カルミニ (カルミニ大同信会館) カルミニ教会	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	スクオーラ・デイ・カルミニは、17世紀半ばにロンゲーナによって建てられたカルメル派聖母修道院会のスクオーラである。カルミニ教会の軸線と広場の軸線が一致しており、その軸線の先に船着き場が設けられている。  担当者 芦川 智・金子 友美
1)+2)+3) 1,175.5㎡ 	教会前広場 大学前広場	サン・セバスティアノ教会 大学（旧修道院）	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	サン・セバスティアノ教会はパオロ・ヴェロネーゼによって1555～65年にかけて施された荘厳な装飾で有名である。この教会に沿って複数の広場が連続するが、いずれも大きな特徴のない広場で、静かな空間である。  担当者 芦川 智・金子 友美

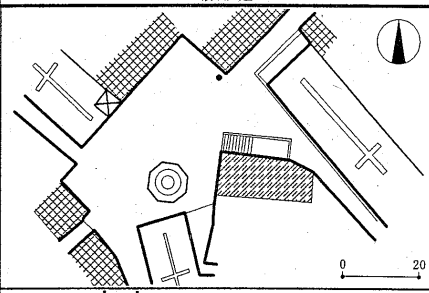
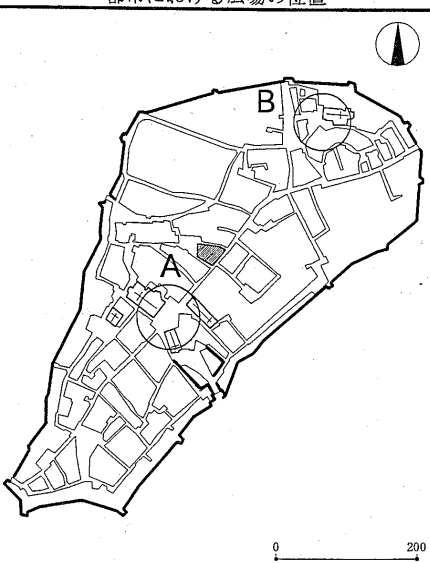
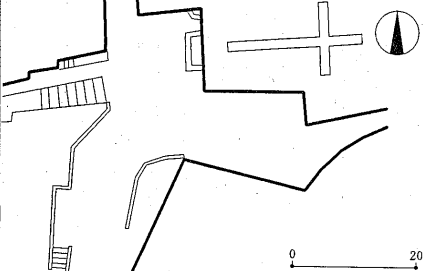
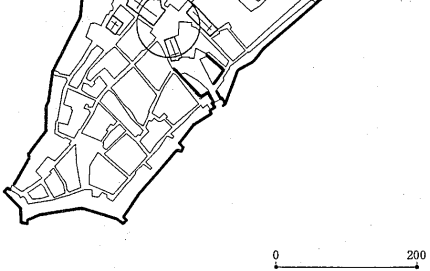
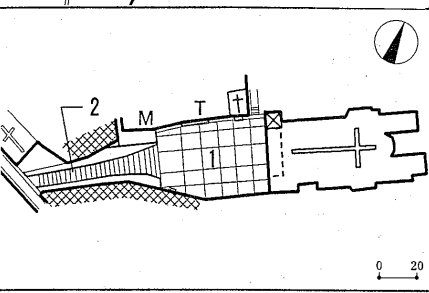
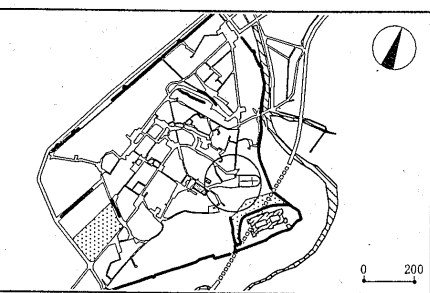
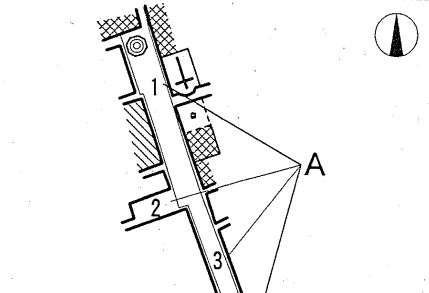

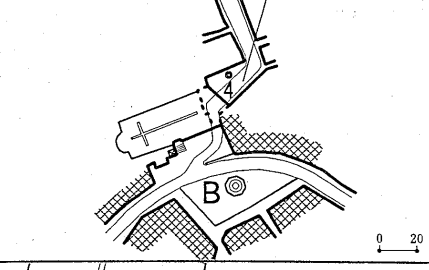
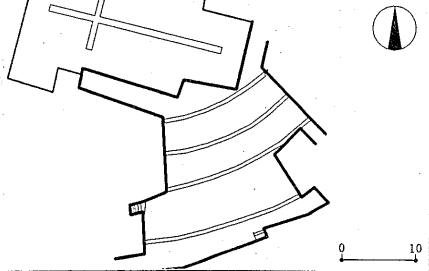
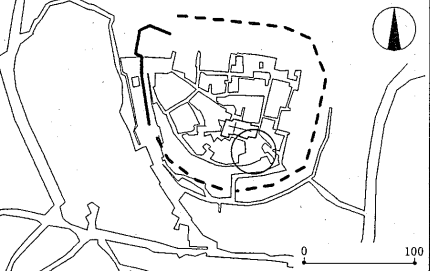


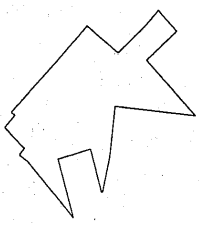
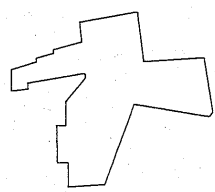


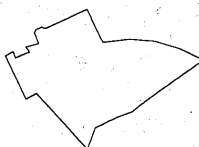
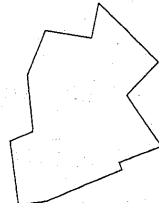
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-03-08	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO SAN BARNABA	F 	
ITA-03-09	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO DELLA CARITA	G 	
ITA-03-10	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: 1) CAMPO SAN MOISE 2) CAMPIELLO BAROZZI	H 	
ITA-03-11	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: BORGOLOCO POMPEO MELWENTI	I 	
ITA-03-12	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO SANTA MARINA	J 	
ITA-03-13	国 : ITALY 都市: VENEZIA 広場名称: CAMPO SANTA MARIA NOVA	K 	

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
1,207.4㎡ 	教会前広場 憩いの広場	サン・バルナバ教会 商業施設 井戸	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	現在のサン・バルナバ教会は18世紀に建てられたもので半円柱とコリント式の柱頭による古典的なフラスコをもつ。鐘楼は建設されてから約1000年、円錐形の尖塔を除いて、その姿をほとんど変えずに現在に至っている。その尖塔は14世紀に付加されたもので、ヴェネツィアの興味深いシルエットのひとつとなっている。かつてこの辺りに住んでいた貧乏な貴族達はBARNABOTTI (バルナボッティ) と呼ばれた。それは、サン・バルナバの教区に由来するものである。教会に沿って水路が流れている。広場中央には井戸がありその隣には売店が出ている。  担当者 芦川 智・金子 友美
2,050.2㎡ 	美術館前広場 橋詰広場	アカデミア美術館 アカデミア橋 水上バス停留所 公衆便所	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	アカデミア美術館は、ヴェネツィア派とヴェネト派絵画のコレクションで有名である。広場は美術館の入口と同名の橋のたもとで、水上バスの乗降客他常に多くの観光客で賑わっている。  担当者 芦川 智・金子 友美
1)+2) 1,082.6㎡ 	教会前広場 憩いの広場	サン・モイゼ教会 井戸 商業施設	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	サン・モイゼ教会 (1668年) は、ヴェネツィアン・バロック様式の教会である。この教会の軸線に沿った長方形の広場は、水路を介して対岸の小広場と橋で繋がっている。  担当者 芦川 智・金子 友美
309.9㎡ 	住居前広場	住居	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	住居に囲まれた細長い形状の広場で、袋小路になっている。  担当者 芦川 智・金子 友美
1,167.5㎡ 	憩いの広場 館前広場	商業施設 井戸(2) ロレタン館	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	通りが広がって広場となっている。広場はL字型の平面形状をしている。  担当者 芦川 智・金子 友美
858.1㎡ 	憩いの広場	サンタ・マリア・デイ・ミラコリ教会 商業施設 井戸	資料003 資料093 資料005 資料103 資料009 資料106 資料012 資料108 資料067 資料070 資料075 資料078	サンタ・マリア・デイ・ミラコリ教会は1489年の建立で、多彩色の大理石で施された装飾が見事な教会である。そのミラコリ教会の宗教的空間と水路を隔てて対比的に位置するこの広場は、人々の日常的な空間である。  担当者 芦川 智・金子 友美

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-03-14	国 : ITALY 都市: BRESCIA 広場名称: 1) PIAZZA DELLA LOGGIA 2) VIA GASPARO DA SALÒ		
ITA-03-15	国 : ITALY 都市: BRESCIA 広場名称: PIAZZA PAOLO VI (パウルス6世広場, GIÀ PIAZZA DEL DUOMO)		
ITA-03-16	国 : ITALY 都市: FAENZA 広場名称: 1) PIAZZA DELLA LIBERTÀ 2) PIAZZA DEL POPOLO 3) PIAZZETTA DELLA LEGNA		
ITA-03-17	国 : ITALY 都市: FAENZA 広場名称: PIAZZA MARTIRI DELLA LIBERTÀ		
ITA-03-18	国 : ITALY 都市: CEZENA 広場名称: 1) PIAZZA PIA 2) CORSO GIUSEPPE MAZZINI		
ITA-03-19	国 : ITALY 都市: CEZENA 広場名称: PIAZZA DEL POPOLO		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
1)+2) 4,853.6㎡ 	市庁舎前広場	市庁舎(ロジリア,市民貴族評議会本部) 大時計館 モンテ・ヴェッキオ宮(公設金融機関) モンテ・スオーヴォ宮(公設金融機関) 泉(3) 商業施設 仮設野外劇場	資料003 資料103 資料005 資料105 資料009 資料113 資料043 資料067 資料070 資料075 資料078	プレシアはロンバルディア州の中で人口・経済の両面でミラノに次ぐ第二の都市である。町の歴史は古く、ローマ帝国時代の遺跡も残る。現在の市庁舎であるロジリアは1492～1574年の建設で、1階はプラマンテ、2階以上はサンソヴィーノとバラディーオの設計である。広場では、野外劇のための仮設スタンドが組まれていた。  担当者 金子 友美
7,908.8㎡ 	教会(大聖堂)前広場 政庁舎前広場	政庁舎(プロレット) ポボロの塔 新ドゥオーモ(大聖堂) ロトンダ(旧大聖堂) 泉(2) 商業施設 バス停留所	資料003 資料103 資料005 資料105 資料009 資料113 資料043 資料067 資料070 資料075 資料078	この広場はかつてドゥオーモ(大聖堂)広場と呼ばれていた。旧ドゥオーモであるロトンダは、それ以前にあった聖堂の上に11世紀に建立された。この辺りは広場の中でも古い部分に相当する。ドゥオーモはこの町のロマネスク期を代表する建物である。隣の新ドゥオーモは1604年に着工、その後3世紀の年月を経て完成したものである。プロレットはロンバルディア地方で最も有名な政庁舎のひとつである。これら巨大な三つの建物に支配される広場は、駐車場とバス停が設けられていた。  担当者 金子 友美
1)+2)+3) 7,660.5㎡ 	市庁舎前広場 教会(大聖堂)前広場 市場広場 憩いの広場	大聖堂 噴水 商業施設 市庁舎	資料003 資料009 資料067 資料070 資料078 資料103	フランス語で陶器を意味する「ファイアンス」が名前の由来となっている街であり、その由来のとおり現在も陶器の製造が盛んな都市である。町の中央に位置するこの広場は2本のメインストリートの交差点にあり、隣接する二つの広場とあわせて大空間を構成している。広場には市が立ち、市民の生活の場となっている。リベルタ広場にはバロック様式のモニュメンタルな噴水があり、また広場に面して建つ大聖堂は初期ルネッサンスのもので、エントランスには大階段がある。  担当者 丹生 多美
6,801.9㎡ 	市場広場 駐車場	教会 ボデスタ館(旧市庁舎) 商業施設	資料003 資料009 資料067 資料070 資料078 資料103	ポボロ広場に面した旧市庁舎であるボデスタ館の脇を一步奥に入ったところにあるこの広場は、普段は駐車場として利用されているが、毎週火、木、土曜日には朝市が早朝～14時まで開かれている。調査に訪れたときはすでに市は終わり、後片付けが行われていた。  担当者 丹生 多美
1)+2) 2,086.6㎡ 	教会(大聖堂)広場 憩いの広場	大聖堂 商業施設 彫刻	資料003 資料009 資料078	サンソリのような奇妙な形の城壁を残した都市で、城壁内の史跡地区は15世紀にこの地に君臨したマラテスタ家の名残であり、名高い図書館などがある。またそれと同時に商業都市としての活潑な雰囲気もあわせ持っている。この広場はまさに商業地区の中にあり、広場に面したマッツイーニ通りでは車が行き交う様子が見られた。  担当者 丹生 多美
3,299.2㎡ 	市庁舎前広場 市場広場 城塞前広場	商業施設 マラテスタ家の城塞 噴水 市庁舎	資料003 資料009 資料078	ガレオット・マラテスタが14世紀に丘の上に建設させた城塞のふもとにある広場である。広場からは城塞に通じる階段が設置されており、奥には城塞を囲む公園が広がっている。城塞は二つの四角い塔を持ち、その塔のうちのひとつは現在農民文化博物館として利用されており、建設当時の生活環境の再現や農機具のコレクションが展示されている。この広場では水曜と土曜の午前中には市が開かれており、衣類や食料などの日用品が売られ、人々の生活に欠かせない場となっている。  担当者 丹生 多美

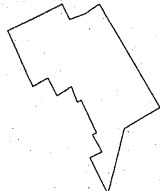
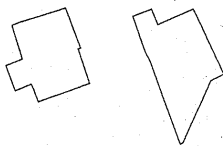
CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-03-20	国 : ITALY 都市: BEVAGNA 広場名称: PIAZZA FILIPPO SILVESTRI	A 	
ITA-03-21	国 : ITALY 都市: BEVAGNA 広場名称: PIAZZA SAN FRANCESCO	B 	
ITA-03-22	国 : ITALY 都市: SPOLETO 広場名称: 1) PIAZZA DEL DUOMO 2) VIA DELL'ARRINGO		
ITA-03-23	国 : ITALY 都市: NARNI 広場名称: 1) PIAZZA DEI PRIORI 2) PIAZZA GUGLIELMO MARCONI 3) VIA GARIBALDI 4) PIAZZA CAVOUR	A 	
ITA-03-24	国 : ITALY 都市: NARNI 広場名称: PIAZZA GARIBALDI	B 	
ITA-03-25	国 : ITALY 都市: PONZANO ROMANO 広場名称: PIAZZA SAN NICOLO		

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
2,071.4㎡ 	教会前広場 憩いの広場 館前広場	サン・シルヴェストリ教会 サン・ミケーレ・アルカン ジェロ教会 最高行政官の館 FOUNTAIN館 SAN ROCCOの円柱 商業施設 噴水 ローマ時代の円柱	資料004 資料009 資料031 資料032 資料068	城壁に囲まれたベヴァーニャの町は、町全体に中世の景観が残る都市である。町の中心に位置するシルヴェストリ広場は中世の時代から町の機能の中心として発展し、周囲には最高行政官の館や教会が隣接しており、ウンブリア州のなかでも最も調和のとれた広場のひとつと言われている。また広場には古代ローマ時代の円柱や1896年以前は貯水池として利用されていた八角形の噴水があり、その当時の名残を今に伝えている。  担当者 丹生 多美
1,054.1㎡ 	教会前広場	サン・フランチェスコ教会	資料004 資料009 資料031 資料032 資料068	この広場は城門近くの町の高台に位置しており、細いサン・フランチェスコ通りの急なカーブの先にある。周囲には数々のローマ時代の都市の遺構が残っている。教会前の小さな広場には周囲に民家が並び町の中心から外れているため人通りも少ない広場であったが、シルヴェストリ広場とは違った町の穏やかさが感じられる場所である。  担当者 丹生 多美
1)+2) 3,903.4㎡ 	教会(大聖堂)前広場 教会前広場 憩いの広場	大聖堂 市立博物館 教会 メリッソ劇場 アッローニ館 商業施設	資料004 資料073 資料005 資料078 資料006 資料103 資料009 資料105 資料012 資料027 資料059 資料068	スポレートはかつてのローマの自治市で、のち6世紀および8世紀には勢力をもったロンゴバルド公国の地であった。丘の斜面に段状に広がる町は、狭く曲がりくねった路地や、多数の建築物の風情によって趣きある町並みである。町の東側に位置するこの大聖堂前の広場は緩やかな大階段からアプローチし大聖堂の優美なファサードを目の当たりにする。また、広場までの緩やかな階段は導入スペースであるだけでなく、階段脇にある店舗をふくめて住民の憩いの場となっている。  担当者 丹生 多美
1)+2)+3)+4) 3,007.8㎡ 	市庁舎前広場 憩いの広場 市場広場	市庁舎(ポデスタ館) プリオリ館 泉(2)	資料004 資料009 資料027 資料052 資料068 資料105	山岳都市であるナルニは蛇行したネーラ川の溪谷に囲まれ、壁のようにきりたった岩の上に築かれた町である。町の中央に位置する細長い形をしたプリオリ広場はかつての古代ローマ都市の劇場の平土間席(プラテア・マイオール)があったとされる。広場には塔を持った中世の館のプリオリ館とその向かいのポデスタ館が隣接し、中世の面影を残している。プリオリ館のダッカポーネ作の開廊では市が開かれており、広場が町の中心として機能している。  担当者 丹生 多美
2,888.1㎡ 	教会(大聖堂)横広場 憩いの広場	大聖堂 商業施設 泉(貯水槽) 塔	資料004 資料009 資料027 資料052 資料068 資料105	この広場は古代ローマの貯水槽があることから以前はラーゴ広場(湖の広場)と呼ばれていた。広場に面して中世の塔やロマネスク様式の扉口をもつ大聖堂の側壁が構えている。また、大聖堂側面は広場へ出入りするための階段が設けられており、階段をあがるとここから広場を一望することができる。ここは町に出入りするための主要道路の通過地点でもあるため、交通量が多く、広場は道路により分断されてしまっているという印象を受けた。  担当者 丹生 多美
404.2㎡ 	教会前広場 憩いの広場	教会 住宅	資料104 資料129	ローマから北に約40kmの所に位置するこのボンツァノ・ローマーノの町はイタリアの中世山岳都市のひとつである。町の中心は高台に位置しており、細い坂の路地をしばらく歩くと突然視界がひらけ、広場にたどり着く。広場の周囲は教会などの建物に囲まれているが、駐車スペースとなっており、調査時は人通りもなく非常に静寂を保っていた。賑わいをみせていたのはむしろ、町の外れに位置する広場でありそこではお年寄りたちがテーブルを囲み、雑談をする様子が見られた。  担当者 丹生 多美

CODE	国・都市・広場名称	広場形態	都市における広場の位置
ITA-03-26	国 : ITALY 都市: OTRICOLI 広場名称: PIAZZA DELLA REPUBBLICA		
ITA-03-27	国 : ITALY 都市: OTRICOLI 広場名称: 1) PIAZZA GIUSEPPE GARIBALDI 2) VIA 20 SETTEMBRE		

<平面図の凡例>

広場形態図	
	市庁舎、タウンホール等の行政関係施設
	市庁舎等の施設以外の公共的建物 広域行政施設、警察署、郵便局等
	広場内の彫像やモニュメント
	広場内の特徴的な塔状の建物・構築物
	建物化された商業施設
	緑地等の自然物：植栽、芝地等
	宮殿・館等の建物施設
	泉
	泉+彫像
	城郭・城壁（現存するもの）
	城郭・城壁で過去にあったと考えられる物
	河川・湖等の水面
	教会・聖堂建築物
	歩行者と車の領域区分界 （段差等で物的に設置されている物）
	M：博物館・美術館 T：劇場
	アーケード形式等の屋外部分
	市場施設（屋根付き）
都市における広場の位置図	
	市庁舎、タウンホール等の行政関係施設
	広場内の彫像やモニュメント
	広場内の特徴的な塔状の建物・構築物
	緑地等の自然物：植栽、芝地等
	城郭・城壁（現存するもの）の境界要素
	城郭・城壁で過去にあったと考えられる物
	河川・湖水等自然領域との境界
	教会・聖堂建築物

規模	広場機能	周辺建築物	資料	都市および広場の概要
725.6㎡ 	教会前広場 憩いの広場	SANTA MARIA ASSUNTA教会 (司教座聖堂) 商業施設	資料105	テヴェレ川の付近にはいくつもの丘があり、そのうちのひとつの丘にこのオトリョリの町はある。イタリア山岳都市のひとつであるこの町は中世の面影を今に伝えている。町の中心には小さな教会前広場があり、ミサを終えた人々が集まるのにちょうどいい空間となっており、町の中心地となっている。また、広場から延びる路地はヒューマンスケールに基づいており、歩行者を自然に空間へ導き、おのずと町の景観を楽しませてくれる。  担当者 丹生 多美
1) 211.7㎡ 2) 174.5㎡ 	憩いの広場	住宅	資料105	教会前広場から続く路地を抜けると、そこにはのどかな生活が垣間見られる民家が集まっている。家々は小さな広場を囲むように建っており、人々はそのプライベートな中庭のような小さな広場を日々の憩いの空間として活用している。住民の話によれば、この広場は古代町の中心であったが、その機能は現在、教会前広場へと移行した。細い路地から突然現れるこの空間は、小さいながらも非常に生活に根ざした空間として機能していた。  担当者 丹生 多美

(7) 第15回調査の概要

① 広場面積・周長による数値データの特徴

今回調査した広場について、その広場形態を広場面積と周囲の長さのデータをもとに、その特徴を位置づけることを試みる。なぜなら、今回の調査対象の広場には非常にさまざまな形態があり、特に街路状の広場が多くみられた。そのため、何らかの数値データをもとにした形態分析の必要性が生じたからである。

まず、面積Sと周長Lの比率、つまりS/Lを求めることにより、その形態を読み取ることが可能となるという仮説をたてた(S/Lを今後の説明の都合上「広場幅員」と名称づけることとする)。そして、その広場幅員と周長の関係を捉えることにより、広場の形態のタイプを把握できると考えた。その検討を以下に示す。

i) 面積と周長の比率による広場の形態の検討

・  $W^* = S/L$  でその形状の特徴を検討する。

S : 面積

$S = L \times W^*$  L : 周長

$W^*$  : 広場幅員

ii) 広場の形態を単純な形態である矩形をもとに  $W^*$  から考える

・ 短辺をa, 長辺をbとそれぞれ仮定し、面積S, 周長Lを求める。

$$b = a \times k \quad \text{とおく} \quad (1 < k < \infty)$$

$$S = a \times (a \times k)$$

$$L = 2 \times (a + b) = 2 \times (1 + k) \times a$$

$$\text{よって } W^* = k / \{2(1 + k)\} \times a$$

iii) 上記数式のグラフ化

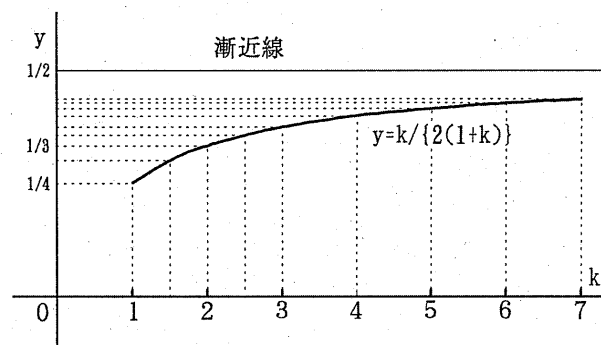


図-4 矩形モデルによる動向グラフ



これは、広場形態が正方形から、徐々に一辺が長くなった場合、 $W^*$ の値は限りなく0.5に近づき、 $a$ の値が大きいほどその形状は細長いといえる。そこで広場形状が、街路状・正方形のどちらに近いかの判断基準として $W^*$ が役立つと判断した。

#### iv) 広場幅員と広場の周長との関係

前述のごとく、面積と周長の比率がその広場の形状を示すことを示した。

さて、広場幅員と周長の関係を探るために、長方形の形状でどのような状況を示すかを検討してみる。まず、2辺を $a$ 、 $b$ とする矩形を対象とする。この縦横比を $t$ とする

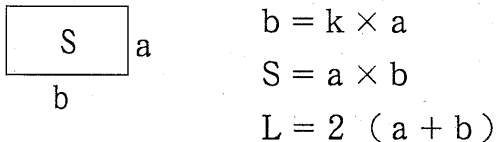


図-5 矩形モデル

この矩形の $a = b$ のとき、つまり $t = 1$ の場合の面積 $S_1$ を固定して、 $t$ を1から $m$ まで増加させた際の $L$ の状況を把握してみる。

$S = a \times b = k \times a^2$ より、 $a = \sqrt{S_1} / \sqrt{k}$   
 これより  
 $L = 2(a + b) = 2(1 + k) / \sqrt{k} \times \sqrt{S_1}$   
 ( $\sqrt{S_1}$ : 定数)  
 $t = 2(1 + k) / \sqrt{k}$   
 とおいて $k - t$ のグラフを描いてみると図-6のようになる。

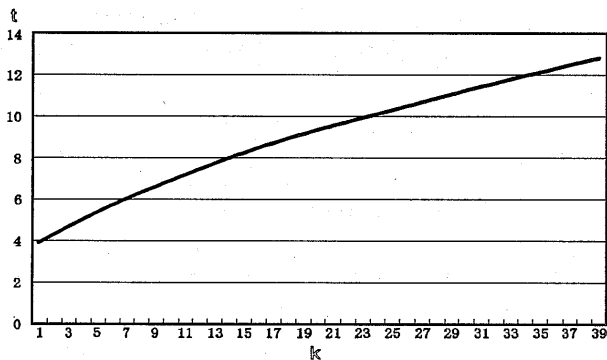


図-6 周長と縦横比の関係

つまり、面積が同じで矩形の縦横比を増加させていくと周長がその増加に併せて同じように増加していくことが示される。

このように面積がほぼ同じ場合、その周長は縦横が同じ正方形のときに最も短い。このことから、円形のときに最も小さくなることが予測できる。

よって、実際の広場データを検証する際には、広場幅員( $W^*$ )と周長( $L$ )を併せて検討することで、広場の形状を分類することができると判断した。

#### v) 広場データの検証

以上の検討に基づき、今回調査を行った広場のデータをグラフにプロットする作業を行った。すると、表の左隅に比較的多くの広場が分布する結果となり、これは形状・規模ともに今回調査した広場によくみられた形状が分布した結果である。

そしてこのグラフから、特に顕著な広場形態としてプロットされた事例をいくつか紹介する。

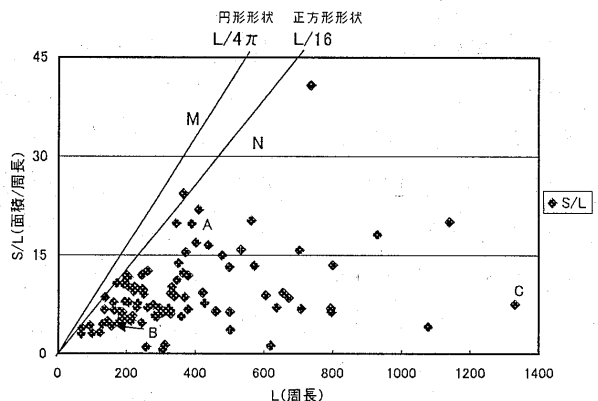


図-7 広場分布図

#### ○正方形型の広場 A: アンジェ

(ANGERS: PLACE DU RALLIEMENT)

これは広場の短辺を $a$ としたとき、広場面積と広場周長の比率がより $(1/4)a$ に近いもので、近ければ近いほど形状は正方形であるといえる。分布図上では $L$ (周長)における傾きが線 $N$ に近いものがより正方形であることになる。また、線 $M$ は形状が円であることを示しており、このラインに近いほど広場は円形であるといえる。

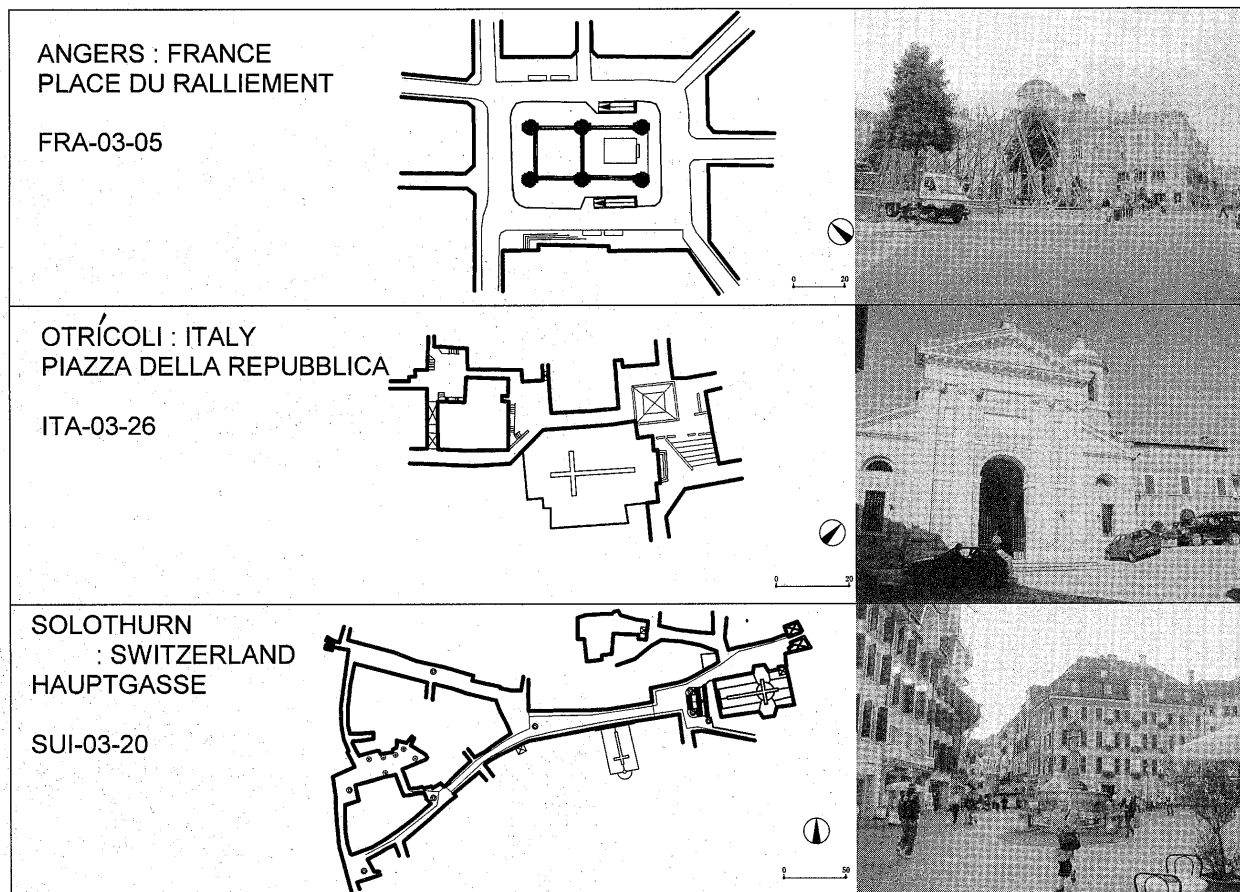


図-8 3タイプの広場図と写真

○長方形型の広場 B: オトリコーリ

(OTRÍCOLI: PIAZZA DELLA REPUBBLICA)

今回調査した広場の形状によくみられたタイプで、一般的なタイプの広場である。今回の調査においてこの形状の広場規模は、周長が400m前後のものが多くみられたことがグラフから読み取れる。また、線Nは正方形を意味するラインでありこの線の付近はより正方形であるといえる。

○街路型の広場 C: ソロトゥルン

(SOLOTHURN: HAUPTGASSE)

このタイプは通りが膨らみをもって広場となっているタイプで、広場の形としてはより細長い形状をしているものである。グラフ上では、この街路型の広場はより角度の浅いところに位置する。特に周長の長いところに位置する広場はその全体規模も大きく、顕著なタイプである。以上のタイプの事例をあげる。(図-8)

② スイスの街路型広場の形態

スイスでは、面的な広がりをもつ広場よりも線状の平面形態をとる事例が多くみられた。都市軸となる街路が広場の空間として多機能な役割を担っているケースである。いずれも旧市街が現在も継続して都市のセンター機能を担っており、都市の骨格としての街路や市庁舎、教会といった主要な歴史建造物が残っている。グルーバー著『図説 ドイツの都市造形史』(資料130)によれば、12世紀に東方スイスの皇帝代官であったツェーリングン家が多くの都市成立に関わっており、ベルン、フリブール、トゥーン、ムルテン等が該当する。それらの都市をツェーリングン都市と呼び、共通する特徴として石造軒型建築のある街路型広場があることがあげられている。これらの都市の成立、発展に寄与した商業の役割は大きく、街路に面し連続して商業施設が並び、定期市の立つ空間を形成してきた。通りの両側にアーケードが連なる事例も多い。この街路型広場について、都市規模の異なる三つの事例にその特徴をみたい。



写真-1 市の立つ広場と市場通り入り口

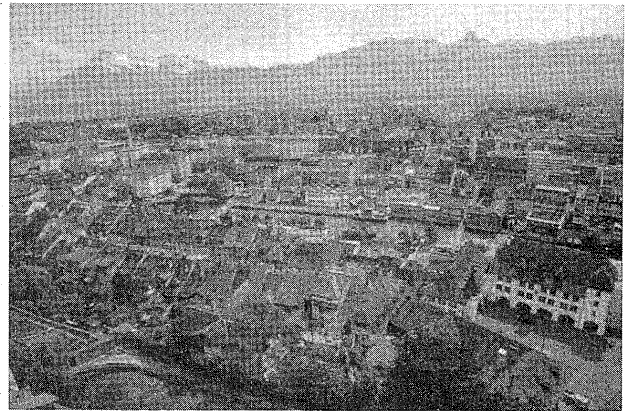


写真-3 城の足元に広がる旧市街



写真-2 市場通りの噴水とアーケード



写真-4 二層構造の商業空間

#### i) ベルン

現在スイスの首都であるベルンは新市街だけでなく旧市街の規模も大きなツェーリングン都市である。蛇行するアーレ川によって囲まれた半島部分に旧市街が位置する。川に囲まれているだけでなく、街全体が高台に位置するために防御性の高い立地である。旧市街は東西に平行して延びる3本の通りにより構成されている。幅員の最も広い中央の街路が市場通りである。都市の拡張とともにその長さを延ばし発展し、アーケードによって全体に統一感のあるしつらえがなされ、商業施設が連なる。街路の中心部には色鮮やかに装飾の施された泉が点在し、建設当時の都市の繁栄ぶりを象徴している。行政施設である市庁舎は3本のうちの北側の通りに、宗教施設である大聖堂は南側の通りに位置し、商業がこの都市の発展の中心であったことがみてとれる。現在はこの市場通りでは市は立たず、通りの西端で南北に広がりを見せる広場に露店が並ぶ。(写真1, 2参照)

#### ii) トゥーン

次にベルンと同じアーレ川沿いにツェーリングン都市として建設され、発展を遂げてきたトゥーンをみてゆく。トゥーン湖の湖尻のアーレ川を挟んだ低地に街が広がる。都市の規模はベルンよりも小さい。川の北側は高台で、そこには12世紀にツェーリングン家により建てられた城が街と湖を見下ろし、その足元に旧市街が位置する。旧市街の中心は川と平行して延びる街路型広場であり、アーケードが街路の両側に並ぶ。1階のアーケード部分の上部が通行のための空間として確保され、1, 2階に店舗が並ぶ二層構造になっている。街路の幅員は他の通りと比較して特に広いものではなく密度の高い商業空間を形成している。街路の東側には市庁舎前広場が続く。川を挟んだ南側に新市街が展開し、そのメインストリートも川に並行する形で湾曲しながら延びている。現在この新市街の通り及び旧市街とを結ぶ橋のたもととの広場で土曜に市が立つ。(写真3, 4参照)

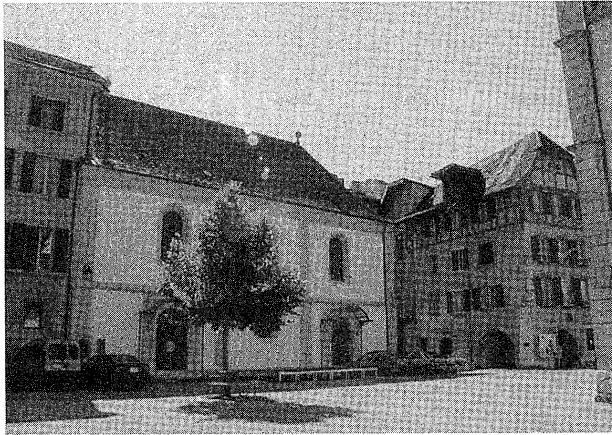


写真-5 定期市の立つ市庁舎前の広場

### iii) ラ・ヌーヴヴィル

最後にビール湖に面する小規模な都市、ラ・ヌーヴヴィルをみてゆく。湖の北側の平地にはほぼ円形の領域をみせる旧市街があり、湖と直交方向に都市の主軸となる街路型広場が配置されている。この広場は他の並行する2本の通りよりも街路幅が広く、中央の軸線上に水路、その両端に装飾豊かな泉が位置する。この広場に面するファサードにはアーケードはないが、面する施設は商業施設であり、広場名称も RUE DU MARCHÉ (市場通り) となっており商業機能を果たしていることを物語っている。旧市庁舎は広場から北へ外れたところにあり、現市庁舎は湖側の城門の並びに位置する。現在の定期市は、この市庁舎前の広場で立っている。(写真5, 6参照)

### ③ 膨らみをもった細長い広場

スイスの調査事例では前述してきた街路型広場の他に、街路型が膨らみをもった形態の事例がみられた。平面的な広がりをもつものと街路型の間間的なタイプである。

ここで3事例アールベルク、ル・ランデロン、グリュイエールを紹介し、その特徴をみてゆく。

この3事例は、地域は異なるが町の中心となる広場が、平面的に広がりをもった広場や街路型の広場とは異なり、その二つの中間的な広場形態をしている。その具体的な形は、町の主軸となる道が膨らみをもった細長い楕円形の空間で形成されている。広場を囲む建物のファサードは広場の形が不整形なため、一直線に整列するのではなく、それぞれが広場

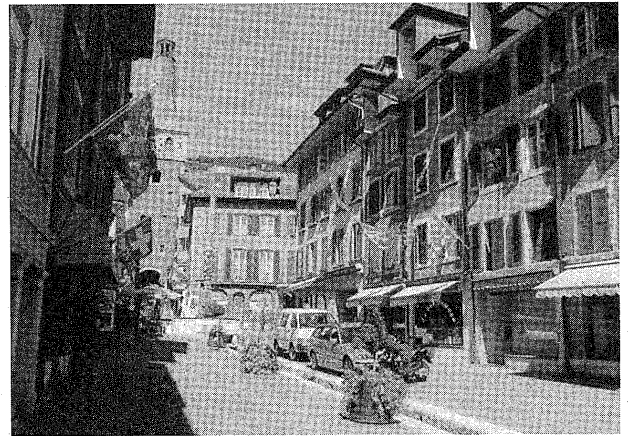


写真-6 広場中央に流れる水路

の平面形状に合わせて、角度をもった配置となっている。その広場形態の特徴を機能と立地条件から考察する。(図-9)

#### i) 都市機能の内包

町の機能は、広場に面している3~4階建ての建物が担っている。それらは町の景観として周りから拒絶する城壁の様に広場を囲んで建っている。そのため広場に隣接する市庁舎、教会、商業施設などが広場を囲んでひとつの小さな町を形成し、それぞれの広場に都市機能を配置している。ただし、グリュイエールではそうした傾向は顕著にみられなかった。

#### ii) 形態と機能の一致

この三つの広場の特徴として、交通機能を担う道としての役割と市民の憩いの広場としての役割の二つの機能をもっている。

その形態が特徴的にみられたのがアールベルクで、広場の中心を抜ける幹線道路は、多くの車両が通過する道路として利用し、広場は駐車場としても利用されていたため、交通広場としての機能が強かった。しかしその反面、車道以外の歩行者空間には泉やカフェ、レストランのテーブルや椅子が並び市民の憩いの広場となっている。

グリュイエールはアールベルクと同様、広場の中心を車が通り抜けられるが、丘の上という立地や、城に向かう道であることから通過交通量は比較的少なく、交通広場としての機能は弱い。車道以外の歩行者空間は近年、修復プロジェクトにより石畳が敷

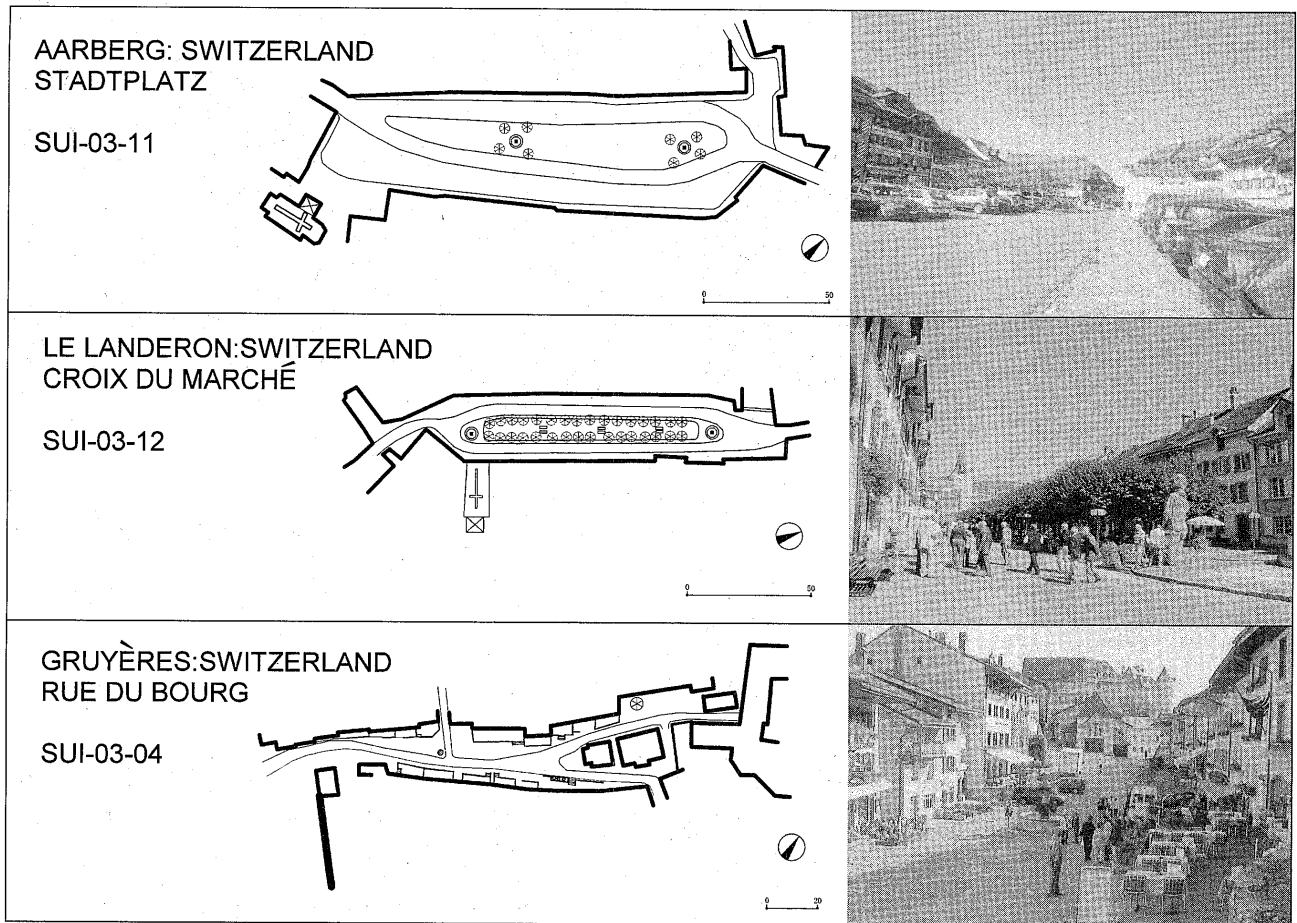


図-9 膨らみをもった細長い広場

き詰められ、泉、穀物計量用の量り、カフェやレストランなどもあり憩いの広場的機能が強い。

それとは対照的にル・ランデロンは、広場の中央に中洲のような緑地帯があり、そこには泉や並木があり、心地よい広場空間が形成されている。広場の外周は道路空間であるが、この中央の緑地帯があるために、アールベルクよりも交通広場としての機能は弱く市民の憩いの広場としての機能が強い。

### iii) 立地と形態

もうひとつの特徴として、土地の特性を利用した立地から、外敵からの攻撃を防ぐ要素がみられた。

アールベルクは屋根付きの木橋が架かったアルテ・アーレ川と、現在はないが中世(1220年)に建設された頃流れていた川道を利用して、川の間の中洲のような微高地に市場となる広場を囲み、川の膨らみに沿って町が形成されている。この立地条件からみても外敵からの攻撃を防御するために、川の中

洲という土地の特性を活かし計画的に建設されたことがわかる。

ル・ランデロンも現地の広場にあった図によると、かつてはこの建物の外周の周りにはくぼ地で、その中に町が作られた。広場の形状はこのくぼ地の膨らんだ形に沿って形作られている。また、広場の入り口には門があり、橋を渡ってアプローチするため、アールベルク同様に外敵から町を守るため計画的に建設されたことがわかる。

グリュイエールは平地に作られた前述の二つとは立地条件が異なり、丘の上にある城塞都市である。城は13世紀から15世紀にかけて城郭が完成し防御されているが、城に至るための道に形成された200mの重要な市場通りは、城壁や門などで保護されていない。けれども丘の上にあるという立地条件から、外敵から町を守るような要素がみられる。

都市機能を内包し、広場の機能と立地条件の特徴

からその形態を意味づけることが可能である。このように平面的に広がりをもった広場と街路型広場の中間的な要素を備えた膨らみをもった細長い広場は、今回のスイス調査の中でも特徴的な形態である。

#### ④ フランス南西部バスティードタイプの広場

今回の調査において、フランス南西部では市場広場を中心に構成された小都市がいくつかみられた。その中の、モンパティエ、ドンム、ヴィルフランシュ・ド・ルエルグの3都市は、「バスティード」と呼ばれる都市である。

バスティードとは、フランス南西部に建設された城塞都市で、その多くが13世紀にイギリス軍やフランス軍によって建設された。定住化促進のための中世のニュータウンである。町の周囲には、四角形や、町の地形に合わせた城塞が築かれ、内部には格子状の街路が通り、中心には広場が作られた。ペリゴールとピレネー地方の間には数多くのバスティードが現存している。

##### i) モンパティエ

英国王エドワード1世により1280年代に建設された。現存するバスティードの中でも原型が保たれた代表的な城塞都市である。町の中心に位置するコルニエール広場は、アーケードのある建物に囲まれており、内部には木造の市場施設がある。

かつて、慣習法で市は広場でしか開いてはいけないということが規定されていた。また、露店を道に設置することも禁止されていた。そのため、市の開催日に広場に集まるたくさんの買い物客を目当てに、店主たちは広場に面した常設店を開こうと一生懸命であった。建物のアーケードは買い物客を雨や日射しから守るために店主たちが供給したものである。また、屋根付きの市場施設もアーケードと同じく雨や日射しよけとして領主たちが作ったものである。

モンパティエの市場施設には、穀物計量用のバスティードの公式計量器が保存されている。

コルニエール広場の北東の一画に聖ドミニク教会があるが、これはバスティードでは一般的な形態で、教会は多くの場合、広場の北東部に建てられた。教

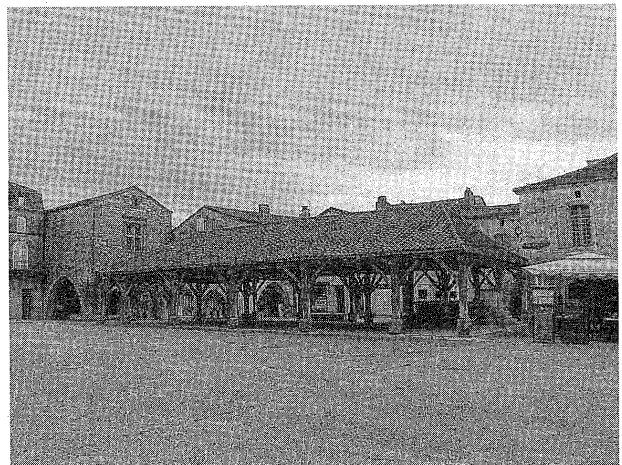


写真-7 屋根付きの市場施設 内部の向かって右側に穀物用計量器が保存されている。



写真-8 アーケードをもつ建物に囲まれた広場や左側に聖ドミニク教会の塔がみえる。

会を広場の雑踏から遠ざけるため、教会に象徴的な意味をもたせるために、市場広場の世俗的な空間と教会の宗教的な空間を区分しているのである。(写真7, 8参照)

##### ii) ドンム

1281年に建設された。城壁と三つの門が保存されている。町の輪郭は台地の地形に合わせていびつな形をしている。市場広場は町の中心ではなく、外れに位置している。広場には1879年に再建された、2階建ての旧市場施設がある。現在、1階は鍾乳洞への入口、2階は催事場として利用されている。モンパティエと同様に広場の北東部に聖母被昇天教会がある。モンパティエのように広場が建物で完全に囲まれていないため、教会部分と広場部分が完全に区分されていない。(写真9, 10参照)

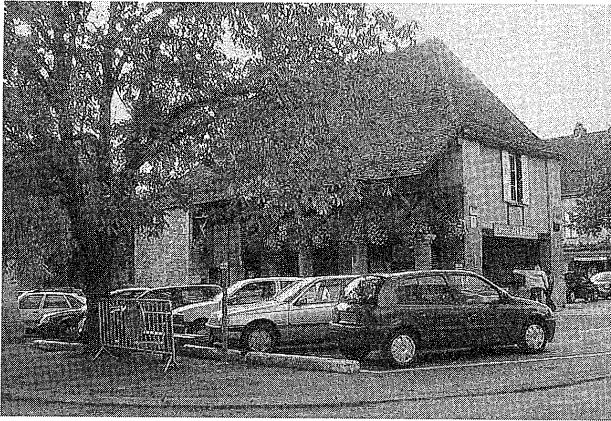


写真-9 広場中央にある市場施設  
周囲は駐車場になっている。

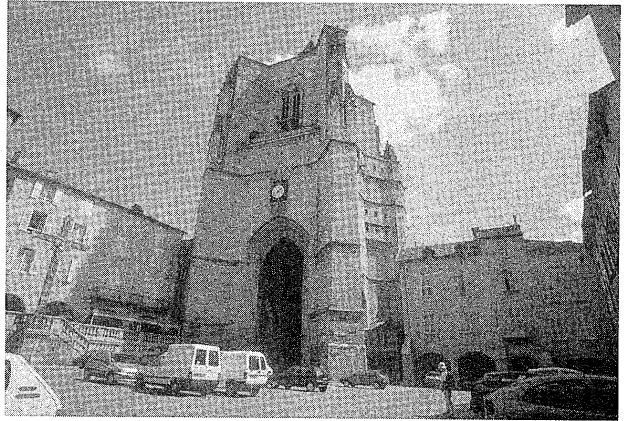


写真-11 広場に突き出した教会  
左側にみえるのが十字架とキリストの像。

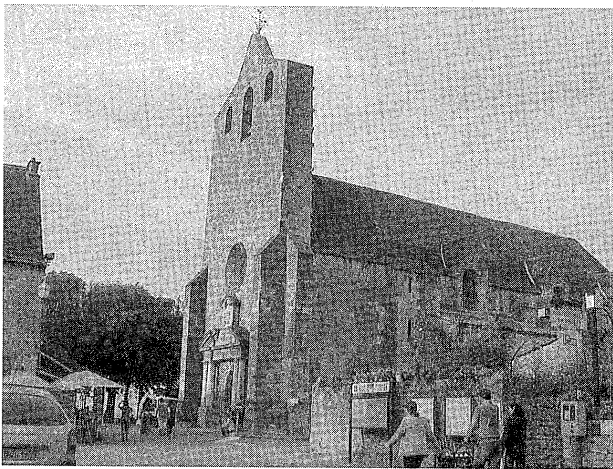


写真-10 広場からみた聖母被昇天教会

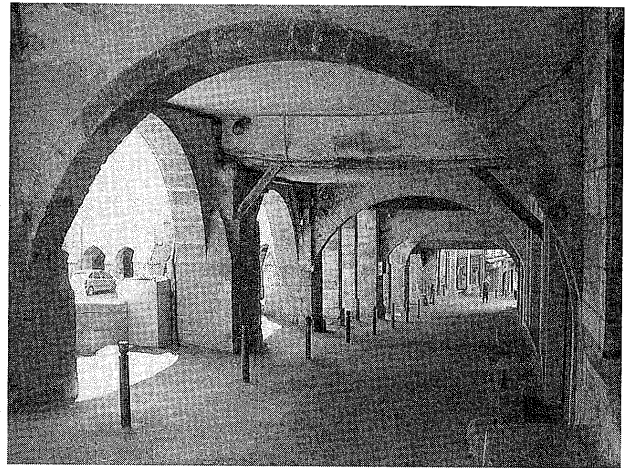


写真-12 広場を囲むアーケード  
歩道と車道が区別されている。

### iii) ヴィルフランシュ・ド・ルエルグ

1252年に聖王ルイの兄弟アルフォンス・ド・ポワチエが建設した。旧市街はバステードの特徴を示しており、街路は直角に交わり、狭い通路が防火壁になっている。広場は教会とともに中心ではなく町の北部に位置する。モンパティエと同じくアーケードのある建物に囲まれている。広場に面した聖母マリア教会も、そのアーケードの一部を構成し、さらに教会が広場に突き出すような形となっている。

市の開かれる市場広場であるが、教会が面していること、十字架のキリストの像があることにより、他の2都市の広場に比べ、宗教的意味合いが強く感じられる。(写真11, 12参照)

### (8) おわりに

街路状の広場の形態が多く観察できたのはスイスでの大きな成果であった。今まで、他の地域でも街路型の広場は観察できた。しかし、街路型広場が、スイスの広場形態における大きな特徴として位置づけられるということが分かった点は広場研究において重要な意味を有している。そして、フランス南部地域でバステードの形態の広場が観察できたことも同様に、地域性と広場形態の関連性につながることを意味するであろう。スイスの街路型広場とフランスのバステードの調査は今後機会をみて再挑戦したい対象である。

注 国名称については、通称呼称を使用している。

2000年調査文献リスト

- 資料001. WESTERN EUROPE, LONELY PLANET PUBLICATIONS, 1999
- 資料002. URBAN DEVELOPMENT IN WESTERN EUROPE: THE NETHERLANDS AND GREAT BRITAIN, E.A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1971
- 資料003. MICHELIN GREAT BRITAIN & IRELAND, MICHELIN, 2000
- 資料004. URBAN DEVELOPMENT IN WESTERN EUROPE: FRANCE AND BELGIUM, E.A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1970
- 資料005. MICHELIN FRANCE, MICHELIN, 1996
- 資料006. BLUE GUIDE FRANCE, IAN ROBERTSON 他, BLACK NORTON, 1994
- 資料007. URBAN DEVELOPMENT IN SOUTHERN EUROPE: ITALY AND GREECE, E.A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1969
- 資料008. MICHELIN ITALIA, MICHELIN, 1997
- 資料009. URBAN DEVELOPMENT IN ALPINE AND SCANDINAVIAN COUNTRIES, E.A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1965
- 資料010. MICHELIN SUISSE/SCHWEIZ/SVIZZERA, MICHELIN, 2000
- 資料011. GUIDES DE MONUMENTS SUISSES MORAT, 1974
- 資料012. 世界遺産を旅する3 フランス・スイス・イギリス・アイルランド, 近畿日本ツーリスト, 1997
- 資料013. ヨーロッパ建築案内1, 淵上正幸, TOTO 出版, 1999
- 資料014. ヨーロッパ建築案内2, 淵上正幸, TOTO 出版, 1999
- 資料015. 地球の歩き方26 イギリス, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 1999
- 資料016. フランス ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1995
- 資料017. パリ周辺: イール＝ド＝フランス ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1995
- 資料018. 地球の歩き方13 フランス, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 1998
- 資料019. イタリア ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1994
- 資料020. 地球の歩き方24 イタリア, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 1997
- 資料021. GUIDA RAPIDA D'ITALIA イタリア旅行協会公式ガイド1, TOURING CLUB ITALIANO/ NTT 出版, 1995
- 資料022. GUIDA RAPIDA D'ITALIA イタリア旅行協会公式ガイド2, TOURING CLUB ITALIANO/ NTT 出版, 1995
- 資料023. スイス ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1992
- 資料024. 地球の歩き方44 スイス, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 1999
- 資料025. EYEWITNESS TRAVEL GUIDES: MILLENNIUM EDITION, LONDON, MICHAEL LEAPMAN, DORLING KINDERSLEY
- 資料026. COVENT GARDEN PAST, JOHN RICHARDSON, HISTORICAL PUBLICATIONS, 1995
- 資料027. 地球の歩き方55 ロンドン, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2000
- 資料028. ロンドン ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1995
- 資料029. FODOR'S CITY PACK PARIS, FIONA DUNLOP, FODOR'S, 1997
- 資料030. パリ ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1992
- 資料031. ベルガモ 芸術の町, ベルガモ市 観光・商業局 ベルガモ市・ベルガモ県観光促進協会
- 資料032. BERGAMO THE HISTORY, THE ART, RENATO RAVANELLI, GRAFICA & ARTE BERGAMO, 1999
- 資料033. COMO CATHEDRALE DE COMO GUIDE, STUDIO PANDAKOVIC, 1998
- 資料034. コモ観光ガイド 市内観光ルートと写真集, ACTAC 出版社, 1990
- 資料035. BOLZANO, KOMPASS, 1996
- 資料036. CINQUE TERRE ITINERARIES AND HISTORICAL OUTLINE, MICROART'S EDIZIONI, 2000
- 資料037. LE CINQUE TERRE, SAGEP EDITRICE, 1990
- 資料038. CENTRI STORICI IN PROVINCIA DI GENOVA E LA SPEZIA, PATRIZIA FALZONE 他, SAGEP EDITRICE, 1976
- 資料039. BERN UND DIE ZAHNINGERSTADTE IM 12. JAHRHUNDERT, FRANCOISE DIVORNE, BENTELI VERLAG BERN, 1993
- 資料040. BERN, 2000
- 資料041. HOLLÄNDERTURM BERN, MARKUS F. RUBLI, BENTELI VERLAG BERN, 1994



資料042. GRUSS AUS BERN, BENTELI VERLAG BERN, 1996

資料043. DAS WAR DER ALTE BAHNHOF, BENTELI  
VERLAG BERN, 1997

資料044. DIE STADT BERN, BERNHARD FURRER,  
GESELLSCHAFT FÜR SCHWEIZERISCHE  
KUNSTGESCHICHTE, 1994

資料045. LUZERN, ORELL FUSSLI, 2000

資料046. LUZERN, ANDRÉ MEYER, GESELLSCHAFT  
FÜR SCHWEIZERISCHE KUNSTGESCHICHTE, 1980

資料047. THUN BEI REGENWETTER, VETTER DRUCK AG, 1999

資料048. AT THE HEART OF NEUCHÂTEL, JEAN  
COURVOISIER 他, EDITIONS GILLES ATTINGER, 1988

資料049. THE HISTORICAL BUILDINGS OF MURTEN,  
MARKUS F. RUBLI, THE COMMUNE OF MURTEN, 1992

#### 2003年調査文献リスト

資料001. BERN, MITTELALTERLICHE STADTKULTUR  
他, BENTELI, 1993

資料002. BULE GUIDE FRANCE, IAN ROBERTSON  
他, BLACK NORTON, 1994

資料003. BLUE GUIDE NORTHAN ITALY FROM THE ALPS TO  
BOLOGNA, ALTA MACADAM 他, BLACK NORTON, 1997

資料004. CITTÀ DA SCOPRIRE 2 GUIDA AI CENTRI  
MINORI ITALIA CENTRALE, LUCIO GAMBI 他,  
TOURING CLUB ITALIANO, 1984

資料005. LONELY PLANET ITALY, HELEN GILLMAN 他,  
LONELY PLANET PUBLICATIONS, 1993

資料006. LONELY PLANET MEDITERRANEAN EUROPE,  
MARK BALLA 他, LONELY PLANET PUBLICATIONS, 1993

資料007. LONELY PLANET WESTEN EUROPE, STEVE  
FALLON 他, LONELY PLANET PUBLICATIONS, 1999

資料008. MICHELIN FRANCE, MICHELIN, 1996

資料009. MICHELIN ITALIA, MICHELIN, 1997

資料010. MICHELIN SUISSE/SCHWEIZ/SVIZZERA,  
MICHELIN, 2000

資料011. URBAN DEVELOPMENT IN ALPINE AND SCANDINAVIAN  
COUNTRIES, E. A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1965

資料012. URBAN DEVELOPMENT IN SOUTHERN EUROPE: ITALY  
AND GREECE, E. A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1969

資料013. URBAN DEVELOPMENT IN WESTERN EUROPE: FRANCE

AND BELGIUM, E. A. GUTKIND, THE FREE PRESS, 1970

資料014. MICHELIN ALPES SAVOIE-DAUPHINÉ,  
MICHELIN, 1984

資料015. MICHELIN ALSACE LORRAINE VOSGES,  
MICHELIN, 1996

資料016. MICHELIN AUVERGNE, MICHELIN, 1984

資料017. MICHELIN BOURGOGNE MORVAN, MICHELIN, 1985

資料018. MICHELIN CAUSSES CÉVENNES-BAS LANGUEDOC,  
MICHELIN, 1985

資料019. MICHELIN CHÂTEAUX OF THE LOIRE,  
MICHELIN, 1980

資料020. MICHELIN CÔTE DE L'ATLANTIQUE,  
MICHELIN, 1984

資料021. MICHELIN DORDOGNE PÉRIGORD-LIMOUSIN,  
MICHELIN, 1976

資料022. MICHELIN FRENCH RIVIERA CÔTE D'AZUR,  
MICHELIN, 1985

資料023. MICHELIN JURA FRANCHE-COMTÉ, MICHELIN, 1985

資料024. MICHELIN VALLÉE DU RHÔNE VIVARAIS-LYONNAIS,  
MICHELIN, 1985

資料025. DISCOVERING PERIGORD, JEAN-MARIE  
MARTIN, SUD OUEST, 1990

資料026. LA DORDOGNE LE PERIGORD, DIDIER POUX,  
APA POUX, 1998

資料027. UMBRIA ART AND HISTRY, LORETTA  
SANTINI, PLURIGRAF, 2000

資料028. AARAU STADT ARCHITEKTUR, MICHAEL  
HANAK, AT VERLAG, 2001

資料029. ANGERS MEMOIRE, SYLVAIN BERTOLDI 他,  
EDI LOIRE, 1997

資料030. BEAUNE, JEAN-PHILIPPE LECAT, OUEST  
FRANCE, 1996

資料031. BEVAGNA, AMMINISTRAZIONE COMUMALE  
DI BEVAGNA, 2003

資料032. BEVAGNA ITALY, ANNA RITA FALSACAPPA  
他, ASSOCIAZIONE MERCATO DELLE GAITE, 1999

資料033. BOURGDORF, FRED SCHEIDEGGER 他,  
VERKEHRSVEREIN DER STADT BURGDORF, 1993

資料034. CHUR-BÜNDNER RHEINTAL, TERRA  
GRISCHUNA VERLAG CHUR, 1999

- 資料035. CHUR DER STADTFUHRER, ARMOM FONTANA, VERLAG DESERTINA, 2003
- 資料036. FRIBOURG, D'AGNÈS JOBIN FELDER, ÉDITIONS REGARD
- 資料037. CITY OF FRIBOURG, HERMANN SCHÖPEER, ÉDITIONS LA SARINE FRIBOURG, 1990
- 資料038. CITY OF SARLAT, LAURENCE STEFANON 他, FRAGILE, 1994
- 資料039. DES TOURS À TOURS, MARYLENE FAVRIS, COMPTE-FILES EDITION, 2002
- 資料040. DIJON CITY GUIDE, ROLAND DE NARBONNE 他, THE SOCIÉTÉ D'ÉDITIONS REGIONALES, 1998
- 資料041. FIGEAC, VILLE D'ART ET D'HISTOIRE, NATHALIE POUX, ÉDITIONS DU ROUERGUE DE VILLE EN VILLE, 2000
- 資料042. GRUYERES LITTLE HISTORY OF THE CITY AND THE COUNTY, ALEXANDRE OVERNEY
- 資料043. LE BASHILICHE PALEOCRISTIANE E LE CATTEDRALI DI BRESCIA, GAETANA PANAZZA, GRAFO EDIZIONI, 1990
- 資料044. LA NEUVEVILLE, PLATEAU DE DIESSE, CHASSERAL, JACQUES HIRT 他, EDITIONS PRO JURA, 1996
- 資料045. LA ROCHELLE, MARCEL DELAFOSSE, ARTAUD FRERES PUBLICATION
- 資料046. LA ROCHELLE CAPITALE ATLANTIQUE, CAPITALE HUGUENOTE, MICKAEL AUGERON 他, ÉDITIONS DU PATRIMOINE, 1998
- 資料047. LA ROCHELLE PROTESTANTE DE 106E SIÈCLE À NOS JOURS, JACQUES LEBAUD-DAVID, LA ROCHELLE 1573, 1989
- 資料048. LE VIEUX TOURS, PIERRE BOILLE, LA NOUVELLE RÉPUBLIQUE DU CENTRE-OUEST, 1994
- 資料049. LUGANO, LYASIS EDIZIONI, 2003
- 資料050. MONPAZIER, LES CLÉS D'UNE BASTIDE, MICHEL COSTE, LIVRAIRIE DU CHÂTEAU, 2002
- 資料051. NANTES, PORTRAIT DE VILLE, INSTITUT FRANÇAIS D'ARCHITECTURE, DATAR, 1996
- 資料052. NARNI, CERONI RITA 他, ASSOCIAZIONE TURUSTICA PRO NARNI, 1990
- 資料053. ORLEANS ARCHITECTURAL AND HISTORICAL TRAIL, VILLE D'ORLEANS, 1999
- 資料054. PÉRIGUEUX, GUY MANDON, OUEST FRANCE, 1985
- 資料055. RIOM, FRANÇOIS WERNER, CANOPE, 1990
- 資料056. SARLAT AND THE PÉRIGORD NOIR, DIDIER POUX, APA POUX, 2003
- 資料057. SALERS, LOUIS JALENQUES, 1970
- 資料058. SOLOTHURN, CHRISTA MÜHLEMANN 他, ROTHUS VERLAG, 2002
- 資料059. SPOLETO ART AND HISTORY, ANITA KROL, PLURIGRAF, 2003
- 資料060. THUN, MARKUS KREBSER 他, VERLAG KREBSER THUN, 1999
- 資料061. VÉZELAY, FRANÇOIS VOGADE
- 資料062. LA BASILIQUE SAINTE-MARIE-MADELEINE, PATRICE MILLERON, PREMIER CHAPITRE, 2003
- 資料063. LE BÂTI ANCIEN EN ANGOUMOIS AUNIS SAINTONGE, ÉLECTRICITE DÉ FRANCE, 1982
- 資料064. LE BÂTI ANCIEN EN PERIGORD, ÉLECTRICITE DÉ FRANCE, 1983
- 資料065. THE BASTIDES OF SOUTH-WEST FRANCE, GILLES BERNARD, DIAGRAM EDITEUR AND THE AUTHORS, 1991
- 資料066. イタリア旅行協会公式ガイド1 ミラノ イタリア北西部, 西村暢夫 他, NTT 出版, 1995
- 資料067. イタリア旅行協会公式ガイド2 ヴェネツィア イタリア北東部, 西村暢夫 他, NTT 出版, 1995
- 資料068. イタリア旅行協会公式ガイド3 フィレンツェ イタリア中部, 西村暢夫 他, NTT 出版, 1995
- 資料069. イタリア旅行協会公式ガイド4 ローマ サルデーニャ, 西村暢夫 他, NTT 出版, 1996
- 資料070. 地球の歩き方 A09 イタリア, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2002
- 資料071. 地球の歩き方24 イタリア, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 1997
- 資料072. 地球の歩き方 A18 スイス, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2002
- 資料073. 地球の歩き方 A12 フィレンツェとトスカーナ, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2003
- 資料074. 地球の歩き方 A06 フランス, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2002
- 資料075. 地球の歩き方 A11 ミラノ・ヴェネツィア, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2002
- 資料076. 地球の歩き方 A10 ローマ, 地球の歩き方編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2003

- 資料077. 地球・街並みガイド タビト フランス, 同朋舎出版, 1995
- 資料078. イタリア ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1991
- 資料079. スイス, フランス ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1992
- 資料080. フランス ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1995
- 資料081. ロワールの城 ミシュラン・グリーンガイド, 実業之日本社, 1995
- 資料082. 週刊朝日百科 世界100都市 アルザスとシャンパーニュ, 大嶽幸彦 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料083. 週刊朝日百科 世界100都市 アルルとアヴィニョン, 野澤秀樹 他, 朝日新聞社, 2001
- 資料084. 週刊朝日百科 世界100都市 コート・ダジュール, 深沢克巳 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料085. 週刊朝日百科 世界100都市 ジュネーブとベルン, 滝波章弘 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料086. 週刊朝日百科 世界100都市 ノルマンディとブルターニュ, 羽生修二 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料087. 週刊朝日百科 世界100都市 パリ, 高橋伸夫 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料088. 週刊朝日百科 世界100都市 リヨンとディジョン, 手塚章 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料089. 週刊朝日百科 世界100都市 ボルドーとナント, 高橋伸夫 他, 朝日新聞社, 2002
- 資料090. 北フランス 小さいまち紀行, 土田陽介 他, グラフィック社, 1997
- 資料091. スイス城とワインの旅物語, 井上宗和, グラフィック社, 1989
- 資料092. スイスの住居・集落・街, 齋木崇人, 丸善, 1994
- 資料093. 図説 ヴェネツィア 「水の都」歴史散歩, ルカ・コルフェライ, 河出書房新社, 1996
- 資料094. 世界の建築・町並みガイド1 フランス/スペイン/ポルトガル, 羽生修二 他, エクスナレッジ, 2003
- 資料095. フランス古都紀行, 三輪晃久, クレオ, 2001
- 資料096. フランス 小さな街物語, 吉村葉子 他, JTB, 2002
- 資料097. フランス 読んで旅する世界の歴史と文化, 清水徹 他, 新潮社, 1993
- 資料098. 旅名人ブックス ジュネーブとレマン湖地方山と湖に囲まれた安らぎの地, 鈴木光子 他, 日経BP出版センター, 2001
- 資料099. 鉄道で行くフランスの町, 植村正春, グラフィック社, 1998
- 資料100. ヨーロッパ 古城物語, 井上宗和, グラフィック社, 1989
- 資料101. ヨーロッパの集落デザイン イギリス/フランス/ドイツ編, 井上裕・浩子, グラフィック社, 1992
- 資料102. VERSAILLES ヴェルサイユ宮殿 ロワールの古城物語, 鈴木亨, グラフィック社, 1989
- 資料103. 世界大百科事典, デジタル平凡社, 1998
- 資料104. イタリアの路地と広場 上, 竹内裕二, 彰国社, 2001
- 資料105. イタリアの路地と広場 下, 竹内裕二, 彰国社, 2001
- 資料106. 講談社現代新書 ヴェネツィア, 陣内秀信, 講談社, 1992
- 資料107. BIENNE・SUISSE, SHAS, 2002
- 資料108. VENICE-EVERYMAN GUIDES, DAVIS CAMPBELL PUBLISHERS, 1992
- 資料109. CHURTOURISMUS,  
<http://www.churtourismus.ch/>, 2004/4/29
- 資料110. STADT CHUR,  
<http://www.chur.ch/d/>, 2004/4/29
- 資料111. スイス政府観光局オフィシャルサイト,  
<http://myswiss.jp/>, 2004/4/29
- 資料112. LUGANO TURISMO,  
<http://www.lugano-tourism.ch/>, 2004/4/29
- 資料113. SCOPRIRE BRESCIA E LA SUA PROVINCIA,  
<http://www.bresciaholiday.com/>, 2004/4/29
- 資料114. フランス政府観光局オフィシャルサイト,  
<http://www.franceinformation.or.jp/index/index.html>, 2004/4/29
- 資料115. VILLE DE DELÉMONT,  
<http://www.delemont.ch/>, Municipalité de Delémont, 2004/4/28
- 資料116. GRUYÈRES, LA CITÉ RETROUVÉE,  
<http://www.pave-gruyeres.ch/>, Fondation Pro-

- Gruyères, Commune de Gruyères, 2004/4/28
- 資料117. VILLE DE GRUYÈRES,  
<http://www.gruyeres.ch/commune/>, Ville De  
 Gruyères, 2004/4/28
- 資料118. 温故知新 ペリゴールの知恵袋,  
<http://perso.wanadoo.fr/fukurokohji-times/index.htm>,  
 2004/4/21
- 資料119. VOYAGES LA FRANCE SUD,  
<http://mmatsuura.home.comcast.net/france/index.html>,  
 2004/4/21
- 資料120. サルラ,  
<http://gopingo.at.infoseek.co.jp/sarlat.htm>, 2004/4/21
- 資料121. サルラ,  
[http://plaza.harmonix.ne.jp/~otaguro/region/aquitaine  
 /dordogne/sarlat.htm](http://plaza.harmonix.ne.jp/~otaguro/region/aquitaine/dordogne/sarlat.htm), 2004/4/21
- 資料122. 旅のページ,  
<http://www1.ocn.ne.jp/~sugar/f-top.html>, 2004/4/21
- 資料123. ニッポンレンタカー,  
<http://www.nipponrentacar.co.jp/index.html>,  
 2004/4/23
- 資料124. BIEL-BIENNE SEELAND,  
<http://www.biel-bienne.net/e/home/>, 2004/4/29
- 資料125. FRIBOURG TOURISME,  
<http://www.fribourgtourism.ch/>, 2004/4/29
- 資料126. LE LANDERON,  
<http://lelanderon.ne.ch/>, 2004/4/29
- 資料127. THUN TOURISMUS ORGANISATION,  
<http://www.thuntourismus.ch/>, 2004/4/29
- 資料128. スイスのアルバム,  
[http://www.asahi-net.or.jp/~RD6Y-TKB/SwissPh\\_Romont.html](http://www.asahi-net.or.jp/~RD6Y-TKB/SwissPh_Romont.html),  
 2004/4/29
- 資料129. SAPORIO LAZIO,  
[http://saporilazio.it/schede\\_comuni/prov\\_rm82.html](http://saporilazio.it/schede_comuni/prov_rm82.html),  
 2004/4/29
- 資料130. 図説 ドイツの都市造形史, カール・グルーバー,  
 西村書店, 1999

(あしかわ さとる 生活環境学科)  
 (かねこ ともみ 生活環境学科)  
 (つるた よしこ 現代教養学科)  
 (たかぎ あきこ 生活環境学科)  
 (たんせい たみ 生活機構研究科生)  
 (よこはま くみこ 生活機構研究科生)